# 桐蔭横浜大学現代教養学環 設置の趣旨等を記載した書類

学校法人桐蔭学園

令和4年7月

- 設置等の趣旨(本文)-1 -

# 目 次

1. 設置の趣旨及び必要性	1
(1)今,求められる人材	1
(2)桐蔭横浜大学の使命	3
(3) 桐蔭横浜大学の取組	4
(4)現代教養学環を設置する趣旨	10
(5)教育目標と養成する人材像	11
(6)卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	12
(7)養成した人材が活躍する場	12
(8)中心となる学問分野	13
2. 学部・学科等の特色	15
(1)現代教養学環の教育上の特色	15
(2)現代教養学環設置による本学の活性化	16
(3)現代教養学環を構成する連係協力学部と全学協働体制	16
3. 学部・学科等の名称及び学位の名称	18
(1)組織名称を当該名称とする理由	18
(2)学位の名称と当該学位とする理由	19
4. 教育課程の編成の考え方及び特色	20
(1)教育課程の基本的な考え方	20
(2)教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)	20
(3)科目区分	20
(4)教育課程の特色	25
5. 教育方法,履修指導方法及び卒業要件	28
(1)教育課程の体系化	28
(2)卒業要件	28
(3)履修モデル	28
(4)卒業研究	28
(5)学修成果の可視化	29
(6)学修時間の確保	29
(7)学修支援	29
6. 実習の具体的計画	31
(1)実習の目的と特徴	31
(2)実施方法と内容	31
7. 入学者選抜の概要	33
(1)入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	33
(2)選抜方法	33

(3)入学者選抜の実施体制	34
8. 教員組織の編制の考え方及び特色	35
(1)教員組織編制の基本的考え方	35
(2)教員組織	35
(3)教員組織の年齢構成	36
(4)教員の業務管理	36
9. 施設, 設備等の整備計画	37
(1)校地校舎等	37
(2)図書等の資料及び図書館	37
1 0 . 管理運営	38
(1)運営会議	38
(2)全学執行体制上の位置づけ	38
1 1. 自己点検・評価	39
(1)全学的実施体制	39
(2)実施方法等	39
12. 情報の公表	40
13. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	42
(1)全学的な取組	42
(2)現代教養学環としての取組	42
14. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制	43
(1)適切な体制の整備と全学的な取組	43
(2)教育課程内の取組	43
(3)教育課程外の取組	43
<b>咨</b> 判	44

#### 1. 設置の趣旨及び必要性

#### (1) 今, 求められる人材

デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation, DX) やグローバル化の更なる進展により、世界的規模で社会と価値観が激しく変化している。昨日不可能だったことが今日には可能となり、今日最先端である知識・技術が明日には陳腐化する。折しも、新型コロナウイルス感染症の世界規模での流行により、私たちはそのことを痛感することとなった。まさに本格的な VUCA¹の時代に突入したと言える。

#### (普遍的なコンピテンシー)

このように変化が激しく,予測することが困難な時代において求められるのは,自ら考え, 主体的に行動し,責任を持って社会の変化に関わっていくことができる人材である。

2000 年代以降,高等教育政策においては,「主体的に変化に対応し,自ら将来の課題を探求し,その課題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的な判断を下すことのできる力」として課題探求能力や,「幅広い教養を身に付け,高い公共性・倫理性を保持しつつ,時代の変化に合わせて積極的に社会を支え,あるいは社会を改善していく資質を有する人材」として21 世紀型市民など,累次の政策提言の中で「陳腐化しない普遍的なコンピテンシー」の育成を大学に求めてきた。しかしながら,例えば平成14年(2002年)に発表された神奈川経済同友会提言<sup>2</sup>にあるように,企業はそうした大学の取組に不満と疑念を持っているとし,「変化の激しい時代にあって,物事の本質を見極め,新しい発想力や旺盛な起業力といった資質により,新たなビジネスを展開する資質・能力溢れる人材」の育成を大学に改めて強く求めるなど,大学の取組は十分とは言えなかった。

そのような背景もあって、2010 年代には政策は更に踏み込み、普遍的なコンピテンシー (=汎用的能力) の育成に必要な活動は何かという発想に基づき教育プログラムを構築するとともに、アクティブラーニングの導入など、教育方法を質的に転換すること (=大学教育の質的転換) を求め、全学の大学における教育改革を強力に促進することとなった。

現在,高等教育政策を方向づける「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」<sup>3</sup>においては、これら過去の政策を総括しつつ、今後の高等教育は「基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用でき、ジレンマを克服することも含めたコミュニケーション能力を持ち、自律的に責任ある行動をとれる人材」を育成することを求めている。未だに課題は継続されており、大学として真摯に向き合わなければならない事柄となっている。

また産業界においても,「文系・理系であることを問わず,リテラシー(数理的推論・データ分析力,論理的文章表現力,外国語コミュニケーション力など),論理的思考力と規範

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> Volatility:変動性, Uncertainty:不確実性, Complexity:複雑性, Ambiguity:曖昧性。先行きが不透明で将来予測が困難な状況。

<sup>2</sup> 社団法人神奈川経済同友会 2002,「大学の創造性教育に関する提言」

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup> 中央教育審議会 2018

的判断力,課題発見・解決能力,未来社会の構想・設計力,高度専門職に必要な知識・能力が求められ,これらを身に付けるためには,基盤となるリベラルアーツ教育が重要」と普遍的なコンピテンシーの育成を大学教育に期待している<sup>4</sup>。

#### (専門知識への眼差し)

イノベーションが急速に進展し、人工知能(AI)・ビッグデータ・IoT (Internet of Things) などの技術革新が、産業・社会構造を急激に変化させている。またデジタルトランスフォーメーション (DX) が進むにつれて、産業・社会は労働集約型・資本集約型から知を集め、つなぎ、活用することで新たな知を創出する知識集約型にシフトしている。知と知の組み合わせがイノベーションを創出し、新しいビジネスモデルや商品・サービスを生み出す源泉となる。またそうした経済活動にとどまらず、現代社会を取り巻く様々な社会的課題に対しても、多様な人材が知を持ち寄り、組み合わせ、最適な解を導き出すことが期待されている。本学が立地する神奈川県横浜市においても、横浜経済の維持・発展のために、技術革新の進展などを踏まえ、中小・大企業・大学等が互いの力をいかして新たな価値を生み出すことができるオープンイノベーションの推進など、新たな市場分野を開拓し、雇用やイノベーションを生み出すことに取り組んでいる。。

政府においては第5期科学技術基本計画にSociety 5.0を掲げ、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、新たな価値を生み出すことで課題や困難を克服するなど、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会を目指すことを提唱している。「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」においても、「分野を越えた専門知の組合せが必要」とし、一般教育においては従来の組織の枠を越えた幅広い分野からなるカリキュラムを、専門教育においては従来の

このように、大学教育においては、激しく変化する社会に対応するための普遍的なコンピテンシーと、知識集約型の未来社会に積極的に関わっていくための幅広く確かな専門知識の双方が獲得できる教育プログラムの構築が求められている。

#### (持続可能な社会づくり)

国連が提唱する持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals, SDGs) (以下「SDGs」という。) は、世界的な課題解決に向けた人類共通の行動目標とも言える。前述したように、激しく変化する現代社会に対応し、より良い未来社会の構築に資することができる人材育成が求められているが、それは SDGs に貢献できる人材育成であるとも言えるだろう。 貧困

2

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup> 日本経済団体連合会 2020 ,「採用と大学教育の未来に関する産学協議会・報告書 Society5.0に向けた大学教育と 採用に関する考え方」

<sup>5</sup> 横浜市 中期4か年計画 2018-2021

撲滅、国内的・国際的不平等との戦い、地球の維持、持続的・包摂的・持続可能な経済成長 といった世界的な課題は、とりもなおさず私たち自身の課題であり、教育機関として、それ ら課題に対峙できる人材を育成していかなくてはならない。

横浜市は、「SDGs 未来都市計画(2021~2023)」の中で、2030 年に向けて、パリ協定の発効により「脱炭素化」という高いレベルでの環境への取組が求められていることを踏まえながら、「力強い経済成長と文化芸術創造都市、観光・MICE<sup>6</sup>都市の実現」「花と緑にあふれる環境先進都市」の実現に向け、横浜の最大の強みである市民力を活かした公民連携により、環境に配慮しながら、経済や文化による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現を目指す、と宣言している。なお横浜市は、平成30年(2018年)に内閣府が推進する「SDGs 未来都市」に選定されている。地域社会の持続的な発展は、そこに立脚するすべての人のライフキャリア<sup>7</sup>の充実に直結する。横浜市が掲げるSDGs 未来都市計画は、本学の教育研究のあり方を記す道標でもある。

#### (2) 桐蔭横浜大学の使命

桐蔭横浜大学(以下「本学」という。)の設置者である学校法人桐蔭学園は,昭和 39 年 (1964 年) に学校法人設立の認可を受け,

- 1 社会連帯を基調とした、義務を実行する自由人たれ。
- 2 学問に徹し、求学の精神の持ち主たれ。
- 3 道義の精神を高揚し、誇り高き人格者たれ。
- 4 国を愛し、民族を愛する国民たれ。

更に、創立50周年に際して、

5 自然を愛し、平和を愛する国際人たれ。

を加えて建学の精神とし、幼稚園から大学院まで、幼児・児童・生徒・学生約8,000人を擁し、教育活動を展開する総合学園である。中期計画(令和2年度~6年度)においては、この5つの建学の精神に基づいた教育を実践し、急速に進むグローバル化や ICT を中心とした技術革新、少子化時代の到来などの社会環境にたくましく対応することのできる人材の育成を行なっていくとともに、その活動を支える組織、財政基盤の整備を図ることを掲げている。

#### (人材育成)

これまで本学は、建学の精神を具体化した「個の充実」、「実務家養成」、「開かれた大学」、「国際交流」の4つの柱を特色とし、法学部、医用工学部、スポーツ健康政策学部という専門性の高い3つの学部を擁し、一人ひとりの「専門性を高める」ことを目標に掲げ教育研究

<sup>6</sup> Meeting, Incentive tour, Convention またはConference, Exhibition

<sup>&</sup>lt;sup>7</sup> 仕事をはじめ、家庭生活、地域社会とのかかわり、個人の活動(自己啓発・趣味)など、生活全般において生涯にわたり果たす役割や経験の積み重ね(神奈川県、https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/cnt/f532110/index.html)

活動を行ってきた。しかしながら、今、求められる人材に掲げた問題認識のもと、中期計画 に掲げた「激しく変化する社会環境に対応できる人材」を育成するため、令和2年度より抜 本的な教育改革に着手している。この改革の主眼を、

- これまで以上に学生の能力を引き出し、最大限に育成すること。
- 「なりたい自分」を見出した学生を本気で育てること。
- 変化の激しい社会においてもエージェンシー<sup>8</sup>を発揮し、社会を支える人材を輩出すること。

の3点に置き,建学の精神を実現する,新しい本学の社会貢献のあり方として掲げている。 これまで培ってきた専門性の高い教育研究を基盤に,現代社会の変化にたくましく対応し, より良い未来社会の構築に積極的に関わっていくことのできる人材を育成することを確認 している。

# (持続可能な社会づくりへの貢献)

本学園は、児童・生徒・学生を育てる学校教育のみならず、社会の変化、問題解決に携わる様々な人々を支援する教育機関でもあるため、平成30年(2018年)に「トランジション<sup>9</sup>センター」を設立した。これまで、学園関係者の学びと成長の支援、学校・大学の教員の教育力向上の支援、横浜市を中心とした成人・女性・シニアの「人生100年」支援など、複層的に取組を充実させてきている。

建学の精神に掲げるように、社会との連帯なしに本学園の発展は成しえない。地域社会の持続的な発展があってこそ、本学の教育研究活動を充実していくことが可能となる。激しく変化する社会に対応し、より良い未来社会の構築に資することができる人材育成により SDGs への貢献を志向する本学であるが、それとともに、地域社会の直接的な課題解決に対してアクションを起こしていくことが重要である。

本学の主要なステークホルダーである横浜市は SDGs 未来都市を標榜し、脱炭素化を主眼とした都市づくりを志向している。本学には次世代太陽電池ペロブスカイト<sup>10</sup>の研究シーズを有している。これまでトランジションセンターの取組で培った地域社会連携の経験を基盤に、この地域の脱炭素化のトップランナーとなる使命がある。

#### (3) 桐蔭横浜大学の取組

本学は法的思考能力を備えた人材を養成する法学部,臨床検査技師や臨床工学技士を養成する医用工学部、スポーツの指導者やスポーツエンジニア等を養成するスポーツ健康政

<sup>&</sup>lt;sup>8</sup> 自ら考え,主体的に行動して,責任を持って社会変革を実現していく力。(中央教育審議会 2018,「2040 年に向けた 高等教育のグランドデザイン(答申)」)

<sup>&</sup>lt;sup>9</sup> 「トランジション」とは、接続・移行という意味がある。時間(過去、現在、未来)や、社会的な空間(家族、コミュニティ、地域、国、世界)など様々なコンテクストを超えて、不確実性の中を歩んでいくこと(接続・移行)が必要である。

<sup>10</sup> ペロブスカイト構造を有する有機ハロゲン化鉛を光吸収層に用いた太陽電池。低価格で大面積化が可能な高効率薄膜 太陽電池として極めて高いポテンシャルを有する。

策学部といった, それぞれ専門特化した3学部を擁する。これまで大学として専門職業人養成を主柱とした教育研究を展開し, 地域・産業社会に貢献してきた。

一方で、専門に特化したこれまでの取組では、教育研究活動が各学部に閉じたものとなってしまった。教育課程は過度に専門重視となり、全学的な教学マネジメントが希薄となり、「普遍的なコンピテンシー」に対する大学としての取組が非常に困難な状況となってしまった。

そこで令和2年度より取り組んできた全学教育改革をより加速させ、人材育成における「桐蔭横浜大学共通」のブランドを改めて確認し、再構築するため桐蔭横浜大学リ・ブランディング戦略(Toin Univ.'s Re-Branding Strategy, TURBoS)を令和3年度に策定し、全学的な大学改革に取り組むこととした。(図1)



図1 桐蔭横浜大学リ・ブランディング戦略(TURBoS)の概要



図2 TURBoS の具体的な戦略とアクション

具体的な戦略とアクションは多岐にわたるが(図2),令和3年度は主として大学全体の教育目標の整理と,新たな大学共通科目制度の発足に注力した。普遍的なコンピテンシーと幅広く確かな専門知識の双方が獲得できる教育プログラムを本学に構築していくとき,過度に専門特化した現在の教育体制をまず刷新する必要があるためだ。

# (ユニバーシティ・ポリシーの策定)

この変化が激しく予測困難な社会でエージェンシーを発揮し、活躍できる人材を育成する本学の現代的使命のため、学生に、どの専門教育課程においても到達してほしい桐蔭横浜大学共通の教育・学修目標を「ユニバーシティ・ポリシー」として策定した。これが本学の考える「陳腐化しない普遍的なコンピテンシー」であり、桐蔭横浜大学の卒業生が共通して獲得する資質・能力として、大学のブランディング戦略の起点となるものである。

# 桐蔭横浜大学ユニバーシティ・ポリシー

桐蔭横浜大学は、すべての学位プログラムにおいて、深い教養と倫理観を 礎とした専門的知識・技能を有し、主体的に社会と関わり、その中で「人生 と学びの基盤となる力」を発揮することで、社会の持続可能な発展に貢献し 新たな価値を生み出すことができる人材を育成する。

#### 「人生と学びの基盤となる力」

#### • 考動力

物事を批判的に捉えて問題を発見するとともに,その問題解決のために 行動する力

### • 複眼的思考力

多角的な視点と柔軟な心をもって, 物事をとらえる力

#### ・共感力

他者の意見や考えに耳を傾けるとともに, 自らの意見や考えを表現し, 伝える力

#### ・リーダーシップ

集団の目標達成のために、自らの果たすべき責任を自覚するとともに、 他者と良好な関係を築き、協働する力

# ・探究力

積極的に新しいことに挑戦するとともに、 粘り強く学び続ける力

# ・自律的キャリア

長期的な展望をもって将来の人生を思い描き、その実現のために必要と される物事を理解し、それに向けて計画し、実行する力



図3 桐蔭横浜大学「人生と学びの基盤となる力」

#### (大学共通科目 MAST プログラム)

これまで本学の各教育課程は過度に専門特化しており、一般教育やキャリア教育等の科目についても、各学部がそれぞれに独自に開設してきた。このたび大学全体の教育目標としてユニバーシティ・ポリシーを策定したことから、本学としての一般教育等の体制を抜本的に刷新し、新たに大学共通プログラム「MAST (マスト) プログラム<sup>11</sup>」を構築した。この MAST プログラムは、法・医用工・スポーツ健康政策の全学部に加え教育研究開発機構<sup>12</sup>から教育資源を結集し、普遍的なコンピテンシーを、現代を読み解く5つの視点(地域、ビジネス、異文化、心理、地球環境)に立脚しながら獲得していく構成としている。また、英語、キャリア教育、アカデミックスキルに加え、数理・データサイエンスの入門科目を必修科目と設定している。

各学部の専門課程は、まずディプロマ・ポリシーの中にユニバーシティ・ポリシーを反映させ、MAST プログラムを教育課程に取り入れ、学士課程を再構築する(図4)。令和4年度より施行している。

<sup>11</sup> 海洋都市を標榜する横浜市に立地することから、本学の教育を船に見立て、すべての学生に獲得してほしい普遍的なコンピテンシーを帆柱 (MAST) と位置付けた。学部を問わずすべての学生が必ず受講する (マスト) という意味合いも込めている。
12 教学マネジメントの推進や、教育方法・内容等の研究開発など、全学の教育を支援するために令和2年度に設置した

<sup>12</sup> 教学マネジメントの推進や、教育方法・内容等の研究開発など、全学の教育を支援するために令和2年度に設置した 附置機関。

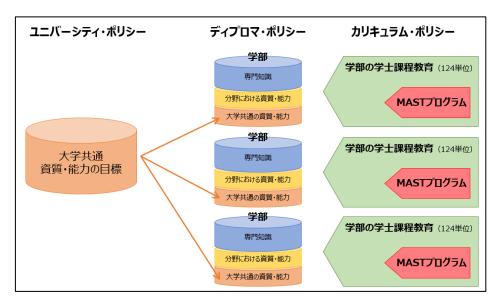


図4 ユニバーシティ・ポリシーと MAST プログラム, 各専門課程の関係性

#### (各学部の教育改革)

激しく変化する社会に対応するための普遍的なコンピテンシーと、知識集約型の未来社会に積極的に関わっていくための幅広く確かな専門知識の双方が求められる中で、前者に対応するためにユニバーシティ・ポリシーの策定と大学共通 MAST プログラムの構築に取り組んできた。後者に対応するため、各学部の教育課程を見直す必要がある。各学部の教育課程の専門性を再確認し、より鮮明にすることが、本学共通の教育システムとして学生の学びをデザインするために欠かせない。

法学部においては、弁護士や警察官等の「人を助ける仕事」、公務員や銀行員等の「社会を豊かにする仕事」、教員やコンサルタント等の「人を育てる仕事」など、「法律の知識が役立たない分野はない」との認識のもと、多様な進路を示し、多様な人材養成に取り組んできた。教育課程は、一般教育科目と専門教育科目の2区分で編成してきたが、多様な人材養成への対応から、科目が乱立し体系性が不明瞭な状況になっていた。このたびの全学改革に伴い、ディプロマ・ポリシーの見直しと大学共通 MAST プログラムの導入、一般教育科目の抜本的改廃、法学基礎・専門科目の再体系化に取り組んでいる。MAST プログラムにおける現代を読み解く5つの視点(地域、ビジネス、異文化、心理、地球環境)と再整理された法学知識の組み合わせにより、確かな専門知識を幅広く活用し、たくましく現代社会を生き抜くことができる人材養成を目指す。

医用工学部においては、「医学と理工学を組み合わせた学び」を提供し、生命医工学科において臨床検査技師を、臨床工学科において臨床工学技士を養成している。いずれも文部科学大臣指定(認定)の医療関係技術者養成学校ではなく、国家試験受験承認学校である。つまり、各国家資格に特化した教育課程を修めるための学部ではなく、工学分野を基盤とした教育研究を行う学部である。しかしながら国家資格取得に対する学生・受験生の関心が高く、

そのニーズに応えるため、これまで国家試験の対策に資源を集中させてきた。その結果、国家試験合格率は全国に遜色のない結果<sup>13</sup>を得られ、卒業生は病院等の医療現場に多く就職している。一方、最近は医療現場においても、専門知識を獲得し国家資格を有するだけではなく、幅広い教養や視野などを大学での活動経験を通じて獲得している学生が求められる傾向が強い。そこでこのたびの全学改革に伴い、ディプロマ・ポリシーの見直しと大学共通MAST プログラムの導入、一般教育科目の改廃を行い、専門医療系資格取得者に付加価値をつけることができる教育を志向する。

また、地域社会の持続的な発展に貢献する本学園の新たな使命に貢献すべく、宮坂力特任教授<sup>14</sup>をはじめとする次世代太陽電池ペロブスカイトの研究陣を中心とする新たな教育プログラムを構築する。脱炭素化の近未来を見据え工学的な観点から持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成するため、医用工学部から工学教育のシーズを、全学から環境や社会、地域づくり等の教育シーズを集め融合し、全学の連携教育プログラムとする。医用工学部はこの新たなプログラムに連携協力しつつ、工学の新たな学びからフィードバックを受け、学部が掲げてきた「医学と理工学を組み合わせた学び」を再確認し、改善活動を行い、医用工学部教育の高次化を図っていく。

スポーツ健康政策学部においては、本学園が大きな力を注いできたスポーツ活動と文化活動を礎に、社会学的、経済的、政治的、文化的、歴史的な側面から現代社会を捉え、文化・スポーツを通じて課題解決に貢献できる人材育成を志向し、本学園のフラッグシップとして本学を牽引してきた。スポーツ教育学科、スポーツテクノロジー学科、スポーツ健康政策学科の3学科を、スポーツ科学、政治学、工学、文化学など様々な人文社会、自然科学の諸分野で構成している。スポーツ教育学科においては、複雑化する現代社会の要請にこたえることができ、正確で柔軟な指導法を身に付けた教育職員や、生涯学習時代におけるスポーツの指導者等の人材を養成している。スポーツテクノロジー学科においては、スポーツ科学や工学、関連する領域の専門的な知識とともに、科学的・総合的な見識と技能等を持つ指導者やエンジニアを養成している。スポーツ健康政策学科においては、文化やスポーツ、健康に関わる政策立案に資する人材や、スポーツや文化芸能などに精通し次世代のスポーツ文化交流の担い手となる人材を養成している。

このたびの全学改革は、本学園のフラッグシップとしてのスポーツ健康政策学部の教育理念を、学部を越えて、本学の持つすべての分野に展開するところにある。単一の専門分野に通じた人材育成から脱却し、普遍的なコンピテンシーと幅広く確かな専門知識を獲得した人材を育成するため、スポーツ健康政策学部で培った教育資源を全学で共有、再編することが必要である。そのため当学部から多くの資源を提供し、大学共通 MAST プログラムを構

<sup>13 2021</sup> 年度国家試験合格率

臨床検査技師: 80.6% (全国平均80.2%), うち新卒91.3% (全国平均91.6%)

臨床工学技士: 93.5% (全国平均 84.2%)

<sup>&</sup>lt;sup>14</sup> 2017年に『効率的なエネルギー変換を達成するためのペロブスカイト材料の発見と応用』で クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞を受賞。ノーベル賞候補と注目されている。

築した。それに伴い、スポーツ健康政策学部においてもディプロマ・ポリシーを見直し、一般教育科目を改廃し、大学共通 MAST プログラムを導入する。

スポーツ健康政策学部の理念を全学共通で普遍化し、そのための共通プログラムが発足するにあたって、当学部は「確かな専門知識」を獲得できる教育課程を再構築する必要が生じる。そこでスポーツ健康政策学部の専門性をスポーツ科学や工学、教育に集中させ、スポーツ科学部<sup>15</sup>として改組(学位分野に変更なし、別途届出申請)し、大学共通の学びと学部の専門の学びという全学的な構造を完成させる。

#### (4) 現代教養学環を設置する趣旨

このたびの全学改革は、3学部から教育資源を結集した大学共通MASTプログラムを構築し、各学部の専門課程を改良することで、大学として普遍的なコンピテンシーと幅広く確かな専門知識を獲得した人材を育成できる教育システムを構築することを狙いとしている。普遍的なコンピテンシーと専門知識は、MASTプログラムを含めた各学部の課程を通じて育成するものであり、普遍的なコンピテンシーを主にMASTプログラムが担い、専門知識を主に各学部の課程が担う、という二分化された構造にならないよう、十分な工夫が必要である。つまり、学部の連携協力が一般・教養の部分に限定され、学部の各専門教育が従来通り閉じてしまうことを避けなければならない。知識集約型の社会を迎えるにあたって、そしてSDGsに貢献できる人材を育成していくにあたっては、知と知の組合せが重要であり、学部の連携協力はむしろ「分野を越えた専門知の組合せ」に向かうことが現代的本質である。

本学においては、大学共通 MAST プログラムの構築にあたって、全学的な連携協力の経験を共有できた。この経験を基礎に取組を高次元化し、知識集約型社会で活躍できる人材、SDGs に貢献できる人材を育成する本学の使命を果たすべく、連携協力による新たな学位プログラムを構築する。令和元年(2019年)の大学設置基準改正により、2以上の学部等との緊密な連係及び協力の下、横断的な分野に係る教育課程を実施する学部等連係課程実施基本組織を置くことが可能となった。全学改革において、全学部が連携協力し、学園と大学の使命を果たすべく資源を結集し、未来社会の構築に貢献できる人材育成を行うことを目指す本学にとり、この新制度は有用である。

全学が連携協力する新課程では、法学部で実施する法学、行政、政治・経済、企業、地域に関する分野、医用工学部で実施する環境、工学に関する分野、新スポーツ科学部(旧スポーツ健康政策学部、p.9参照、以下「スポーツ科学部」という。)で実施する健康、現代社会、経営、心理、地域、国際、福祉に関する分野を1つの教育課程として融合するとともに、学外フィールドを活用した実習を組み入れ、社会科学、工学の複合的視点から現代社会の諸課題を読み解くカリキュラムとし、5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)に立脚しながら知識集約型社会、SDGs に

<sup>15</sup> スポーツ教育学科,スポーツ健康科学科の2学科体制で改組申請。本学は既に「スポーツ科学研究科」を有しており、この改組により大学院との接続がより明確になることも企図している。

貢献できる現代的教養を備えた人材を輩出する。

また SDGs への貢献に関しては、基礎工学に加え次世代太陽電池ペロブスカイト研究の成果を教育に還元する科目を新設し、環境分析、現代社会、地域文化等の他分野の視点を組合せたカリキュラムも併設し、工学技術を軸に、持続可能な脱炭素化社会の実現に向けて能力を発揮できる人材を輩出する。

カリキュラムには、分野横断型の科目を設定する。この科目は法学部・医用工学部・スポーツ科学部の学生にも開放し、多様な学生がそれぞれの専門課程を主に学びながら、このカリキュラムをハブとして「分野を越えた専門知の組合せ」を経験することができる。これにより、本学全体の教育効果の向上が可能となる。

このように本学全体で、連帯を基調とし、変化の激しい社会においてもエージェンシーを発揮し、社会を支える人材を輩出することができる大学に転換していくため、「現代教養学環」を学部等連係課程制度に基づき設置する。

# (5) 教育目標と養成する人材像

#### (桐蔭横浜大学の教育目標)

桐蔭横浜大学憲章において次のように宣言している。

- 日本社会と世界の将来像に照らして、社会貢献できる人材を育成する。大学 生、大学院生が、自ら判断する能力と実行力を磨き、仲間と協同することもで きる人間に鍛える。
- 人権意識に目覚めさせ、市民性の涵養を行う。

この憲章を具現化するため、「すべての学位プログラムにおいて、深い教養と倫理観を礎とした専門的知識・技能を有し、主体的に社会と関わり、その中で『人生と学びの基盤となる力』を発揮することで、社会の持続可能な発展に貢献し新たな価値を生み出すことができる人材を育成する」と大学共通の教育目標を定めている。

# (現代教養学環の教育目標)

本学の教育資源を結集し、全学として知識集約型社会・SDGs に貢献できる人材育成を目指す現代教養学環の教育目標は、5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)から現代的諸課題に対峙し、自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していくことができる人材、確かな専門知識・技術により持続可能な社会づくりに貢献できる人材を養成し、輩出する。

#### (養成する人材像)

以上の目標を達成するために,現代教養学環では,幅広い教養と確かな専門知識を身につ

けて,現代社会の構造的課題を理解し,今後の持続的な発展に向けてアイデアを出し,それを具現化し,持続可能で豊かな社会の構築に貢献できる,実践的な能力を修得した以下のような人材を養成する。

- ① 現代社会の成り立ちや課題を理解し、多角的な視点と柔軟な発想をもって情報収集 や状況判断を行い、問題解決のために行動することができる
- ② 他者の意見や考えを傾聴するとともに、自らの意見や考えを表現し、多様な主体と協働することができる
- ③ 積極的に新しいことに挑戦し、その実現のために必要とされる物事を理解し、それに向けて計画し、実行することができる
- ④ 地域・都市の持続的な発展に向けて、専門的な知識や技術を他者との協働の中で発揮し、アイデアを具現化し、実行することができる

# (6) 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

現代教養学環は、統合された知をもって、現代社会の諸課題の解決に貢献する人材を輩出することを目標として、卒業時に以下のような能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

- 1. 人文・社会科学,自然科学について幅広く理解するとともに,自分の専攻する分野に関する専門知識を身につけている。 【現代的教養】
- 2. 自分の専攻分野に関する専門知識を中心に、隣接する分野に横断する幅広い知識を現代的課題と関連づけて理解している。 【専門知識と分野横断】
- 3. 物事を批判的に捉えて問題を発見するとともに、その問題解決のために行動することができる。 【考動力】
- 4. 多角的な視点と柔軟な心をもって、物事をとらえることができる。【複眼的思考力】
- 5. 他者の意見や考えに耳を傾けるとともに、自らの意見や考えを表現し、伝えることができる。 【共感力】
- 6. 集団の目標達成のために、自らの果たすべき責任を自覚するとともに、他者と良好な関係を築き、協働することができる。

  【リーダーシップ】
- 7. 積極的に新しいことに挑戦するとともに、粘り強く学び続けることができる。

【探究力】

8. 長期的な展望をもって将来の人生を思い描き、その実現のために必要とされる物事を 理解し、それに向けて計画し、実行することができる。 【自律的キャリア】

# (7)養成した人材が活躍する場

本学では、これまで一人ひとりの「専門性を高める」ことを目標に掲げ教育研究活動を行

い,専門分野への高い就職実績を積み重ねてきた。また,学生が将来社会で希望の仕事に就き,思う存分活躍するために,キャリア講座やインターンシップ,業界研究セミナーなどに加え,本学ならではの学生と教員の「距離の近さ」を活かしたきめ細やかなキャリア支援を行ってきた。

現代教養学環ではこれらの取組に加え、養成した人材が修得した能力を活かして持続可能で豊かな社会の構築に貢献できるよう、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得する過程において、複数の地域に出向いて人々と体験を共有し、そこでの課題解決に向けて切磋琢磨する学外実習等の実践的な教育を行う。これにより学生は、現代社会の課題を経験的に学修するとともに、地域の企業や官公庁、NPO法人、金融機関等の仕事の現場を具体的に知ることができる。

このような教育課程内外の取組を踏まえ、持続可能な社会に向けて課題解決できる能力を携えた学生が、地域のサスティナブル経営を志向する企業や官公庁、NPO 法人、地域企業を支える金融機関等でその能力を発揮し活躍できるよう、教育とキャリア支援に取り組んでいく。

#### (8) 中心となる学問分野

全学が連携する新課程では、法学部で実施する法学、行政、政治・経済、企業、地域に関する分野、医用工学部で実施する環境、工学に関する分野、スポーツ科学部で実施する健康、現代社会、経営、心理、地域、国際、福祉に関する分野を1つの教育課程として融合し、現代的課題を複眼的に捉え、課題解決に向けてアイデアを実践できる教育課程を編成する。本学の持つこれら資源を現代的にニーズの高い5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)に焦点化し、教育活動を実施する。本学が持つ専門分野(法学、工学)を構成する諸要素を切り出し、及び及びスポーツ科学に関する資源も合わせて結集し、現代的視点で再構成することで、今求められる人材育成に貢献していく。

#### <地域社会学に関する分野>

政治・経済,地域情勢,地域文化など,いわゆる地域学を中心に教育研究を行う。具体的にはコミュニティ・ファシリテーション,地域における健康課題,サステナブル社会学など

#### <マーケティング学に関する分野>

企業ビジネス,政治・経済など経営学分野にマーケティング・リサーチ,ウェブ・コミュニケーションなどを加え,融合的な教育研究を行う。具体的にはデジタル産業論,ビジネスの科学,アントレプレナーシップなど

#### <国際コミュニケーション学に関する分野>

国際情勢, 言語学, 現代社会などを礎に様々な現代文化を取り扱う, 比較文化学の教育

研究を行う。具体的には表現とコミュニケーション, 言語文化論, 視覚文化論など <心理学に関する分野>

健康,心理学を中心に教育研究を行う。具体的にはこころの世界,青年と心理学,健康と心理学など

# <サスティナブル工学に関する分野>

工学を中心に,環境,政治・経済,地域文化などを融合させたサスティナブル工学の教育研究を行う。具体的には地球環境の科学,持続可能な開発と法,科学技術の未来など

また,現代教養学環には,学習科学に基づき学生その他の学びのプロセスや成果等を研究 対象とする「学びデザイン研究所」を附置機関として設置することを検討している。

#### 2. 学部・学科等の特色

#### (1) 現代教養学環の教育上の特色

現代教養学環は、地域社会の持続的な発展に向けて、現代的課題を5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)から複眼的に捉え、課題解決に向けてアイデアを形にしていく人材育成を、全学協働で実践する。

全学的な連携協力により構築した大学共通 MAST プログラムを基礎教育として実施する。 大学共通 MAST プログラムでは、キャリア、スキル、データサイエンス、語学の科目が全学 必修となっている。その上で既存学部においては、大学共通 MAST プログラムの特徴である 各科目群(地域、ビジネス、異文化、心理、地球環境)のコア科目を1科目選択必修とし、 学生は自身の関心に基づき履修する科目群を選択する。現代教養学環では、この科目群をす べて履修する。5つの視点をすべて知り、現代的課題を複眼的に捉え、横断的な知識をもっ て現代社会に対峙することを学ぶ。

現代教養学環の専門教育では、学生は自身の関心に基づき5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)から知識を深める分野を選択する。基礎教育の段階ですべての視点を幅広く学び、専門教育の段階で自身の専攻を決めていくレイトスペシャライゼーション型のカリキュラムとなっている。大学共通の基礎教育段階から専門教育段階まで一体的に設計されたカリキュラムの中で、学生が幅広い教養と確かな専門知識を身につけていくことができるシステムとなっている。

現代教養学環では、課程を通じて徹底的にアクティブラーニングを行う。知識等を学修し、他者との協働の中でその学修した知識等を用い表現していく。この十分な内化<sup>16</sup>と外化<sup>17</sup>のサイクルを、課程の至るところに実装する。外化には、課程内のプロジェクト科目や学外研修プログラム、ボランティアやインターンシップなど、複数の活動を設定している。また課程外にも、大学として参画している神奈川産学チャレンジプログラム<sup>18</sup>など外部の取組も積極的に活用する。

また、必修科目やプロジェクト科目、ゼミ等の重要科目で埋め込み型パフォーマンス評価 (Pivotal Embedded Performance Assessment, PEPA) を実施し、課程の重要な局面毎にディプロマ・ポリシーの達成度を自己評価・他者評価を行い、その結果を「ショーケース」に記録する。「ショーケース」は、キャリア支援の取組として企業等に直接提示「9することを前提に記録していく。

 $<sup>^{16}</sup>$  読む・聞くなどを通して知識を習得したり、活動(外化)後のふり返りやまとめを通して気づきや理解を得たりすること。(internalization)

<sup>&</sup>lt;sup>18</sup> 一般社団法人神奈川経済同友会の会員が所属する企業および団体と神奈川県内に拠点を持つ大学が中心となって行う,産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究プログラム

<sup>19</sup> 学生の学びを可視化し、社会との接続を円滑にするためを作成・発行するもの。学びの履歴、学修の成果のみならず、数理・データサイエンス・AI など、意図された科目ユニットを履修した学生には、その証明としてショーケース上に履修履歴を記載し、社会等に PR できるように設計。我が国においては「日本版ディプロマ・サプリメント」等、同様のツールが開発され、取り組まれている大学も少なくない。(東京都市大学など)

#### (2) 現代教養学環設置による本学の活性化

このような教育上の特色を持つ現代教養学環の開設により、その成果を全学的なアクティブラーニング、カリキュラム・マネジメント、キャリア支援、そして内部質保証の実質化に波及させていく。現代教養学環を、学部等連係課程制度を用いて設置する趣旨は、本学が取り組むべき教育改革のモデルを構築するとともに、そのモデルを間接的ではなく学部との連携部分を通じて直接的に波及させていくところに狙いがある。

また、持続可能な社会という理想的な未来からバックキャストで5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)を設定し、本学の資源を最大限に活用しながら教育研究に取り組んでいく現代教養学環の設置により、地域社会との連携をより積極的に進めていくことが可能となる。これまでは本学園のトランジションセンターの企画運営のもと、案件に応じて必要な教員等が参画する形態で地域連携を進めてきたが、今後は社会課題に対峙する現代教養学環が組織上のハブとなり、トランジションセンターとの連携協力のもと、より強力に地域貢献を進めていくことが可能となる。特に、脱炭素化という重大なテーマを課題とする当地域に対しては、サスティナブル工学を軸とした科学技術面での貢献のほか、まちづくりのアイデアなど、ハード・ソフトの両面での地域貢献を推進していくことができる。

#### (3)現代教養学環を構成する連係協力学部と全学協働体制

全学協働体制による現代教養学環は,既存3学部のすべてを連係協力学部とし,教員の現代教養学環教育への参画,授業科目の共同開講,施設・設備の共用により実現する。また教育研究開発機構所属の教員も参画し,授業科目の開設,教育課程の運営等に協力する。

法学部からは1名が専属専任教員<sup>20</sup>として配置される。この教員は主に現代教養学環教育の基礎部分となる大学共通 MAST プログラムを専従として担当しながら,アスリートの科学,リーダーシップ教育などの講義科目,ゼミナール,知識集約型研究プロジェクトなどの演習科目において,知識の定着と外化の役割を担う。他,兼担教員<sup>21</sup>として9名が,租税法,比較政治制度論,政治学,法哲学,市民形成論などの授業科目において教育課程を担当する。

医用工学部からは3名が連係専任教員<sup>22</sup>として配置される。これら教員は、科学技術の未来、地球環境の科学、ゼミナール、知識集約型研究プロジェクトなどの教育を担当する。他、 兼担教員として5名が、分析化学、基礎光学、サスティナブル工学研究法、環境分析学などの授業科目において教育課程を担当する。

スポーツ科学部からは4名が専属専任教員として配置される。これら教員は、地域社会学 コースにおける地域における健康課題、コミュニティ・ファシリテーションなどや、マーケ ティング学コースにおけるビジネスの科学、アントレプレナーシップ、デジタル産業論など、

-

<sup>&</sup>lt;sup>20</sup> 専属専任教員:現代教養学環の業務を主に行い,現代教養学環でのみ主要な授業科目を担当する教員。

<sup>21</sup> 兼担教員:現代教養学環以外の学部等部局に所属する専任教員で,授業科目の提供又は共同開設を業務とする教員。

<sup>&</sup>lt;sup>22</sup> 連係専任教員:現代教養学環と連係協力学部の双方の業務を行い,双方で主要な授業科目を担当する教員。

国際コミュニケーション学コースにおける表現とコミュニケーション, 言語文化論, 視覚文化論など, 心理学コースにおける健康と心理学などを担当する。他, 兼担教員として8名が, 地球と環境, 国際交流論, デジタル産業論などの授業科目において教育課程を担当する。

このほか教育研究開発機構からは3名が専属専任教員として配置され、地域社会学コースにおける地域の科学、サスティナブル社会学、心理学コースにおける心の科学、国際コミュニケーション学コースにおける異文化の科学などを担当する。1名が連係専任教員として配置され、基礎部分のソーシャル・コミュニケーションなどを担当する。

また,現代教養学環の学生定員については,スポーツ健康政策学部の理念を全学共通で普遍化していくことを基盤とすることから,スポーツ健康政策学部(スポーツ科学部)の学生定員から70名(スポーツ教育学科より40名,スポーツ健康科学科より30名)を割り当て,現代教養学環の学生定員として配置する。

#### 3. 学部・学科等の名称及び学位の名称

組織名称 : 現代教養学環 School of Arts and Sciences 学 位 : 学士(学術) Bachelor of Arts and Sciences

# (1)組織名称を当該名称とする理由

本学に設置するこの新たな学位プログラムは、激しく変化する社会に対応するための普遍的なコンピテンシーと、知識集約型の未来社会に積極的に関わっていくための幅広く確かな専門知識の双方が求められる中、本学の教育資源を結集し、現代社会の課題を5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)から捉え、自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していくことができる人材を育成する。

日本学術会議提言「21世紀の教養と教養教育」<sup>23</sup>においては、「各国が世界共通の問題の平和的な解決に協働して取り組み、また、各国はそれぞれに自国社会の諸問題を解決し、豊かな文化の展開と社会の活力の維持・向上に取り組んでいくことが重要」とし、「その取り組みに参加し、それを担っていくことのできる豊かな教養の形成、すなわち柔軟かつ創造的な知性および実践的能力の形成と、そのような教養を育み培うことのできる教育・大学教育の充実」を求め、「21世紀に期待される教養は、現代世界が経験している諸変化の特性を理解し、突きつけられている問題や課題について考え探究し、それらの問題や課題の解明・解決に取り組んでいくことのできる知性・智恵・実践的能力である」と結論づけている。

すなわち,この新たな学位プログラムで実施する教育は21世紀の教養,現代教養教育である。現代教養は,国内他大学でも学部や学科の名称として使用する複数の先行事例があり,それら教育内容と比較しても,本学の新たな学位プログラムが現代教養を冠することは,受験生や学生,その他ステークホルダーに対しても通用性が高い。

また、2以上の学部等との緊密な連係及び協力の下、横断的な分野に係る教育課程を実施する学部等連係課程実施基本組織を置くことが可能となった新制度を用い、全学から資源を結集し、学びを環のようにつなぎ学位プログラムを構築する。学生と教員が、建学の精神に掲げるように、社会との連帯を基調として、環となって現代社会の諸課題に取り組んでいく。こうした精神を可視化するため、「学環」という名称を用い、当該学位プログラムの実施基本組織を「現代教養学環」と名付けた。学部等連係課程制度の実施先行事例に照らしても通用性が高い名称としている。

組織の英語名称は、School of Arts and Sciences とした。教養をArts and Sciences と表記する国内外の大学の事例も多く、また学位プログラムをCollege of Arts and Sciences、School of Arts and Sciences とする国外の事例も多い。学部等連係課程としての先行事例である岐阜大学社会システム経営学環もSchool of Social System Management としてい

-

<sup>&</sup>lt;sup>23</sup> 日本学術会議 日本の展望委員会 知の創造分科会(平成 22 年 4 月 5 日)

る。学環の名称として School of Arts and Sciences とするのは、国際的な通用性も担保できる。

# (2) 学位の名称と当該学位とする理由

科学技術・学術審議会は、「人文学・社会科学が社会的課題に向き合い『総合知』の創出・活用に貢献していくためには、人文学・社会科学において厚みのある『知』の蓄積を図るとともに、社会課題やデータを様々な研究分野と共有し、学際的に協働する取組を促進することが必要」とし、今後の人文学・社会科学振興の取組方針<sup>24</sup>を策定した。文理を問わず、分野を越えた学術的な連携の重要性が益々高まっている。

現代教養学環においては、法学分野を持つ法学部、工学分野を持つ医用工学部、スポーツ科学部の連係協力により教育研究を実施する。これら教育資源を結集し、現代社会の諸課題を5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)に焦点を絞り学ぶ現代教養の教育プログラムである。

一方、5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)から現代的諸課題に対峙し、自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していくことができる人材、確かな専門知識・技術により持続可能な社会づくりに貢献できる人材を養成し、輩出することを教育目標とする現代教養学環では、学生は前述した日本学術会議提言が謳う現代教養を身につけるとともに、本学の持つ法学、工学の学際的な専門知識・技術を修めることになる。幅広い教養と確かな専門知識を身につけて卒業する学生には「教養」ではなく、教養も含めた学際性を表現するものとして「学術」の学位を付与することが適当であると考えた。分野横断型のプログラムにおいて学士(学術)を付与する国内大学の事例も数多く確認できる。学士(学術)の英語名称については、国際的にも BASC (BASc) として数多くの大学で使用されている実績があり、国際的な通用性が高い Bachelor of Arts and Sciences とした。

.

<sup>&</sup>lt;sup>24</sup> 「『総合知』の創出・活用に向けた人文学・社会科学振興の取組方針」科学技術・学術審議会学術分科会人文学・社会 科学特別委員会,令和 3 年 8 月 24 日。

#### 4. 教育課程の編成の考え方及び特色

#### (1)教育課程の基本的な考え方

現代教養学環では、5つの領域(地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サスティナブル工学)から現代的諸課題に対峙し、自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していくことができる人材、確かな専門知識・技術により持続可能な社会づくりに貢献できる人材を養成するため、全学部の連係により実施する大学共通 MAST プログラムを基礎教育として他学部より広くかつ深く学修するとともに、法学部、医用工学部、スポーツ科学部の開講科目を融合的に配置する。

教育課程は、徹底的にアクティブラーニングを行うよう編成する。知識等を学修し、他者 との協働の中でその学修した知識等を用い表現していくサイクルを、課程の至るところに 実装する。そうしたサイクルの中で、学生は幅広い視点を学びながら高年次になるにつれ専 門的に学ぶ分野を絞っていくレイトスペシャライゼーション型の教育課程としている。

#### (2)教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

現代教養学環では、ディプロマ・ポリシーの達成のために、大学共通の MAST プログラム、専門的知識を深める5つのコースとゼミナール科目を体系的・構造的に配置するとともに、学生の達成状況を常に評価しながら、何を学んだか、ではなく何を身につけたかを重視したカリキュラム編成を行う。

- 1.「人生と学びの基盤となる力」(考動力,複眼的思考力,共感力,リーダーシップ,探究力,自律的キャリア)を MAST プログラム中心に修得し、現代的教養を身につける。
- 2. MAST プログラムで視野を広げた後、専攻分野を選択し、専門探究において専門知識を 深め、他者と協働する知識集約型研究プロジェクトにより分野を横断した知識を身につ ける。
- 3. 各授業科目では、知識の定着を総括的に評価するとともに、資質・能力の獲得を形成的 に評価する。教育課程を通じては、各年次の主要科目においてディプロマ・ポリシーの達 成度を評価する。

#### (3)科目区分

カリキュラム・ポリシーを教育課程に反映させるため,次の通りの科目区分を設定し,体系的で順次性のある履修を実現する。

#### (全学必修科目)

MAST プログラムの導入科目 (MAST A) として,所属学部等を問わずすべての学生が履修する必修科目を配置する。

#### 桐蔭キャリアゲート:

学生の過去の学びや経験と現在の自分をつなぎ、未来のなりたい自分を思い描くことを通して、ライフキャリアを明確にすることを目指す必修科目

#### 桐蔭スキルゲート:

コミュニケーションの作法,文書作成やプレゼンテーションなど大学生活に留まらず,現代社会で必須となるスキルを身につけることを目的とした必修科目 データコミュニケーション入門:

様々な情報をデータとして共有・活用できる数理・データサイエンス・AI に関する 知識や能力を備えた人材を育成する必修科目

ディプロマ・ポリシーを達成するための根幹となる科目であるため、授業内外における学 修支援体制を万全にし、すべての学生が各到達目標を達成できるよう、全学的に支援を行う。 この他、英語コミュニケーション科目も同様に全学必修科目としている。

#### (MAST プログラム)

「人生と学びの基盤となる力」(考動力,複眼的思考力,共感力,リーダーシップ,探究力,自律的キャリア,p.6参照)を育成すること,及び「現代社会の構造的課題を理解」することを目的に,MASTプログラムを配置する。

現代社会の諸課題を捉える5つの視点(地域,ビジネス,異文化,心理,地球環境)に対応した科目群「コンポ」25を置く。各コンポには、学生の思考を解きほぐし、柔軟な思考様式を身につけるとともに、各視点におけるものの見方を理解することを目的とするコア科目をそれぞれ配当し、現代教養学環の学生はその全てを必修として設定する(複領域学修(Multi-disciplinary))。その上で学生は、基礎科目を履修し、自分の経験や将来のキャリアにひきつけて考えることを通して、コア科目で身につけたものの見方を発展させ、「プロジェクト入門」科目において知識を統合し表現(外化)する(MAST B)。現代教養学環の学生には、このMAST B科目群のうち2年次で選択するコースに対応する科目は、コース基礎科目となる。

次に、コア科目、基礎科目、プロジェクト入門を通して身につけた各領域の思考様式を発展させる発展科目を履修(内化)し、コンポを横断して知識を統合し表現(外化)する「分野横断型プロジェクト」科目で締めくくる(MAST C)。なお、現代教養学環の学生は、このMAST C 科目群を専門科目におけるコース基礎科目として履修する。

.

<sup>&</sup>lt;sup>25</sup> コンポーネント (component) を用いた造語。

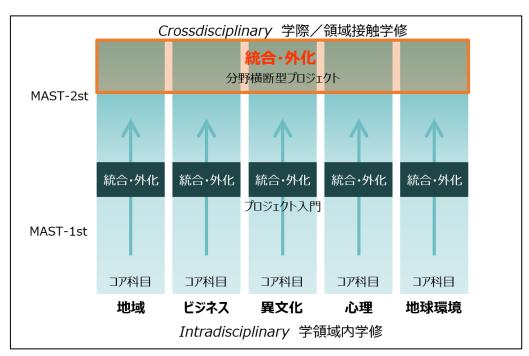


図5 MAST プログラムの構造

#### (専門必修科目)

現代教養学環の学生は、MAST A 科目の応用版として、ロジカルライティング、ロジカルコミュニケーション、デジタルスキル、データコミュニケーションを学び、専門科目、専門探究ゼミ、知識集約型研究プロジェクトがより深い学びとなるよう、知識・スキルを磨く。

#### (実習科目/桐蔭キャラバン)

MAST プログラムにおいて、5つの視点の科目群を学ぶことにより幅広い視野を獲得し、現代社会の構造的課題を理解した。そのことをもって、日本の複数都市をめぐる中で社会を相対化する視点を養い、仲間との協働を通じて知を統合するとともに、現実の各地域社会が抱える課題を特定し、解決策を提案していく学外実習を行う。

# (コース基礎科目)

学生が人文・社会科学、自然科学に対する理解を深めるとともに、専攻分野に関する専門知識を身につけるため、専門科目を配置する。学生は、2年次に地域社会学コース、マーケティング学コース、国際コミュニケーション学コース、心理学コース、サスティナブル工学コースのうち一つを選択し、その分野の専門性を深めていく。コース基礎科目群では、主となるコース及び副となるコースを選択し、2つのコースの基礎を学ぶ。

地域社会学コース Regional and Community Studies Program:

社会学の理論を土台として,行政や産業,観光などから社会のあり方について学ぶ。

身の回りの地域に留まらず日本社会が抱える構造的課題の解決に貢献できる人材を育成する。

#### マーケティング学コース Marketing Program:

マーケティング理論を中心に、起業家精神や現代社会特有のビジネスのあり方を学ぶ。激しく変化する現代社会のなかで新たな価値を創出し、社会の持続可能な発展に貢献する人材を育成する。

#### 国際コミュニケーション学コース International Communication Program:

言語や文化を中心に、異文化コミュニケーションの理論を学ぶ。グローバル社会の一員としての自覚を持ち、豊かな国際感覚を身につけ、多文化共生社会の実現に貢献する人材を育成する。

#### 心理学コース Psychology Program:

社会の中で生きる人間のこころと行動に関わる様々な理論を学ぶ。心理学の思考と 理論を土台にして,現代社会の諸問題を心理学的視点から読み解き,課題解決に貢献す る人材を育成する。

#### サスティナブル工学コース Sustainable Engineering Program:

工学を中心に,エネルギー問題や地球温暖化などの課題を克服し,脱炭素化社会を実現するための知識・技術を学ぶ。環境と経済を両立し,豊かで持続可能な社会づくりに 貢献する人材を育成する。

#### (現代社会考察科目)

MAST プログラムにおいて獲得した5つの視点,桐蔭キャラバンで獲得した幅広い視野,選択したコースの基礎科目を一度総括し,現代社会の構造と課題を理解するための科目群を学ぶ。実際の都市・地域社会に触れてきた桐蔭キャラバンを「現代社会の科学」で総括し、この後に各コース専門の学びを深めるにあたって、実際に現代社会において専門性を発揮している教員たちの研究に触れる科目、本学における各専門科目と学環のコースがクロスする科目を配置し、現代社会を考察していく。

# (コース専門科目)

主となるコースを1つに決定し、各コースの研究法をはじめ、専門性を深めていく。専門探究ゼミナールと並行して履修することで、学領域内学修(Intra-disciplinary)を深化させていく。

#### (専門探究ゼミナール)

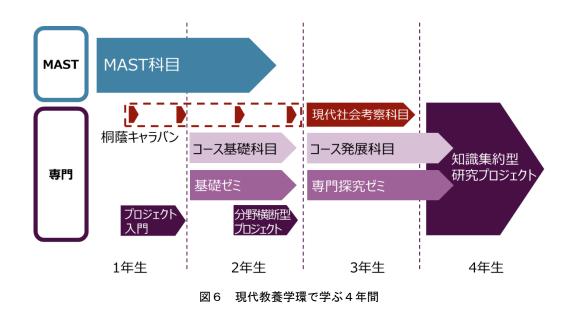
現代教養学環では、2年次の第1タームに基礎ゼミナール I を開講し、コース研究室ローテーションを行うことで、学生と指導教員のマッチングを行う。2年次第2タームには基礎ゼミナール II を開講するが、ここでは学生は主となるコースと副となるコースのゼミを2

つ履修する。3年次第1ターム・第2タームにかけて専門探究ゼミナール I・IIを開講し,各コースに応じた専門の学びを,少人数のアクティブラーニング型演習で深めていく。3年次第3ターム(IAL ターム) $^{26}$ には専門探究ゼミナールIIIを開講する。入学後より MAST プログラムで5つの視点の基礎を全て学び,2年次より各コースに配属され深めてきた専門の学びの成果をまとめる。これにより,学領域内学修(Intra-disciplinary)は完結し,4年次の知識集約型研究プロジェクトによる学際的横断・領域横断学修(Inter-disciplinary)への準備を終える。

#### (知識集約型研究プロジェクト)

現代教養学環は、入学時点で専門を決めず、設定する領域を幅広く学ぶ中で学生自身の関心を引き出し、2年次以降に専門コースに配属されるレイトスペシャライゼーション型の教育課程としている。しかしながら、全学として知識集約型社会・SDGs に貢献できる人材育成を目指す現代教養学環においては、知と知の組合せが重要であり、レイトスペシャライゼーションにより専門特化したままでは、この学位プログラムが目指す学修成果を達成できない。

そのため、4年次のゼミナール及び知識集約型研究プロジェクトにおいては、3年次にまとめた各学生の専門の学びの成果を用い、コース内外の学生たちと交わり、議論し、協働することで自身の専門知と他者の専門知を組み合わせ、横断し、融合して新たな知を創出する経験をする。現代社会の諸課題を解決するための方法論として、現代教養学環が学生たちに最も伝えたいものであり、この学位プログラムの集大成として設定するものである。



 $<sup>^{26}</sup>$  2022 年度より,第 1 ターム・第 2 タームを 105 分 $\times$  13 週(1, 365 分)授業とし,  $1\sim3$  月に集中的な学修を行う第 3 ターム(Intensive Active Learning term,IAL ターム)を導入している。

-

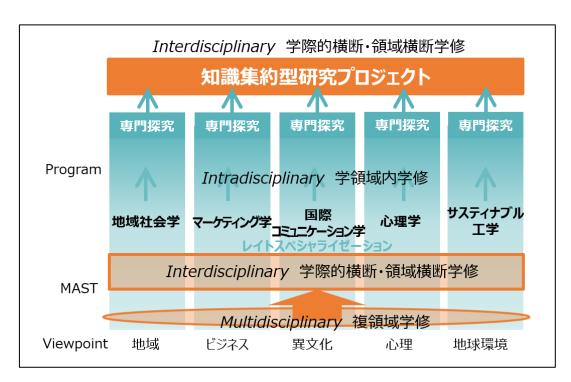


図7 現代教養学環教育課程の構造

#### (4)教育課程の特色

現代教養学環の教育課程には、レイトスペシャライゼーション、知識集約型研究プロジェクト、アクティブラーニング、桐蔭キャラバン、埋め込み型評価、という特色がある。教養の教育課程は得てして散発的になりかねないが、これら特色を組み込むことにより、養成する人材像/教育目標に向けて、着実に成果を重ねていく教育課程となっている。

#### (レイトスペシャライゼーション)

MAST プログラムの段階では、現代教養学環の学生は現代社会の諸課題を捉える5つの視点(地域、ビジネス、異文化、心理、地球環境)に対応した科目群「コンポ」を幅広く履修する。これには、「人生と学びの基盤となる力」の獲得及び「現代社会の構造的課題を理解」するための MAST プログラムを徹底的に学び、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力をより高次に獲得させるだけではなく、2年次で行うコース選択に向けて学びの視野を広げさせる意図がある。学生は、多様な視点や考え方を理解した上で、専攻し深める領域を決定していく。

2年次以降配当の5コース(地域社会学,マーケティング学,国際コミュニケーション学,心理学,サスティナブル工学)は、MASTプログラムの各科目群「コンポ」をより深めるように設計している。このレイトスペシャライゼーションを教育課程に組み込むことにより、総花的でアラカルトな履修を抑止し、幅広い視野から専門的な学びに移行していく履修モデ

ルを提示することで、学生のより高次の学びがデザイン可能となる。

# (知識集約型研究プロジェクト)

MAST プログラムにおいて複領域学修(Multi-disciplinary)を行い、2年次以降の専攻コース選択により学領域内学修(Intra-disciplinary)を深める(レイトスペシャライゼーション)。3年次にはその専門の学びの集大成として成果をまとめ、専門知を獲得する。現代教養学環が特色として誇るのは、4年次の知識集約型研究プロジェクトによる学際的横断・領域横断学修(Inter-disciplinary)である。

知識集約型の社会において主要なアクターになるためには、確かな専門知を携えた上で他者と協働し、知と知を組み合わせてイノベーションを創出していく経験の蓄積が重要となる。現代教養学環の知識集約型研究プロジェクトでは、3年次までに獲得した専門知を、異なる分野の学生たちで持ち寄り、組み合わせ、横断し、統合することで新たな知を創出する経験をする。レイトスペシャライゼーション+知識集約型研究プロジェクトのカリキュラムが、現代教養学環の比類なき特徴と言える。

#### (アクティブラーニング)

現代教養学環の授業科目は、「個一協働一個の学習サイクル」を基本とし、講義、演習、オンラインなどすべての授業形態においてアクティブラーニングの手法を活用する。形だけのアクティブラーニング型授業に陥らず、内化一外化一内化を往還させる学習サイクルを確立していく。

すべて授業科目は、一方向的な知識伝達型の講義で完結しない。対面で行う授業はもちろん、オンラインを活用して行う授業においても、学生と教員の双方向性、及び学生と学生のコミュニケーションを担保し、グループワーク、リフレクション、プレゼンテーション等のツールを活用しながら主体的、対話的で深い学びを促していく。

# (桐蔭キャラバン)

現代社会の諸課題に対峙し、自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していくことができる人材を養成する現代教養学環では、実際に身をもって社会課題に触れ、他者と交わりながら試行錯誤する経験を重視している。そこで、1年次夏期集中、1年次第3ターム(IALターム)、2年次夏期集中、2年次第3ターム(IALターム)に、「桐蔭キャラバン」と称する複数のフィールドワーク演習を実施する。大学が立地する横浜市と、日本の複数都市をめぐり、社会を相対化しつつ共通点を見出し、仲間との協働を通じて知を統合し、課題解決に向けて学びを深めていく。

# (埋め込み型評価)

現代教養学環の各授業科目は、カリキュラム・チェックリストにより、ディプロマ・ポリ

シーの達成に必要な科目が過不足なく配置されていることを確認している。各授業科目は シラバス上にディプロマ・ポリシーの達成に向けた到達目標を設定し、適切な評価方法を用 いて成績評価する。その積み重ねで、学生は卒業に必要な単位数を修得すると同時にディプ ロマ・ポリシーを達成することが期待される。

このことは、3つのポリシーに基づく学修成果の評価として、国の政策が求め、全国の大学で定着した一つの方法論である。現代教養学環においてもこの方法は採用するものであるが、学生の学修成果に基づき教育課程編成のPDCAサイクルを回し、内部質保証を実質化していくとき、やはり直接的に学生の学修成果を測定し、評価する取組が必要である。

そこで、現代教養学環のカリキュラムでは埋め込み型パフォーマンス評価(Pivotal Embedded Performance Assessment、PEPA)を実施する。ディプロマ・ポリシーを分解した各授業科目の成績評価とは別に、ディプロマ・ポリシーそのものの達成度を測る科目として全学必修科目、MAST プログラムにおけるプロジェクト科目、専門探究ゼミナール、知識集約型研究プロジェクトを設定し、各年次の主要な局面において学生の到達度を測定し、評価する。学生のディプロマ・ポリシーの到達度は、教育課程編成のPDCAサイクルに用いることはもちろん、学生自身の学びのPDCAサイクルにも活用する。到達度は「ショーケース」に記録し、学生は入学してからの学びの軌跡を何時でも振り返ることができ、社会との接続に向けて何をすべきか、主体的に考え、行動する習慣を身につけることになる。

#### 5. 教育方法. 履修指導方法及び卒業要件

#### (1)教育課程の体系化

現代教養学環では、ディプロマ・ポリシーの達成に必要な科目を、カリキュラムマップを 用いて精選し、配置している(添付資料1)。また各年次に埋め込んだアセスメント科目に より、ディプロマ・ポリシーに向けた学生の到達度を確認できるようになっている。

教育課程は、MAST プログラムを踏まえた専門コース選択、専門探究ゼミナール、そして 集大成としての知識集約型研究プロジェクトと、まず視野を広げ (Multi-disciplinary)、 専門を決定し深め (Intra-disciplinary)、他者と協働し知識を集約 (Inter-disciplinary) するための順次性が明確な編成としている。アラカルトな教養ではなく「現代教養」として 本学が教授したいものを、学生はその意図を理解した上で学ぶことができる (添付資料2)。

#### (2) 卒業要件

必修講義科目 34 単位,必修演習科目 18 単位を含め,MAST プログラムから 39 単位以上, 学環専門科目から 59 単位以上を修得し,124 単位以上を修得した学生に卒業を認定し,学 位を授与する。

# (3) 履修モデル

学生は全学必修科目、MAST プログラムを履修した後、専門必修科目、桐蔭キャラバン、選択したコースの専門科目を履修し、専門探究ゼミナールで知識を深めた後に知識集約型研究プロジェクトで知を統合する。体系的で順次性の明確なカリキュラムとなっているが、学生には複数の履修モデルを提示し、意義ある多様な学修をデザインできるよう支援をしていく(添付資料  $3\sim7$ )。

### (4)卒業研究

学生は2年次にコースを決定し、専門科目を履修するが、それを踏まえて2年次の第1タームに開講する基礎ゼミナール I (2単位)において指導教員のマッチングを行う。2年次の第2タームに開講する基礎ゼミナール II (2単位)においては、主・副となるコースのゼミを2つ履修する(4単位)。3年次の第1ターム・第2タームには専門探究ゼミナール I ・ II (各2単位)を履修し、3年次第3ターム(IAL ターム)の専門探究ゼミナール III (2単位)で学修の成果をまとめる。

4年次第1ターム・第2タームには、知識集約型研究プロジェクトI・II (4単位、6単位)を履修する。知識集約型研究プロジェクトは、バックグラウンドが異なる5名程度の学生グループを形成し、課題の設定、探究、分析、成果のまとめを行い、4年次第3ターム (IAL ターム) に学環として開催する成果報告会においてプレゼンテーションを行う。

#### (5) 学修成果の可視化

ディプロマ・ポリシーを分解した各授業科目の成績評価とは別に、ディプロマ・ポリシーそのものの達成度を測る科目として全学必修科目、MAST プログラムにおけるプロジェクト科目、専門探究ゼミナール、知識集約型研究プロジェクトにおいて学生の到達度を測定し、評価する。学生のディプロマ・ポリシーの到達度は、教育課程編成の PDCA サイクルに用いることはもちろん、学生自身の学びの PDCA サイクルにも活用する。到達度は「ショーケース」に記録し、学生は入学してからの学びの軌跡を何時でも振り返ることができる。

#### (6) 学修時間の確保

本学では 2022 年度より、標準授業時間数 $^{27}$ を遵守しつつ、学生がオンとオフのメリハリの中で集中して深い学びを行う期間として、冬期に第3ターム(Intensive Active Learning term、IAL ターム)を導入している。第1ターム(4月 $\sim$ 7月),第2ターム(9月 $\sim$ 12月)はそれぞれ1コマあたり 105分授業、13週開講とし、1,365分の授業時間数を確保している。第3ターム(IAL ターム)は、曜日により5週 $\sim$ 7週を確保し、第1・第2タームでは実施できない集中的な授業を実施する。

全学的には、第3ターム(IAL ターム)の履修を義務付けておらず、学生は、基本的には 従来どおり第1ターム、第2タームの履修で卒業要件単位を修得することが可能である。し かしながら現代教養学環においては、桐蔭キャラバンや知識集約型研究プロジェクトの総 括など、従来通りの学期区分では対応できないカリキュラムとなっており、積極的に第3タ ーム(IAL ターム)を活用することとしている。特に、2年次終盤~3年次前半は桐蔭キャ ラバンにより学外フィールドワークに長期間赴くため、従来型の2学期制ではカリキュラ ムが組めない。

第1ターム,第2タームは,それぞれ履修上限単位数を24単位と定めている。第3ターム(IAL ターム)は期間の短さや集中的な学びのための期間という趣旨を踏まえ,学生にとり真に必要な授業科目のみを厳選し,履修を勧める(上限6単位)。なお,直前の学期までの累積 GPA が 3.0 以上の学生には,第1・第2タームに限り,履修上限単位数を30 単位まで緩和する。

#### (7) 学修支援

本学ではこれまでも、中小規模の大学ならではの、学生と教職員の距離の近さを活かした 履修相談や成績不振者のフォローを行ってきた。担任教員は学生の修学動向に目を光らせ、 学務部の職員は毎学期、相当数の学生対応をしている。この外形には表しにくい本学の長所 は今後も継続して伸ばしていきながら、2022 年度より新たに取り組んでいる事項がある。

#### (共通教育チューター)

<sup>27</sup> 2単位・週1コマの授業あたり, 90分×15週=1,350分を標準授業時間数と設定。

本学としては初めて全学部共通の必修科目を3科目導入したことに際し、科目担当教員だけでは学生の躓きや遅れなどに十分に対応できない可能性がある。当然に、一義的には科目担当教員の責任であるが、大学入学直後の1年次生については、大学として支援を十全に行い、その後の修学も見据えた取組が重要であると判断した。そこで大学院生を中心に、学生の授業内外での活動を支援する共通教育チューター制度を導入した。チューターは、科目担当教員の管理下で、グループワークの支援や質問対応、提出物の整理などの授業内支援や、課題の提出状況のチェック、学修が遅延気味の学生の抽出と声がけ・サポートを行う。

#### (教学 IR)

本学における IR (Institutional Research) は、内部質保証の取組に用いるのみならず、学修支援の装置としても活用することとしている。学事システムである桐蔭横浜大学 Universal Passport (ユニパ) が提供する学修カルテ、ポートフォリオシステムや授業出席情報、成績情報、学修行動調査等のデータを IR 担当者が分析し、学生の修学に関するアーリー・アラートを出し、担任教員や学務部職員等に伝達し、懇切丁寧な修学相談にあたる。

#### (ラーニングスペース)

本学には、各棟の各所に学生のための学修スペースを設けているものの、面積としては十分とは言えない。そこで現代教養学環に限らず、全学生が学修のために使用できる空間として、300 ㎡規模の大教室を改修し、ラーニングスペースとして開放している。ラーニングスペースには、学生の学修サポート(レポートライティング等)のためのスタッフを駐在させている。

#### 6. 実習の具体的計画

#### (1) 実習の目的と特徴

現代社会の諸課題に対峙し、自ら考え、主体的に行動して、責任を持って社会変革を実現していくことができる人材を養成する現代教養学環では、机上で理論を学修することにとどまらず、現実の社会の構造を理解し、社会を構成し動かしている実践者と触れ合うことで、現代社会の諸課題を「我が事」として受け止め、考えることができるよう、実習を重視している。

実習は、1年次「プロジェクト入門」、2年次「分野横断型プロジェクト」、1年次~2年次の「桐蔭キャラバン」フィールドワーク科目群、4年次の「知識集約型研究プロジェクト」と、各年次に体系的・構造的に配置している。視野を広げ、専門を決定し深め、他者と協働し知識を集約するそれぞれの段階において、各実習が主要な位置づけを占めていることが現代教養学環のカリキュラムの特徴である。

## (2) 実施方法と内容

各実習の科目概要は次の通りである。各年度の具体的な実施方法,内容,体制,予算等については,現代教養学環における教授会に相当する学環運営会議において審議する。

# ■ プロジェクト入門 Introduction to Project Management

1年次対象。MAST プログラムにおける5つの科目群(コンポ)ごとに、それぞれの学びの特徴に応じた「プロジェクト入門」を開講する。

プロジェクトの計画から実行・評価に至るプロセスを経験的に学ぶと同時に,社会課題の解決に取り組むための基盤となる資質・能力を身につけることを目標とする。また、学修者自らが意欲的にプロジェクトに取り組み、成果を出すことを目指す中で、科目群(コンポ)ごとのテーマに応じた学びを深め、授業時間外の活動を推奨する。

そうした中,プロジェクトの計画・実行に関わる基礎的な知識・技能について理解し,協 働して社会課題の解決に取り組む素地を形成することを目指す。

# ■ 分野横断型プロジェクト Cross-disciplinary Project

2年次対象。MAST プログラムにおける5つの科目群(コンポ),及び専門各コースの基礎的知識を活用し、複数の他者と協働する中で分野を横断する重要性を学ぶ。

横浜信用金庫や株式会社アントレなど、地域の企業や団体等の協力のもと、現実に生じる課題の提示を受けた学生が主体的に解決策を検討し、提案する PBL (Project Based Learning) 科目。社会で活躍するために必要な他者と協働的に学ぶスキルを活用しながら、学修者自らが意欲的にプロジェクトに取り組み、自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目指す。

#### ■ 桐蔭キャラバン Toin Caravan

1年次,2年次に実施。日本の複数都市をめぐる中で、社会を相対化する視点を養い、仲間との協働を通じて知を統合し、地域社会が抱える課題を特定し、解決策を提案する。

学生は、まずはMAST プログラムコア科目「地域の科学」(1年次第1ターム、2単位)において、横浜市青葉区をフィールドとして活動を行い、複数都市をめぐる前に思考の軸を形成する。1年次夏期集中期間には、「フィールドスタディ I」(1単位)において地方の小規模、中規模の都市において数日間の活動を実施する。1年次第3ターム(IAL ターム)には、「フィールドスタディ II」(1単位)において地元大都市である横浜市を探求する。

2年次夏期集中期間には、「フィールドスタディⅢ」(2単位)として、1年次と同じく地方の小規模、中規模の都市をめぐる。地方都市は、福島県や山梨県などと具体的な計画を進めている。2年次では2週間程度滞在し、それぞれの地域で生活しながら、滞在都市にある研究施設や芸術施設などを利用し、また現地の企業、行政機関、NPO法人、市民団体等との協働プロジェクトやインターンシップを経験しながら学びを深める。複数都市ごとに学びのテーマがあり、実際に暮らすことで各都市に即した特徴や課題に触れながら、幅広い内容の事柄を体験しつつ学ぶ実践型学修を行う。

2年次第3タームには、「フィールドスタディ $\mathbb{N}$ 」(1単位)として、日本の首都である東京を題材にしたフィールドワークを行う。

#### ■ 知識集約型研究プロジェクト Knowledge - Intensive Research Project

4年次に実施。3年次までに獲得した専門知を,異なる分野の学生たちで持ち寄り,組み合わせ,横断し,統合することで新たな知を創出する経験をする。この際,実社会で生じる時勢に即した課題へのアプローチを踏まえた学びを展開する。バックグラウンドが異なる5名程度の学生グループを形成し,課題の設定,探究,分析,成果のまとめを仲間との協働を通して行い,学環として開催する成果報告会においてプレゼンテーションを行う。

# 7. 入学者選抜の概要

#### (1)入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

現代教養学環では、幅広い教養と確かな専門知識を身につけて、現代社会の構造的課題を 理解し、今後の持続的な発展に向けてアイデアを出し、それを具現化し、持続可能で豊かな 社会の構築に貢献できる人材を養成する。このため、現代教養学環では、次のような知識や 能力を備え、主体的に社会変革を実現していく意欲のある人材を求める。

#### (知識・技能)

1. 本学での学修に必要な基礎学力を有している。

(思考力・判断力・表現力)

- 2. 目標を達成するため、現状を理解し、何をすべきかについて自ら考えることができる。
- 3. 他者の意見を理解し、自己の考えを表現することができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

- 4. 積極的に他者と関わり、協働して活動することができる。
- 5. 社会の持続可能な発展に関心を持ち、主体的に関わる意欲を有している。

#### (2)選抜方法

入学者選抜は、大学入学者選抜実施要項(文部科学省高等教育局長通知)に基づき、一般 選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜を実施する。ホームページをはじめ、大学案 内パンフレット(キャンパスガイド)、オープンキャンパス等の入試広報活動を展開し、ア ドミッション・ポリシーに合致する受験生を確保する。

#### ○ 令和5年度入試(第1期生)受入れのための実施案

◆一般選抜(全学統一試験)

試験科目: 国語※1,外国語※2,地理歴史・公民※3,数学※4,理科※5から2科目又は1

科目選択

試験実施: 前期 2月上旬,後期 3月上旬

募集人員: 15人

# ◆一般選抜 (学部等前期)

試験科目: 国語※1,外国語※2,地理歴史・公民※3,数学※4,理科※5から2科目選択

試験実施: 2月上旬

募集人員: 10人

#### ◆大学入学共通テスト利用選抜

試験科目: 数学①または②, 国語(近代以降の文章), 地理歴史または公民, 外国語,

理科①または理科②から3教科4科目選択

試験実施: 前期 1月募集,後期 2月募集

募集人員: 10人

## ◆学校推薦型選抜(公募)

試験科目: 基礎学力検査,小論文,面接

試験実施: 11月中下旬

募集人員: 10人

## ◆総合型選抜

試験科目: 基礎学力検査, 小論文, 面接

試験実施: 10月中旬,12月上旬,3月中旬

募集人員: 20人

# ◆特別選抜(社会人,留学生,帰国生徒募集)

試験科目: 小論文, 面接

試験実施: 11月下旬,12月上旬

募集人員: 若干名

※1 国語:国語総合(近代以降の文章)

※2 外国語:英語(コミュニケーション英語 I・Ⅱ,英語表現 I)

※3 地理歴史・公民:地理(地理B),世界史(世界史B,近世及び近代以降),日本史(日本史B),政治・経済から選択

※4 数学:数学(数学 I · II, 数学 A · B))

※5 理科:物理(物理基礎・物理),化学(化学基礎・化学),生物(生物基礎・生物) から選択

# (3) 入学者選抜の実施体制

入学者選抜は、公正で公平な方法により、適切な体制を整えて行う。そのため、学長を本部長とする試験実施本部、全学入試委員長を本部長とする試験場本部を設置し、権限と責任を明確化し、全学一致体制で入学者選抜を実施する。

#### 8. 教員組織の編制の考え方及び特色

#### (1) 教員組織編制の基本的考え方

前述した桐蔭横浜大学リ・ブランディング戦略(TURBoS)を具現化していくには、従来のように教員が学部内に閉じた活動を行うのではなく、全学一体となり、学部学科を問わず、必要な箇所に必要な者が携わる体制を整えることが決定的に重要である。既存の3学部の壁を取り払い、教育資源、とりわけ教員の人的資源を結集し、大学共通MASTプログラムを構築したことは、その旗艦となる取組であった。

現代教養学環設置は、全学部が連携協力し、学園と大学の使命を果たすべく資源を結集し、 未来社会の構築に貢献できる人材育成を行うことを目指すもう一つの旗艦的取組である。 そのため、現代教養学環における教育研究に係る責任を担う教員組織の編制において重視 すべきことは、連携協力と適材適所、すなわち、学生の学びのために資源を結集する「学修 者本位の大学教育」である。

#### (2)教員組織

現代教養学環における業務を担う教員は、専属専任教員、連係専任教員、兼担教員、兼任教員から構成される。

専属専任教員と連係専任教員が、現代教養学環の専任教員となる。専任教員は、専門分野や教育研究上の能力、教学マネジメントの経験に基づき13名を配置する。うち1名は法学部、3名は医用工学部、5名はスポーツ科学部、4名は教育研究開発機構の協力により成立する。職位別には、教授が7名、准教授が3名、講師が3名となっている。1名はこれまでも全学的な要職を経験し、令和3年度からは学長補佐として全学改革を牽引する教員であり、現代教養学環設置後は学環長として就任することを予定している。学長執行部の一員として、学長のリーダーシップのもと現代教養学環設置の理念を具現化していく責務を負う者である。

専属専任教員は8名であり、現代教養学環の業務を主に行い、現代教養学環でのみ主要な授業科目を担当する。現代教養学環における教授会に相当する学環運営会議を主導する立場であり、全学の各種委員会等に現代教養学環を代表して参画する。

連係専任教員は5名であり、現代教養学環と連係協力学部の双方の業務を行い、双方で主要な授業科目を担当する。現代教養学環における教授会に相当する学環運営会議の構成員であり、現代教養学環における教育研究について審議する立場である。

兼担教員は22名であり、現代教養学環以外の学部等部局に所属する専任教員で、授業科目の提供又は共同開設を業務とする。もちろん当然に、現代教養学環における3つのポリシーに基づく教学マネジメントには参画する。兼任教員は25名であり、他大学その他に所属し、非常勤として現代教養学環の授業を担当する教員である。

#### (3) 教員組織の年齢構成

完成年度(令和8年度)末時点の専任教員(専属専任教員及び連係専任教員)の年齢構成は、30歳台1名、40歳台4名、50歳台2名、60歳台4名、70歳台1名であり、教育研究上の水準を維持向上させ、持続的に活性化させることができる年齢構成となっている。学校法人桐蔭学園桐蔭横浜大学教員定年規則において、教員の定年は満63歳若しくは満68歳28と定めており、学年進行中に2名の教員が定年に達するが、当該分野でより優秀で適切な若手教員を獲得し、より持続可能性の高い年齢構成実現する方針である。十分な期間を確保して人事計画を進めるため、綿密に業務の引継ぎなどを行うため、教育研究上の影響は極小とする。なお、次世代太陽電池ペロブスカイト研究の宮坂力特任教授は、特例により定年を適用しない。

## (4) 教員の業務管理

現代教養学環において、専任教員はゼミナールによる学生指導、授業担当、学位プログラムの教学マネジメントに携わる。加えて、連係専任教員においては現代教養学環と連係協力学部の双方の業務を行い、双方で主要な授業科目を担当する。このことから、特に連係専任教員において負担が過重とならないよう、学環長のもと、学環運営会議として教員のエフォートを常に管理し、必要に応じて大学執行部会議を通じて全学的な負担調整を行う。

<sup>28</sup> 採用時の形態により決定される。招聘教員は満68歳,その他教員は満63歳。

36

## 9. 施設、設備等の整備計画

#### (1) 校地校舎等

本学は、横浜市青葉区鉄町のキャンパスに、83,764 ㎡の校地と述べ床面積 40,863 ㎡の校舎を構え、3,450 名までは教育可能な施設設備を有している。2021 (令和3) 年5月現在、学部と大学院を合わせて2,479名の学生が在籍しているが、十分に余裕がある現況にある。

既存の法学部,医用工学部,スポーツ健康政策学部(新スポーツ科学部)は,それぞれの教育研究の特徴に応じた施設設備を有しており,学部名称を冠した棟もあるが,全学的な施設マネジメントとして特に各棟の使用を明確に区分することはなく,活動の目的に応じたキャンパス活用を行っている。現代教養学環においては,全学の連係協力のもと実施することから,これまでの全学的運用を改めて確認し,教育研究内容に応じた教室,研究室等を利用することとしている。

また現代教養学環に限らず、全学生が学修のために使用できる空間として、300 ㎡規模の 大教室を改修し、ラーニングスペースとして開放している。各棟と連携し学生の学修空間を デザインし、至る所で学生がアクティブに学ぶことができるキャンパスとして整理するこ とを目指す。

## (2) 図書等の資料及び図書館

学部・大学院の教育研究のため、床面積 3,141 ㎡,閲覧席 413 席の大学図書館を有している。現在、約 20 万冊の書籍と約 605 タイトルに及ぶ雑誌を保有し、約 1,400 タイトルの電子ジャーナルが閲覧可能となっている。開館時間は月~土曜日の 9 時から 20 時まで、日・祝日及び年末年始の大学休業日は休館となっている。2 階参考閲覧室は、資料を大きく広げ複数人で画面を見ながらの作業が可能な 13 台の PC やホワイトボード、DVD ブースも備えた会話可能な閲覧室である。また、館内に個人用閲覧席が 86 席あり、集中して自習するスペースとして多く活用されている。

## 10. 管理運営

### (1) 運営会議

現代教養学環における教育研究等に関する事項を審議するため、専属専任教員と連係専任教員により構成される現代教養学環運営会議を設置し、毎月1回開催する。運営会議は次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- 学位の授与に関する事項
- 教育課程に関する事項
- 学環の教学マネジメントに関する事項
- 学生支援に関する事項
- 教員の教育研究業績に関する事項
- 学環の教員人事に関する事項
- 専任教員の業務管理に関する事項
- その他教育研究に関する事項

## (2) 全学執行体制上の位置づけ

現代教養学環の設置にあたり、これまでも全学的な要職を経験し、令和3年度からは学長補佐として全学改革を牽引する教員が学環長として就任することを予定している。当面は学長補佐・学環長として学長執行部の一員として管理運営に携わり、学長のリーダーシップのもと、最前線で全学的な連係協力を具現化する役割を担う。

学環長は,現代教養学環を代表する者として,専任教員を次に掲げる全学委員会に参画させる。

- 全学学務委員会 : 教務に関する事項を審議

- 全学入試委員会 : 入試及び学生募集に関する事項を審議

- 全学学生委員会 : 学生生活に関する事項を審議

- 全学キャリア支援委員会 : 学生のキャリア支援に関する事項を審議

## 11. 自己点検・評価

#### (1) 全学的実施体制

本学は、桐蔭横浜大学自己点検評価規程に基づき、教育研究、組織、運営並びに施設設備の状況について自己点検・評価を行う。全学的な責任を担うものとして、大学自己点検評価委員会を設置することとなっているが、現在の全学改革期において、点検評価項目の調整が多数発生することや、迅速な PDCA のチェック活動が必要なことから、当面の間は大学執行部会議が大学自己点検評価委員会を包括することとしている。

令和4年度より、内部質保証担当副学長を置き、学生の学修成果に基づく各教育プログラムの自己点検・評価を中心に、全学の教育研究活動において内部質保証を実質化させていくことに取り組んでいる。

## (2) 実施方法等

大学執行部会議のもと、各学部、各研究科、各事務部局においてそれぞれ自己点検評価委員会を設置(以下「学部等自己点検評価委員会」という。)し、大学執行部会議から定められた事項、及び自ら定める事項について自己点検を行う。事務責任部局である大学総務部が各学部等自己点検評価委員会における点検結果の提示を受け、その適切性を検討し、必要な場合は修正等を要請する。総務部は、適切と判断した各学部等自己点検評価委員会の点検結果を、作業過程も明らかになるようにしながら、大学執行部会議に提案する。大学執行部会議は提案の各内容を審議し、それを踏まえ学長が次年度の事業計画等に反映させていくサイクルとなっている。

個々の教員の自己点検・評価は、令和3年度より全学的な統一方針のもとで実施している。 各教員は、指示を受けて自己点検・評価シートを作成し、学部長等に提出する。学部長等は、 各教員の点検結果について吟味し、部局評価案を作成する。各教員の自己点検結果及び部局 評価案は大学執行部会議に提出され、内容を確認の上、評価結果を決定し、学部長等を通じ て各教員に結果を通知する。各教員の評価結果に基づき、教育活動の評価は令和5年度より 所属学部等の教育活動費等の査定に用い、研究活動の評価は令和6年度より各教員の研究 費配分の見直しに用いることを決定している。

## 12. 情報の公表

ホームページや大学案内等を通じて、本学の教育研究活動、社会貢献活動等の情報を学内外に積極的に発信している。なお、「教育情報の公表」として、学校教育法施行規則第 172 条の2に基づく情報公開を、次のURLにて実施している。

■ 教育情報の公表 / 桐蔭学園 > 桐蔭横浜大学 http://toin.ac.jp/univ/publish/

(学校教育法施行規則第172条の2に定める事項)

① 大学の教育研究上の目的及び第 165 条の 2 第 1 項の規定により定める方針 (※ 3 つの ポリシー) に関すること

本事項に対応して、建学の精神・学園訓、桐蔭横浜大学憲章、学部及び研究科の目的・目標を公表している。各学部・研究科における3つのポリシーについては、次のURLから閲覧可能となっている。

- 3つのポリシー /桐蔭学園 >桐蔭横浜大学 >大学概要 http://toin.ac.jp/univ/overview/policy/
- ② 教育研究上の基本組織に関すること 本事項に対応して、基本組織、役職を公表している。
- ③ 教員組織,教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること 本事項に対応して,教職員の数,専任教員一人あたりの学生数,専任教員の職位・年齢・ 性別構成,教員プロフィール及び業績を公表している。
- ④ 入学者の数,収容定員及び在学する学生の数,卒業又は修了した者の数並びに進学者数 及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

本事項に対応して,入学定員・入学者数とその経年推移,収容定員・在籍学生数,卒業者数,留学生数,科目等履修生・聴講生・研究生数,社会人学生数,卒業後の進路や就職率等の状況を公表している。

- ⑤ 授業科目,授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること 本事項に対応する情報として,教育課程や履修の方法などを記した「履修要項」をホームページ上でも公表し,閲覧可能としている。授業計画(シラバス)については,次のURLから閲覧可能となっている。
  - 桐蔭横浜大学授業計画 http://syllabus.cc.toin.ac.jp/jyugyoukeikaku/

- ⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること 本事項に対応する情報として、教育課程や履修の方法、卒業要件などを記した「履修要項」をホームページ上でも公表し、閲覧可能としている。
- ⑦ 校地,校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること 本事項に対応する情報として、キャンパスマップ、各施設紹介、アクセスマップ、周辺 地図を掲載している。
- ⑧ 授業料,入学料その他の大学が徴収する費用に関すること 本事項に対応して,入学金,授業料,施設整備費その他の諸経費のほか,授業料減免制 度(特待生制度)や奨学金の情報を公表している。
- ⑨ 大学が行う学生の修学,進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること本事項に対応して、学生と教員のコミュニケーションに関すること(オフィスアワー)、大学生活で出会う様々な問題について相談できる学園相談室、ハラスメント相談のシステムが閲覧できるようにしている。

## (その他)

- 大学ガバナンス・コード /桐蔭学園 >桐蔭横浜大学 > 大学概要 http://toin.ac.jp/univ/overview/governance-code/
- 大学基準協会における大学評価(認証評価) について /桐蔭学園 >桐蔭横浜大学 >大学紹介 >点検・評価 http://toin.ac.jp/univ/intro/check/evaluation2018/

### 13. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

### (1) 全学的な取組

全学的な見地から教育研究の一層の推進を図るための組織として、令和2年に教育研究開発機構を設置した。教育開発研究機構は、大学の教学マネジメントの推進、教育開発の研究を行う組織として、大学共通MASTプログラムや高大接続事業の企画立案、学修行動調査、学修成果のアセスメント、教学IRの実施、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)の企画運営を担ってきている。

FD については、高等教育全体の状況から本学が直面している課題、今後とるべく戦略等を検討する全学 FD や、各学部と教育研究開発機構が連携して、アクティブラーニングの推進やカリキュラム改革などを研究する学部 FD などを実施している。

特にコロナ禍におけるアクティブラーニングの実践事例を全学で共有する取組も進めており、特色ある事例はホームページ上にも掲載し、公表している。(■AL を止めない! 桐蔭横浜大学 教育実践 http://toin.ac.jp/univ/onlineclass/)

また、授業評価の高い教員をエクセレント・ティーチャーとして毎年選出し、学長が顕彰 する制度があり、教員の授業改善に対する意欲を喚起することに資する取組となっている。 受賞者は、全学 FD で経験を全教員と共有することとなっている。

## (2) 現代教養学環としての取組

現代教養学環においては、全学的な取組に加え、各ターム(年3回)に学環 FD を実施する。アクティブラーニングの点検と改善、授業評価アンケートや学修行動調査等の学生の反応を受けた教育内容・方法の改善、学生の学修成果のアセスメント結果を踏まえたカリキュラムの改善等を定例として毎回のアジェンダに盛り込む。それらに加えて、全学から教育資源を結集した組織であることから、学環における教育活動を各学部等、全学にフィードバックする責務があるため、教育研究開発機構と協働して全学 FD の運営にも積極的に参画することとしている。

## 14. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

#### (1) 適切な体制の整備と全学的な取組

学生の進路やキャリアを支援するための事務組織として、キャリア情報センターを置いている。また、全学的見地から学生のキャリア支援に関する重要な事項を審議する全学キャリア支援委員会を設置し、教員・職員協働のサポート体制を構築している。

学生の進路相談に丁寧に応じるため、3名のキャリアサポーターを配置している。キャリア形成に対する意識が高まっている学生への予約制のキャリア相談に加え、相談のハードルを下げ、まずはキャリア情報センターに足を運んでみることを促す「就活なんでも相談会」を毎週火曜日に実施している。

#### (2)教育課程内の取組

大学共通 MAST プログラムの導入科目として、全学生を対象とする必修科目「桐蔭キャリアゲート」、「桐蔭スキルゲート」、「データコミュニケーション入門」を配置している。社会的・職業的自立に向けて、意識とスキルの双方を身につけていく科目となっている。また、全学生が受講できるキャリア講座を開設している。自らを振り返り進路選択の幅を広げていく  $1\sim 2$ 年次対象の科目、自己分析を行い分野や職種等、進路選択を考える 3年次対象の科目を配置している。

教育課程の重要な局面(プロジェクト入門、分野横断型プロジェクト、ゼミナール等)ごとに、ディプロマ・ポリシーの達成度を自己評価・他者評価を行い、その結果を「ショーケース」に記録する取組を進める。この「ショーケース」は学生の学びの PDCA に用いるとともに、3年次の段階では企業等に直接提示できる内容となるように指導する。キャリア情報センターが主体となって「ショーケース」を学生の就職先等企業にも評価いただけるよう働きかけること等を通じて、「ショーケース」の作成がディプロマ・ポリシーの達成に繋がり、ディプロマ・ポリシーの達成に繋がり、ディプロマ・ポリシーの達成が進路成功に繋がる、というモデルを構築する。

## (3) 教育課程外の取組

キャリア情報センターの取組として、学内外の企業説明会や業界研究セミナー、面接対策、 就職試験対策などに加え、本学ならではの学生と教員の「距離の近さ」を活かしたきめ細や かな支援プログラムを実施している。また、一般社団法人神奈川経済同友会の会員が所属す る企業および団体と神奈川県内に拠点を持つ大学が中心となって行う、産学連携による学 生の人材育成を目的とした課題解決型研究プログラム「神奈川産学チャレンジプログラム」 にも積極的に参画し、学生のキャリア意識を涵養する取組も進めている。

# 資料

添付資料1 カリキュラムマップ カリキュラムツリー 添付資料 2 履修モデル1 心理学コース 添付資料3 (マーケティング学コースを横断的に学ぶ場合) 履修モデル2 マーケティング学コース 添付資料4 (心理学コースを横断的に学ぶ場合) 添付資料 5 履修モデル3 国際コミュニケーション学コース (地域社会学コースを横断的に学ぶ場合) 添付資料 6 履修モデル4 地域社会学コース (国際コミュニケーション学コースを横断的に学ぶ場合) 添付資料7 履修モデル5 サスティナブル工学コース 桐蔭横浜大学教員定年規則 添付資料8 添付資料9 桐蔭横浜大学特任教員内規

						۳	ディプロ	1マ・ポ	リシー	との関連	Ē	
	斗目 <b>≾</b> 分	授業科目の名称	単位	学年	現代的教養	分野横断専門知識と	考動力	複眼的思考力	共感力	リーダーシップ	探究力	自律的キャリア
		桐蔭キャリアゲート	2	1			0	0	0	0	0	0
	M	桐蔭スキルゲート	2	1			0	0		<u> </u>	0	0
	A	データコミュニケーション入門	2	1			0	0	0	0	0	0
	S T	英語コミュニケーション I	2	1				0	0		0	0
		英語コミュニケーションⅡ	2	1				0	0	<u> </u>	0	0
	A	英語コミュニケーションⅢ	2	2				0	0		0	0
		英語コミュニケーションIV	2	2				0	0		0	0
		地域の科学	2	1	0	0	0		0		0	
		サステナブル社会学	2	1	0	0	0	0				0
		地域における健康課題	2	1	0	0	0	0		L	0	
		コミュニティ・ファシリテーション	2	1	0	0		0	0	0		<b> </b>
		ビジネスの科学 	2	1	0	0	0			0		0
		マーケティング各論	2	1	0	0	0		0	0		<u> </u>
		アントレプレナーシップ	2	1	0	0		0		<b>_</b>	0	0
		デジタル産業論	2	1	0	0		© -			0	0
	M	異文化の科学	2	1	0	0	0	0	 	L	0	
	A S	言語文化論	2	1	0	0	0		   <u>-</u>	0	0	
	T	表現とコミュニケーション	2	1	0	0		0	0	0		
	D	視覚文化論 	2	1	0	0		© -	0	<b>_</b>	0	
	В	心の科学	2	1	0	0	0	0	   <u>-</u>	<b>_</b>	0	
		健康と心理学	2	1	0	0	0		0	<b>_</b>		0
		こころの世界	2	1	0	0	0		0	<b>_</b>		0
		青年と心理学	2	1	0	0	0	©	 	<b></b>	0	
		地球環境の科学	2	1	0	0	<u></u>	0	 		0	
		科学技術の未来 地球と環境	2	1	0	0	0	<u></u>			0	
		<sup>地球と現現</sup>   持続可能な開発と法	2	1	0	0	0				<u> </u>	<u></u>
		プロジェクト入門	2 2	$\frac{1}{1}$	0	0	(O)	© ()	(i)	0	() ()	0
		地域政治論	2	2	0	0	0	0	0		0	0
		地域観光事業論	2	2	0	0	<u> </u>	9	0		0	
		横浜地域学	2	2	0	0	0	©	0			
	M	実践地域創成学	2	2	0	0	0		0	©	<b></b> -	<del> </del> -
	A S	マーケティング・リサーチ	2	2	0	0	0	©		<u> </u>	0	<del> </del> -
	S T	ウェブ・コミュニケーション	2	2	0	0	0	0	0	<u> </u>	<u> </u>	<del> </del> -
		現代ビジネス論	2	2	0	0	0	0	©	t		<del> </del>
	C	ビジネスアイデアデザイン	2	2	0	0	<b></b>	0	0	<b> </b>	0	<del> </del> -
—- ங்л⊾	( л	異文化リサーチ	2	2	0	0	0	0	0	<b> </b>	<u>-</u>	
般教	]	ファッション文化論	2	2	0	0	<u> </u>	0	0	<u> </u>	0	
育	ス 基	フード文化論	2	2	0	0		0	0	<b> </b>	0	
科目	礎	若者文化論	2	2	0	0		0		<b></b>	0	0
日日	科	集団と心理学	2	2	0	0		0	0	0		
	旦	幸せと心理学	2	2	0	0		0	0		0	
		意思決定と心理学	2	2	0	0	0	0	 	T	0	
		自己調整と心理学	2	2	0	0			0		0	0
		分野横断型プロジェクト	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		体育実技 I	1	1					0	0		
	自中	体育実技 II	1	1					0	0		
	由 科	ボランティア論	2	1			0	0			0	
	目	ボランティア実習	2	1			0	0	0	0	0	
		海外実習	2	2			0	0	0	0	0	0

					7	ディプロ	ロマ・ボ	リシー	との関連	Ē	
科目区分	授業科目の名称	単位	学年	現代的教養	分野横断専門知識と	考動力	複眼的思考力	共感力	リーダーシップ	探究力	自律的キャリア
	キャリアトランジション	2	2				0			0	C
	キャリアセミナーI	2	2				0			0	C
	キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ	2	2 3				0	 	<b> </b>	0	
	インターンシップ	2	3			0	0	0	0	0	
	教師論	2	1					0	<u> </u>		
	教育心理学	2	1			0	0	<u>-</u>	<b></b> -		<del> </del>
	教育原理・教育課程論	2	2			0	0				<del> </del> -
.3-	特別支援教育指導論	2	2				0	0			<del> </del> -
キャ	教育社会論(学校安全を含む)	2	2				0			0	1
IJ	道徳教育指導論	2	2			0		0			
アプ	教育方法論	2	2				0				(
口	生徒指導論	2	3				0				(
グー	教育相談・キャリア教育指導論	2	2					0			(
ラム	特別活動・総合的な学習の時間指導法	2	3				0			0	<b> </b>
	ICT活用スキルの理論と実際	2	3			0	0	   <u>-</u>	 		<b> </b>
	アスリートの科学	2	1				0	0			<b></b>
	大学スポーツ論	2	1				0		 		
	ことばのスキル	2	1				0	0			<del> </del> -
	ソーシャル・コミュニケーション アスリートキャリア	2 2	1				0	0	<b> </b>		(
	アスリート・クロス	2	1 2				0		<b></b> -		
	リーダーシップ教育	2	2				0		0		
	ライフスキル	2	2				0			0	<del> </del> -
講特	MAST特別実習	1	1			0	0	0	0	0	
義別	MAST特別講義	2	1			0	0	0	0	0	
	ロジカルライティング	2	2			0	0			0	(
	ロジカルコミュニケーション	2	2					0	0	0	(
	デジタルスキル	2	2			0	0	0	0	0	(
専	データコミュニケーション	2	2		<b></b>	0	0	0	0	0	(
門 必	フィールドスタディ [	1	1				0	0	0		<b></b>
修	フィールドスタディ II フィールドスタディ III	1	1				0	0	0		<b></b>
	フィールドスタディIV	2 1	2 2				© ©	© ©	© ©		<del> </del> -
	現代社会の科学	2	3	0	0		0	0		©	<del> </del> -
	現代社会と学術研究	2	3	<u> </u>	0		0	<u>~</u>	<b> </b>	0	(
	地域社会学研究法	2	3	0	0	0	0			0	
	行政学	2	3	0	0	0	0				(
	政治学	2	3	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	地方自治法	2	3	0	0	0	0				(
	地域共生論	2	3	0	0		0	0	<u> </u>	0	<u> </u>
	地域共生実践	2	3	0	© -		©	0	0		<b> </b>
	マーケティング学研究法	2	3	0	0	0	0	 	 	0	<b> </b>
	会計学	2	3	0	0	0	0	<b> </b>	<b> </b>	0	<b> </b> -
	租税法	2	3	<u> </u>	0	<u> </u>	0	0	<b></b> -	<b> </b> -	<del> </del>
	広告論 スポーツマーケティング 熱	2	3	<u> </u>	0	0	0	<u> </u>	<b></b> -		<del> </del> -
	スポーツマーケティング論 スポーツマネジメント論	2 2	3	(O)	(i)	<u></u>	(O)	0	©		<del> </del>
	国際コミュニケーション学研究法	2	3	<u> </u>	0	©	0	$\cup$	$\odot$	0	<del> </del>
	日本日学コンラニクー・ノョンラ 神空中										1

					٣	ディプロ	コマ・ポ	リシー	との関連	Ė	
科目区分	授業科目の名称	単位	学年	現代的教養	分野横断専門知識と	考動力	複眼的思考力	共感力	リーダーシップ	探究力	自律的キャリア
	国際観光論	2	3	0	0	0	0			0	
	国際交流論	2	3	0	0	0	0	0			
	比較政治制度論	2	3	0	0		0			0	0
	国際政治論	2	3	0	0	0	0			0	
	心理学研究法	2	3	0	0	0	0			0	
	法哲学	2	3	0	0		0			0	0
	市民形成論	2	3	0	0	0	0	0	[		
	心理統計解析	2	3	0	0	0	0	0			
学	社会・文化と心理学	2	3	0	0		0			0	0
環専	総合医療学概論	2	3	0	0	0	0			0	
門	数学 I	2	2	0	0	0	0			0	
科	物理 I	2	2	0	0	0	0			0	
目	化学	2	2	0	0	0	0			0	
	数学Ⅱ	2	2	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	物理Ⅱ	2	2	0	0	0	0			0	
	有機化学基礎	2	2	0	0	0	0			0	
	物理化学 I	2	2	0	0	0	0			0	
	分析化学	2	2	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	機器分析化学	2	2	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	基礎光学	2	2	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	サステナブル工学研究法 I	2	3	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	サステナブル工学研究法Ⅱ	2	3	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	無機化学 I	2	3	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	無機化学Ⅱ	2	3	0	0	0	0		<u> </u>	0	
	有機化学 I	2	3	0	0	0	0			0	
	有機化学Ⅱ	2	3	0	0	0	0		L	0	
	高分子化学	2	3	0	0	0	0			0	
	物理化学Ⅱ	2	3	0	0	0	0			0	
	力学	2	3	0	0	0	0		L	0	
	電気化学	2	3	0	0	0	0			0	
	電気工学	2	3	0	0	0	0			0	
	電磁気学	2	3	0	0	0	0			0	
	界面科学	2	3	0	0	0	0		<b></b>	0	
	環境分析学	2	3	0	0	0	0		L	0	
	都市と防災	2	3	0	0	0	0			0	
	基礎ゼミナール I	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	基礎ゼミナールⅡ	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門探究ゼミナール I	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
演	専門探究ゼミナールⅡ	2	3	<u></u>	0	0	<u></u>	0	0	0	<u></u>
習	専門探究ゼミナールⅢ	2	3	<u></u>	0	0	<u></u>	0	0	0	<u></u>
	専門探究ゼミナールIV	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	知識集約型研究プロジェクトⅠ	4	4	<u></u>	0	0	<u></u>	0	0	0	<u></u>
	知識集約型研究プロジェクトⅡ	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0

1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 3年前期 3年後期 4年前期 4年後期 MAST A科目 データコミュニケーション 桐蔭キャリアゲート 桐蔭スキルゲート 英語コミュニケーション I ---- 英語コミュニケーションⅡ -・英語コミュニケーション Ⅰ ━━━━━ 英語コミュニケーション Ⅱ = 専門必修科目 ロジカルライティング ロジカルコミュニケーション デジタルスキル データコミュニケーション ▶ 分野横断型プロジェクト プロジェクト・演習科目 - フィールドスタディⅢ <del>-----</del> ─ フィールドスタディIV ── - 現代社会の科学 -現代社会と学術研究 -▶知識集約型研究プロジェクトI/Ⅱ 専門探究 専門探究 専門探究 基礎ゼミナール I -基礎ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナール I ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ MAST B科目 コース発展科目 コース基礎科目 サスティナブル社会学 地域社会学研究法 地方自治法 地域の科学 地域政治論 横浜地域学 コ域 地域における健康課題 コミュニティ・ 地域観光事業論 実践地域創成学 行政学 地域共生実践 インスタ ファシリテーション 政治学 地域共生論 プロジェクト入門 マーケティング・リサーチ ビジネスの科学 マーケティング各論 現代ビジネス論 マーケティング学研究法 スポーツ 学コース マーケティング論 アントレプレナーシップ デジタル産業論 ウェブ・コミュニケーション ビジネスアイディアデザイン 会計学 スポーツ 租税法 マネジメント論 広告論 プロジェクト入門 カース ケーション学 コース 異文化リサーチ フード文化論 国際コミュニケーション学 異文化の科学 表現と 比較政制度論 コミュニケーション 研究法 言語文化論 ファッション文化論 若者文化論 国際政治論 言語文化交流論 視覚文化論 国際観光論 プロジェクト入門 心の科学 青年と心理学 集団と心理学 心理学研究法 社会・文化と心理学 意思決定と心理学 コ心 健康と心理学 幸せと心理学 自己調整と心理学 法哲学 総合医療学概論 |理 ス学 こころの世界 市民形成論 心理統計解析 プロジェクト入門 地球環境の科学 持続可能な開発と法 数学 I 数学Ⅱ 物理Ⅱ サスティナブル研究法 I サスティナブル研究法Ⅱ エス 学テ 科学技術と未来 物理I 有機化学基礎 無機化学 I 電気化学 無機化学Ⅱ 物理化学Ⅱ コイ 地球と環境 物理化学 I 機器分析化学 化学 有機化学 I 電気工学 ーナブ 有機化学Ⅱ 電磁気学 分析化学 基礎光学 高分子化学 界面科学 力学 プロジェクト入門 設置等の趣旨(資料)

履修モデル1 心理学コース (マーケティング学コースを横断的に学ぶ場合)

		1年			2年			3年			4年			
		科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	
	MAST-A	桐蔭キャリアゲート 桐蔭スキルゲート データコミュニケーション入門 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I	1前 1前 1前 1前 1後	2 2 2 2 2										10
一般教育科目	MAST-B	地域の科学 ビジスの科学 異文化の科学 吸の和学 健康との世界 マーケトンラング アントレルをトシリー デジロジェクト入門(現代心理) プロジェクト入門(ビジネス・インテンシン	11111111111111111111111111111111111111	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	地域における健康課題 表現とコミュニケーション 持続可能な開発と法 言語文化論	1前 1後 1後 1前	2 2 2 2 2							34
	MAST-C (コース基礎科目)			_	集団と心理学 幸せと心理学 意思決定と心理学 自己調後監心理学 分野横断型プロジェクト	2前 2前 2後 2後 2後	2 2 2 2 3	マーケティング・リサーチ 現代ビジネス論 若者文化論	2前 2後 2後	2 2 2				17
	キャリアプログラム				キャリアトランジション キャリアセミナー I キャリアセミナー I リーダーシップ教育	2前 2前 2後 2後	2 2 2 2	キャリアセミナーⅢ  インターンシップ 	3前 3前	2				12
	専門必修	フィールドスタディ I フィールドスタディ Ⅱ	1前 1後	1	ロジカルライティング ロジカルコミュニケーション データコミュニケーション フィールドスタディⅢ フィールドスタディⅣ	2前 2後 2後 2前 2後	2 2 2 2 1	現代社会の科学 現代社会と学術研究 デジタルスキル	3前 3後 2後	2 2 2				17
学環専門科目	コース発展科目							心理学研究法 市民形成論 心理統計解析 社会·文化と心理学 総合医療学概論	3前 3・4前 3前 3後 3・4前	2 2 2 2 2				10
	演習				基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II (心理学) 基礎ゼミナール II (マーケティング学	2前 2後 2後	2 2 2	専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナールⅡ 専門探究ゼミナールⅢ	3前 3後 3後	2 2 2	専門探究ゼミナールIV 知識集約型研究プロジェクト I 知識集約型研究プロジェクト II	4前 4前 4後	2 4 6	24
	:単位数			38			42			32			12	124
年間履修的	登録単位の上限			48			48			48			48	1

履修モデル2 マーケティング学コース(心理学コースを横断的に学ぶ場合)

		1年			2年			3年			4年			
		科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	1
	MAST-A	桐蔭キャリアゲート 桐蔭スキルゲート データコミュニケーション入門 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I	1前 1前後 1前後 1後	2 2 2 2										10
一般教育科目	MAST-B	地域のスペーク マー・	11111111111111111111111111111111111111	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	サステナブル社会学 科学技術の未来 持続可能な開発と法 視覚文化論	1後 1前 1後 1前	2 2 2 2 2							34
	MAST-C (コース基礎科目)				マーケティング・リサーチ 現代ビジネス論 ウェブ・コミュニケーション ビジネスアイデアデザイン 分野横断型プロジェクト	2前 2後 2前 2後 2後	2 2 2 2 3	集団と心理学 意思決定と心理学 横浜地域学	2前 2後 2後	2 2 2				17
	キャリアプログラ <i>L</i>				キャリアトランジション キャリアセミナー I キャリアセミナー I ライフスキル	2前 2前 2後 2前	2 2 2 2	キャリアセミナーⅢ インターンシップ リーダーシップ教育	3前 3前 2後	2 2 2				14
	専門必修	フィールドスタディ I  フィールドスタディ I	1前 1後	1	ロジカルライティング ロジカルコミュニケーション デジタルスキル データコミュニケーション フィールドスタディⅢ フィールドスタディⅢ	2前 2後 2後 2前 2前 2後	2 2 2 2 2 1	現代社会の科学 現代社会と学術研究	3前 3後	2 2				17
学環専門科目	コース発展科目							マーケティング学研究法 会計学 租税法 広告論	3前 3・4前 3・4前 3・4後	2 2 2 2				8
	演習				基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール I (心理学) 基礎ゼミナール II (マーケティング学	2前 2後 2後	2 2 2	専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナールⅢ	3前 3後 3後	2 2 2	専門探究ゼミナールIV 知識集約型研究プロジェクト I 知識集約型研究プロジェクト II	4前 4前 4後	2 4 6	24
	単位数			38			44			30			12	124
年間履修	登録単位の上限	1		48	1		48			48			48	1

履修モデル3 国際コミュニケーション学コース(地域社会学コースを横断的に学ぶ場合)

1212 - 771		・ション学コース(地域社会学コースを   1年	DCHIRST - 3	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2年			3年			4年			
		科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	1
	MAST-A	桐蔭キャリアゲート 桐蔭スキルゲート データコミュニケーション入門 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I	1前 1前 1前 1前 1前 1後 1 1後	2 2 2 2 2	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	2前 2後	2 2							14
一般教育科目	MAST-B	大地域のスペープン・ 地域のスペープン・ ビジスイル学 ルの科学 ルの科学 地球環境の科学 書表現と北高・ 表現とない。ニーケーション 視覚文化論 地域におけて、会学 地域におけて、会学 地域にエニティ・ファシリテーション ブロジェクト入門(地域創生)	11111111111111111111111111111111111111	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2										26
	MAST-C (コース基礎科目)				異文化リサーチ ファッション文化論 フード文化論 若者文化論 分野横断型プロジェクト	2前 2前 2後 2後 2後	2 2 2 2 3	地域観光事業論 実践地域創成学	2前 2後	2 2				15
	キャリアプログラム				キャリアトランジション キャリアセミナー I キャリアセミナー I リーダーシップ教育	2前 2前 2後 2後	2 2 2 2	キャリアセミナーⅢ インターンシップ	3前 3前	2				12
	自由科目	海外実習	2前	2										2
	専門必修	フィールドスタディ I フィールドスタディ I	1前 1後	1	ロジカルライティング ロジカルコテニケーション デジタルスキル データコミュニケーション フィールドスタディ™ フィールドスタディ™	2前 2後 2後 2前 2前 2後	2 2 2 2 2 1	現代社会の科学 現代社会と学術研究	3前 3後	2 2				17
学環専門科目	コース発展科目							国際コミュニケーション学研究法 言語際セ化交流論 国国際交流論 以下 財政治制度論 国政治制度 国本文化と心理学	3前 3前 3・4後 3・4前 3・4前 3・4	2 2 2 2 2 2 2				14
	演習				基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II (国際コミュニケーション学) 基礎ゼミナール II (地域社会学)	2前 2後 2後	2 2 2	専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナール II	3前 3後 3後	2 2 2	専門探究ゼミナールⅣ 知識集約型研究プロジェクトⅠ 知識集約型研究プロジェクトⅡ	4前 4前 4後	2 4 6	24
	単位数			40			40			32			12	124
年間履修:	登録単位の上限			48			48			48			48	l

履修モデル4 地域社会学コース (国際コミュニケーション学コースを横断的に学ぶ場合)

		1年			2年			3年			4年			
		科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	i
	MAST-A	桐蔭キャリアゲート 桐蔭スキルゲート データコミュニケーション入門 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 6	2 2 2 2 2	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	2前 2後	2 2			=		20-17	=	14
一般教育科目	MAST-B	大地域のスの科学 ビジスの科学 東文化の科学 心の科学 地球環境の科学 吉語文とコミュニケーション 視覚文化に論 サステナナブル社会学 地域写作おける年課題 ロミュニケーション 持続可能な開発と法 プロジェクト入門(地域創生)	11111111111111111111111111111111111111	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2										28
	MAST-C (コース基礎科目)				地域政治論 地域観光事業論 横浜地域学 実践地域創成学 フード文化 分野横断型プロジェクト	2前 2前 2後 2後 2後 2後	2 2 2 2 2 3							13
	キャリアプログラム				キャリアトランジション キャリアセミナー I キャリアセミナー Ⅱ	2前 2前 2前 2後	2 2 2	キャリアセミナーⅢ インターンシップ リーダーシップ教育	3前 3前 2後	2 2 2				12
	自由科目	ボランティア論 ボランティア実習	1後 1後	2 2										4
	専門必修	フィールドスタディ I フィールドスタディ II	1前 1後	1	ロジカルライティング ロジカルコテニケーション デジタルスキル データコミュニケーション フィールドスタディ™ フィールドスタディ™	2前 2後 2後 2前 2前 2後	2 2 2 2 2 1	現代社会の科学 現代社会と学術研究	3前 3後	2 2				17
学環専門科目	コース発展科目					-50		地域社会学研究法 行政学 地方自治法 地域共生論 地域共生実践	3前 3・4前 3・4後 3前 3後	2 2 2 2 2	都市と防災	3・4後	2	12
	演習				基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II (国際コミュニケーション学) 基礎ゼミナール II (地域社会学)	2前 2後 2後	2 2	専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナール II 専門探究ゼミナール II	3前 3後 3後	2 2 2	専門探究ゼミナールIV 知識集約型研究プロジェクト I 知識集約型研究プロジェクト II	4前 4前 4後	2 4 6	24
	8単位数 登録単位の上限			44 48			40 48			26 48			14 48	124

履修モデル5 サスティナブル工学コース

	リスティナフルエ	1年			2年			3年			4年			
		科目名	AU	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	科目名	配当年次	単位	
		桐蔭キャリアゲート 桐蔭スキルゲート データコミュニケーション入門 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I	1前 1前 1後 1前 1後	2 2 2 2 2										10
一般教育科目	MAST-B	地域の科学 学の科学 中で、 中で、 中で、 中で、 中で、 中で、 中で、 中で、 中で、 中で、	1前前前前前前後後後前後後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	アントレブレナーシップ 視覚文化論	1前 1前	2 2							30
	MAST-C (コース基礎科目)				数学 I 物化学 物化学 取 物学理Ⅱ 有機化学Ⅰ 物有化学学 人器分析化学 人器分析化 使 を が が が が が が が が が が が が が が が の が の が	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3							23
	キャリアプログラ <i>↓</i>				キャリアトランジション	2前 2前	2	リーダーシップ教育	2後	2				6
	専門必修	フィールドスタディ I	1前	1	キャリアセミナー I ロジカルライティング ロジカルコミュニケーション デジタルスキル データコミュニケーション	2前 2前 2後 2後 2後	2 2 2 2 2							9
学環専門科目	コース発展科目							サステナブル工学研究法I サステナブル工学研究法I 無機化学I 有機化学学I 有有為理化学学 「 管電磁気利理化学学 「 管電磁気利学 「 管電域、 「 管電域、 「 管電域、 「 管電域、 「 管電域、 「 管電域、 「 管電域、 「 管電域、 「 管電域、 「 等」 「 等」 「 等」 「 等 で 等 「 等 で 等 で 等 の で り で り で り で り の り の り の り の り の り の	3333333333333333333333333333333333333	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				28
200	演習			0.7				専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナール I 専門探究ゼミナールⅢ	3前 3後 3後	2 2 2	専門探究ゼミナールIV 知識集約型研究プロジェクト I 知識集約型研究プロジェクト II	4前 4前 4後	2 4 6	18
	単位数 登録単位の上限			37			39			36			12 48	124
平间腹惨3	13			48			48			48	L		48	

○桐蔭横浜大学教員定年規則

(平成 15 年 4 月 1 日制定) 最近改正 平成 19 年 9 月 1 日

(目的)

第1条 桐蔭横浜大学(以下「本学」という。)の教授、准教授、専任講師及び助教(以下「教員」という。)の定年については、この規則の定めるところによる。

(教員の定年)

- 第2条 本学の教員の定年は、満63歳とする。
- 2 大学設置、大学院設置又は学部・学科新設のため招へいした教員については、満 68 歳まで延長することができる。
- 3 学部長、研究科長については、別に定める。
- 4 教員が定年に達したときは、その年度の末日をもって退職するものとする。 (人事評価)
- 第3条 第2条の規定にかかわらず、定年に達する1年前に人事評価を行い、2年の継続 雇用の適否を決定する。継続雇用とされた場合、以後2年ごとに人事評価を行い満68 歳まで雇用を継続できるものとする。

(人事評価委員会)

第4条 前条に定める人事評価を行うために、本学に人事評価委員会を置く。人事評価委員会の運営規則は別に定める。

(人事評価委員)

- 第5条 人事評価委員は、次の各号で構成し委員長には学長が当たる。
  - (1) 学長
- (2) 学長の指名した者

(その他)

第6条 定年を延長した者に対する給与等処遇については、別に定める。

附則

- 1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 桐蔭横浜大学教員定年規則(平成2年5月17日施行)は、廃止する。

附則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成19年9月1日から施行する。

○桐蔭横浜大学特任教員内規

(平成15年6月1日制定)

(目的)

第1条 この内規は、桐蔭横浜大学(以下「本学」という。)における教育並びに研究の促進を図ることを目的として、特任教員についての必要な事項を定める。

(職位)

- 第2条 特任教員の職位は、特任教授、特任准教授、特任専任講師及び特任助教とする。
- 2 前項の職位は、桐蔭横浜大学教員資格選考基準に準じ、学長が決定する。

(任務)

- 第3条 特任教員は、原則として一定期間授業を担当する。ただし、学長が認めた場合はこの限りではない。
- 2 本学が必要とする場合は、特任教員に研究活動並びに講演等への参加を要請することができる。

(手続)

第4条 特任教員の採用は、理事長と協議した学長の要請に基づき、人事委員会の議を経て 教授会に報告する。

(条件)

- 第5条 特任教員の任用期間、授業担当時間及びその他の任務については、当該特任教員の 所属する学部長又は研究科長が、あらかじめ学長と協議して決定する。
- 2 特任教員は、別の定めるところにより教授会又は研究科委員会の構成員とすることができる。

(期間)

第6条 特任教員の任用期間は、1年を原則とする。ただし、学長が認めた場合はこの限りではない。

(処遇)

第7条 特任教員に、研究室の貸与並びに研究費を支給し、授業担当時間数に関わらず一定 の給与を支給する。

(契約)

- 第8条 特任教員の採用に際して、本学と当該特任教員は、文書により契約するものとする。 (事務の所管)
- 第9条 特任教員に関する事務は、総務部が所管する。

(改廃)

第10条 この内規の改廃は、評議会の議を経て学長が行う。

附則

この内規は、平成15年6月1日から施行する。

附則

この内規は、令和2年5月1日から施行する。 附 則

この内規は、令和3年4月1日から施行する。

(用紙 日本産業規格A4縦型)

教 員 名 簿

		学	長	C	D	氏	名	等
調書番号	役職名		<sup>フリガナ</sup> 氏名 (予定)年月ン	>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
1	学長	モリ 教 <令和	•	>		博士 (言語文 化学)		桐蔭横浜大学学長 (令和4年4月1日)

<sup>(</sup>注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

			教		員		の氏		2	, 1	等	平 生 来 規 恰 A 4 献 空 /
(現	代教養学	環)										
調書番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当单位数		現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
1	専	教授 (課程 長)	ナミキ コウイチ 並木 浩一 <令和5年4月>		博士 (学 術)		視覚文化論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平24.4)	5日
							MAST特別実習 MAST特別講義	1前・ 後 1前・	1 2	2		
							ウェブ・コミュニケーション ビジネスアイデアデザイン ファッション文化論	後 2前 2後 2前	2 2 2	1 1 1		
							現代社会と学術研究 広告論 言語文化交流論	3後 3・4後 3前	2	1 1 1		
							国際観光論 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II	3後 2前 2後	2 2 2	1 1 1		
							専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ	3前 3後 3後 4前	2 2 2 2	1 1 1		
							知識集約型研究プロジェクトI 知識集約型研究プロジェクトII	4前 4前 4後	4 6	1 1	スポーツ健康政	
2	専	教授	カタヤマ フミョ 片山 富美代 <令和5年4月>		博士 (学 術)		健康と心理学	1前	2	1	策学部 教授 (平16.7)	5日
							集団と心理学 幸せと心理学 意思決定と心理学	2前 2前 2後	1 2 2	1 1 1		
							自己調整と心理学 キャリアセミナー I キャリアセミナーⅢ キャリアセミナーⅢ	2後 2前 2後 3前	1 2 2 2	1 1 1		
							インターンシップ ロジカルライティング ロジカルコミュニケーション	3前 2前 2後	2 2 2	1 1 1		
							心理学研究法 基礎ゼミナール I 基礎ゼミナール II	3前 2前 2後	2 2 2	1 1 1		
							専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ	3前 3後 3後 4前	2 2 2 2	1 1 1		
							知識集約型研究プロジェクトI 知識集約型研究プロジェクトII	4前 4前 4後	4 6	1 1	教育研究開発機	
3	専	教授	タケダ ヨシコ 武田 佳子 <令和5年4月>		修士 (教育 学)		キャリアトランジション	2前	2	1	構 教授 (令和3.4)	5日
							キャリアセミナーI キャリアセミナーⅢ キャリアセミナーⅢ	2前 2後 3前	2 2 2	1 1 1		
					博士		インターンシップ ソーシャル・コミュニケーション	3前 1後	2 2	1	スポーツ健康政	
4	専	教授	ハヤシダ ハルミ 林田 はるみ <令和5年4月>		ト イス ポーツ 科学)		地域における健康課題	1前	2	1	策学部 教授 (平30.4)	5日
							コミュニアイ・ノアンリアーショ 地域政治論 地域観光事業論	2前 2前	2 2 2	1 1 1		
							フィールドスタディ I フィールドスタディ II フィールドスタディ III フィールドスタディ IV	1前 1後 2前 2後	1 1 2 1	1 1 1		
							現代社会の科学 地域社会学研究法 地域共生論	3前 3前 3前	2 2 2	1 1 1		
							地域共生実践 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	3後 2前 2後	2 2 2	1 1 1		
							専門探究ゼミナールⅠ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ	3前 3後 3後 4前	2 2 2 2	1 1 1		
							専門採先でミケールIV 知識集約型研究プロジェクトI 知識集約型研究プロジェクトII	4前 4前 4後	4 6	1 1 1		

1											
本語	_	#	444-455	イケガミ マサシ	博士	FN MALLIA AND on the other	. 26			医用工学部	5.0
10   10   11   1   1   1   1   1   1	5	専	教授			科学技術の未来	1前	1	1		5日
### 201 28 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 1 2				<令和5年4月>	字)	11h 7件 7個 1位 ハンゴリ 24	1 3/4	0.7	1	(平18.4)	
10   10   10   10   10   10   10   10							1				
中の大きなでナール目   10   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1							1				
### (1997年) 198 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
# 中部 ( 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1							1				
10							3後	2			
							4前	2			
日						知識集約型研究プロジェクトⅠ	4前	4	1		
日 専 教授						知識集約型研究プロジェクトⅡ	4後	6	1		
***					丁学捕						
19   19   19   19   19   19   19   19	6	専	教授			科学技術の未来	1前	1	1		5日
特別のではてール   30				<令和5年4月>		to a barro tale a seed the				(半13.12)	
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1							1				
中部できてール回   10   10   10   10   10   10   10   1							1				
特別の大きシェール   特別の大きシール   特別の大き											
							1				
大力が トシエ   大学性   大学性							1				
2   本 数校   次子   シンス   次子   次子   次子   次子   次子   次子   次子   次							1				
7   本   数数   次字像   大型   大型   大型   大型   大型   大型   大型   大				1 1 12 1 5						スポーツ健康政	
おり	7	亩	*4+10		文学修	→ 本 小 A	1 24.	0	1		E 17
1版 2 1   1   1   1   1   1   2   2   2   2	- (	守	4又1又				1 刊	Z	1	教授	9日
10   10   10   10   10   10   10   10				> 口4P中6円 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /							
10 本   10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10							1後	9	1		
8	igspace					ン	11/2		1		
8   専   権数校				サイトウ レイ							
(全和5年4月〉 (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文)	8	専	准教授			ビジネスの科学	1前	2	2		5日
中国		,									•
サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					でナチノ	マーケティンガ久論	1 24	9	1	(+-31.4)	
ターケータング・リテーチー   1次 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1							1				
サード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
現代ビジネス論   現							1				
2   3   1   1   1   1   1   1   1   1   1							1				
2   1   2   2							1				
本							1				
基礎セミナール日   2歳 2 1 1   1   1   1   1   1   1   1   1							1	2	1		
本語をミナール   現門接近ゼミナール   現門接近ゼミナール   現門接近ゼミナール   現門接近ゼミナール   現門接近ゼミナール   現門接近ゼミナール   現   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本						スポーツマネジメント論	3・4前	2	1		
中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国							1				
中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国									1		
中国							1				
中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国											
9   専   権教授											
9   専   推教授							1		-		
中							1				
9   専   権教授				ウェハタ ヨウフ		和職集が至明先プログエクト II	41次	0	1	<b>新</b> 杏研空間	
日本教授	_		W #1 1=								
本教授   本教	9	専	准教授			異文化の科学	1前	2	1		5日
B					字)						
マード文化論 若者文化論 2後 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2						プロジェクト入門	1後	2	1		
書き文化論   2後   3							2前		1		
日本							1				
16   17   18   18   2   1   18   3   3   3   3   3   3   3   3   3											
国際コミュニケーション学研究法   基礎ゼミナール  2前 2 1   2							1				
本語せきナールI 2前 2 1							1				
基礎ゼミナール   2後 2 1 3 3前 2 1							1				
中門探究ゼミナールI   3前   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1							1				
10     専門探究ゼミナールII 事門探究ゼミナールII 3後 2 1     1											
10     専門探究ゼミナールII 由開発でゼミナールII 由開発でゼミナールII 専門探究ゼミナールII 事門探究ゼミナールII 3後 2 1     1							1				
10     専門探究ゼミナールIV 知識集約型研究プロジェクト I 4前 4 1 1											
知識集約型研究プロジェクト I 4前 4 1   1   2   1   法学部   推教授											
カルセ タケシ   高瀬 武志   本育学   修士   本育実   本育実   「											
本の表現   本の表現							1	6	1		
修士   修士   修士   修士   修士   修士   修士   修士					休杏学						<u> </u>
本育実技 I	10	専	准教授			桐蔭キャリアゲート	1前	2	1		5日
体育実技				<令和5年4月>	1100 土					(平26.4)	
アスリートの科学							1				
アスリートキャリア   1後 2   1							1				
アスリート・クロス     2前     2     1       リーダーンップ教育     2後     2     1       ライフスキル     2前     2     1       基礎ゼミナールI     2前     2     1       基礎ゼミナールII     2後     2     1       専門探究ゼミナールII     3前     2     1       専門探究ゼミナールII     3後     2     1       専門探究ゼミナールII     3後     2     1							1				
リーダーシップ教育 2後 2 1 ライフスキル 2前 2 1 基礎ゼミナール I 2前 2 1 基礎ゼミナール I 2後 2 1 専門探究ゼミナール I 3前 2 1 専門探究ゼミナール I 3後 2 1 専門探究ゼミナール I 3後 2 1							1				
ライフスキル     2前     1       基礎ゼミナール I     2前     1       基礎ゼミナール I     2後     2     1       専門探究ゼミナール I     3前     2     1       専門探究ゼミナール II     3後     2     1       専門探究ゼミナール II     3後     2     1							1				
基礎ゼミナールI     2前     1       基礎ゼミナールII     2後     2     1       専門探究ゼミナールII     3前     2     1       専門探究ゼミナールII     3後     2     1       専門探究ゼミナールII     3後     2     1							1				
<ul> <li>基礎ゼミナールI 2後 2 1 専門探究ゼミナール I 3前 2 1 専門探究ゼミナールII 3後 2 1 専門探究ゼミナールII 3後 2 1</li> <li>専門探究ゼミナールII 3後 2 1</li> </ul>							1				
専門探究ゼミナール I     3前     2     1       専門探究ゼミナール II     3後     2     1       専門探究ゼミナール III     3後     2     1							1				
専門探究ゼミナールII     3後     2     1       専門探究ゼミナールIII     3後     2     1							1				
<ul><li>専門探究ゼミナールⅢ 3後 2 1</li></ul>							1				
専門探究ゼミナールⅣ 4前 2 1						専門探究ゼミナールⅢ	3後	2			
							1	2	1		
知識集約型研究プロジェクト I 4前 4 1							1				
知識集約型研究プロジェクトⅡ 4後 6 1	1 1					知識集約型研究プロジェクトⅡ	4後	6	1		

_								1	T	
11	専	講師	シバヤマ ナオユ キ 柴山 直之 <令和5年4月>	博士 (工 学)	地球環境の科学	1前	0. 7	1	医用工学部 講師 (令和3.4)	5日
			< 11 dp0 — ±31 >		プロジェクト入門	1後	2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
					専門探究ゼミナールI	3前	2	1		
					専門探究ゼミナールⅡ	3後	2	1		
					専門探究ゼミナールⅢ 専門探究ゼミナールⅣ	3後 4前	2 2	1		
					知識集約型研究プロジェクトⅠ	4前	4	1		
					知識集約型研究プロジェクトⅡ	4後	6	1		
12	専	講師	マツイ シンサク 松井 晋作 <令和5年4月>	修士 (文 学)	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	教育研究開発機構 講師	5日
					地域の科学 サステナブル社会学	1前 1後	2	2	(令和3.4)	
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					横浜地域学	2後	2	1		
					実践地域創成学	2後	2	1		
					分野横断型プロジェクト 基礎ゼミナール I	2後 2前	3 2	1 1		
					基礎ゼミナールⅡ	2後	2	1		
					専門探究ゼミナールI	3前	2	1		
					専門探究ゼミナールⅡ	3後	2	1		
					専門探究ゼミナールⅢ	3後	2	1	1	
					専門探究ゼミナールIV	4前	2	1	1	
					知識集約型研究プロジェ クト I	4前	4	1		
					知識集約型研究プロジェ	1.50		,		
					クトⅡ	4後	6	1		
13	専	講師	ミゾグチ ユウ 溝口 侑 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	桐蔭スキルゲート	1前	2	1	教育研究開発機構 講師 (令和3.4)	5日
					データコミュニケーション入門	1後	2	1	(11/110.4)	
					心の科学	1前	2	2		
					こころの世界	1前	2	1		
					青年と心理学	1後	2	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1	1	
					集団と心理学 意思決定と心理学	2前 2後	1 2	1		
					自己調整と心理学	2後	1	1	1	
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1	1	
					デジタルスキル	2後	2	1		
					データコミュニケーション	2後	2	1	1	
					心理統計解析	3前	2	1		
					社会・文化と心理学 基礎ゼミナール I	3後 2前	2 2	1	1	
					基礎ゼミナールⅡ	2後	2	1		
					専門探究ゼミナールI	3前	2	1	1	
					専門探究ゼミナールⅡ	3後	2	1		
					専門探究ゼミナールⅢ	3後	2	1		
					専門探究ゼミナールIV 知識集約刑研究プロジェクトI	4前	2	1	1	
					知識集約型研究プロジェクト I 知識集約型研究プロジェクト II	4前 4後	4 6	1		
14	兼担	教授	フクイ コウスケ 福井 康佐 <令和5年4月>	博士 (法 学)	租税法	3·4 前	2	1	法学部 教授 (平24.4)	5日
15	兼担	教授	ハラ チサコ 原 千砂子 <令和5年4月>	法学修 士	比較政治制度論	3·4 前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
					英語コミュニケーション	1前	2	1		
					I 英語コミュニケーション Ⅱ		2	1		
16	兼担	教授	アベ ケンジ 阿部 憲二 <平成19年9月>	教育学 博士	英語コミュニケーションI	1前	2	3	法学部 教授 (平14.9)	5日
			、 I MAIO 〒3万 /		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	3	(   17. 0)	
17	兼担	教授	ナカノ ヒデユキ 中野 英之 <令和5年4月>	博士(地球環境科	地球と環境	1前	2	1	スポーツ健康政策学部教授	5日
18	兼担	教授	マス ノブオ 升 信夫 <令和5年4月>	法学博士	持続可能な開発と法	1後	2	1	平31.4 法学部 教授 (平9.4)	5日
					政治学	3 · 4	2	1		
19	兼担	教授	ミヤヅ タイゾウ 宮津 大蔵 <令和5年4月>	教育学士	ボランティア論	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平21.4)	5日
					ボランティア実習	1後	2	1	(+21.4)	

				, ,	1				1	
20	兼担	教授	ヒビノ ノブコ 日比野 暢子 <令和5年4月>	博士 (一) 東 (一) 東 (一) 東 (一) デ (1) デ (1) ボッ・ (1) デ (1) ボッ・ (1) デ (1) ボッ・ (1) ボッ・	海外実習	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平25.4)	5日
				77	国際交流論	3·4 後	2	1		
21	兼担	教授	タケウチ アキョ 竹内 明世	修士(法	キャリアセミナーI	2前	2	1	法学部 教授	5日
			<令和5年4月>	学)	キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ	2後 3前 3前	2 2 2	1 1 1	(平10.4)	
22	兼担	教授	トクオカ ヨシカ ズ 徳岡 由一	博士 (工 学)	化学	2前	2	1	医用工学部 教授 (平13.4)	5日
			<令和5年4月>		分析化学 機器分析化学 基礎光学	2後 2後 2後	2 2 2	1 1 1		
					サステナブル工学研究法 I サステナブル工学研究法	3前	2	1		
					リハノノンルエ子明元伝	3後	2	1		
					無機化学I	3前	2	1		
					無機化学Ⅱ 電気化学	3後 3前	2 2	1		
					界面科学	3後	2	1		
23	兼担	教授	サトウ ユタカ 佐藤 豊 <令和5年4月>	教育学修士	教師論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平28.1)	5日
					ICT活用スキルの理論と 実際	3前	2	1	(+26.1)	
24	兼担	教授	カメオカ セイロ ウ 亀岡 聖朗 <令和5年4月>	博士 (心理 学)	教育心理学	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平31.4)	5日
			\ [14H0\PT] \		教育相談・キャリア教育 指導論	2後	2	1	(   01. 4)	
25	兼担	教授	デグチ ユウイチ 出口 雄一 <令和5年4月>	博士 (法 学)	法哲学	3·4 後	2	1	法学部 教授 (平16.4)	5日
26	兼担	准教授	イ ヒスン 李 禧承 <令和5年4月>	博士 (教育 学)	教育学	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平24.4)	5日
					ICT活用スキルの理論と	3前	2	1		
					実際 教育方法論	2後	2	1		
27	兼担	准教授	ナガハマ ヒロフ ミ 長濱 博文 <令和5年4月>	博士 (教育 学)	教育原理・教育課程論	2前	2	1	法学部 准教授 (平29.4)	5日
					市民形成論	3·4 前	2	1		
28	兼担	准教授	クリヤマ ユタカ 栗山 裕 <令和5年4月>	学術博士	デジタル産業論	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平3.4)	5日
29	兼担	准教授	オオタ エイスケ 太田 英輔 <令和5年4月>	博士 (理 学)	有機化学基礎	2後	2	1	医用工学部 准教授 (令4.4)	5日
			、19-1HU丁±/7/	T T	有機化学 I	3前	2	1	(13 7. 7)	
					有機化学Ⅱ 高分子化学	3後 3後	2 2	1 1		
30	兼担	准教授	サトウ クニマサ 佐藤 国正 <令和5年4月>	修士 (体育 科学)	キャリアセミナー I	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平24.4)	5日
					キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ	2後 3前	2 2	1 1	(   24.4)	
31	兼担	講師	オオヌマ ケンタ ロウ 大沼 健太郎	博士 (工 学)	インターンシップ 物理 I	3前 2前	2	1	医用工学部 講師 (平28.4)	5日
			<令和5年4月>	T)	hbm III IT	944	9	1	(+40.4)	
					物理Ⅱ 力学	2後 3前	2 2	1 1		
					電磁気学 電気工学	3後 3前	2 2	1 1		
32	兼担	講師	ヤマグチ トモコ 山口 智子 <令和5年4月>	博士 (理工 学)	物理化学 I	2後	2	1	医用工学部 講師 (令4.4)	5日
					物理化学Ⅱ 環境分析学	3後 3後	2 2	1 1		
-				<del> </del>	シベクロンハ ハ 丁	~ EX.		-		

33	兼担	講師	ヤマウチ シノブ 山内 忍 <令和5年4月>	博士 (工 学)	キャリアセミナー I	2前	2	1	医用工学部 准教授 (平24.4)	5日
			(19180   2017		キャリアセミナーⅡ キャリアセミナーⅢ インターンシップ	2後 3前 3前	2 2 2	1 1 1	(   211 1)	
34	兼担	助教	アサオカ ケイタ 浅岡 慶太	修士(法	英語コミュニケーションⅠ	1前	2	1	法学部 助教	5日
			<令和5年4月>	学)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	(平13. 4)	
35	兼担	助教	オオツジ コウタ 大辻 康太 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	体育実技 I	1前	1	1	法学部 助教 (平31.4)	5日
			ヨシハラ ショウコ	学士	体育実技Ⅱ	1後	1	1	桐蔭横浜大学	
36	兼任	客員 教授	吉原 晶子 <令和5年4月>	(教育 学)	特別活動・総合的な学習 の時間指導法	3後	2	1	客員教授 (平29.4)	
37	兼任	客員 教授	ペマ・ギャルポ <令和5年4月>	学士 (法学)	国際政治論	3・4 前	2	1	桐蔭横浜大学 客員教授 (平16.4)	
38	兼任	講師	イケダ アツコ 池田 敦子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	特別支援教育指導論	2後	2	1	東海学院大学 教授 (令2.4)	
39	兼任	講師	ヤマグチ アキコ 山口 晶子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	教育社会論(学校安全を含む)	2前	2	1	東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)	
40	兼任	講師	ヤハギ ノブユキ 矢作 信行 <令和5年4月>	修士 (学術)	道徳教育指導論	2前	2	1	帝京平成大学 教授 (令2.4)	
41	兼任	講師	マエダ ヨシヒト 前田 善仁 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	生徒指導論	3前	2	1	東海大学 教授 (平26, 4)	
42	兼任	講師	オカザキ リカ 岡崎 理香 <令和5年4月>	修士(法学)	行政学	3・4 前	2	1	一般社団法人 Global Issues Forum Tokyo 事務局長 (平26.1)	
43	兼任	講師	ヤナギ アヤコ 柳 綾子 <令和5年4月>	博士 (経営 学)	会計学	3・4 前	2	1	税理士法人恒輝 (榎本税務会計 事務所) (平25.9~平 29.3)	
44	兼任	講師	オチアイ アキラ 落合 晃 <令和5年4月>	博士 (医学)	統合医療学概論	3·4 前	2	1	日本医療科学大学 教授 (平29.4)	
45	兼任	講師	トクモト ヒロタカ 徳本 宏孝 <令和5年4月>	修士(法学)	地方自治法	3·4 後	2	1	中央大学 法学部 教授 (平29.4)	
46	兼任	講師	オカダ アキト 岡田 昭人 <令和5年4月>	修士 (工学)	都市と防災	3·4 後	2	1	住まい・まちづ くりデザイン ワークス 代表 社員 (平20.7)	
47	兼任	講師	スダ カズヒト 須田 和人 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	大学スポーツ論	1前	2	1	一般社団法人 菜の花AC 理事 長 (令2.10)	
48	兼任	講師	フジモト ケンタ ロウ 藤本 健太朗 <令和5年4月>	博士 (文学)	英語コミュニケーション I	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
			160   171 /	1 322	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
49	兼任	講師	スズキ シンジ 鈴木 眞二 <令和5年4月>	学士 (フラ ンス文 学)	英語コミュニケーション I	1前	2	6	ファブリス株式 会社 代表取締役 (平18.11)	
			カガミ ナオコ	学士	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		
50	兼任	講師	加賀美 直子 <令和5年4月>	学士 (外国 文化)	英語コミュニケーションI	1前	2	2	自営業	
					英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅢ	1後 2前	2 2	2		
			12 H2 (1-1-1-2)	Mr I.	英語コミュニケーションIV	2後	2	1	湘南工科大学付	
51	兼任	講師	ヒガシヤマ シホ         東山 志帆         <令和5年4月>	修士 (学 術)	英語コミュニケーション I	1前	2	6	属高等学校 講師 (令2.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		
52	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	学校法人河合塾 英語科 (平成4.4)	
				MA.	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
53	兼任	講師	ラミレズ フランシン クロエ <令和5年4月>	MA English and British Literat	英語コミュニケーションI	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)	
				ure	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		

54	兼任	講師	マークス ケビン ダグラス <令和5年4月>	Master of Arts in TESOL	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	7	San Diego State University, California English Teacher (平31.4-令3.12)	
55	兼任	講師	デシイン ジュリー ヴィー マノンクン <令和5年4月>	Masters in Education with specializa tion in English Language	英語コミュニケーションI	1前	2	2	ISA English Teacher (平31.3)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
56	兼任	講師	ストークス ジ゛ェームズ゛ ブ゛ラ ット゛リー <令和5年4月>	Master of Arts (TESOL )	英語コミュニケーションI	1前	2	2	東京モード学園 講師 (令3.3)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
57	兼任	講師	スズキ ナギ 鈴木 凪 <令和5年4月>	Master of Arts in Chemist ry	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス	
				1 y	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
58	兼任	講師	アーネット ダ ニエル ジ ェーム ズ <令和5年4月>	MA in Educatio n	英語コミュニケーションI	1前	2	5	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	5		
59	兼任	講師	グラール クリストファー マイ ケール <令和5年4月>	Masters degree in Applied language studies for TESOL	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Kanda Institute of Foreign Languages Instructor (平27,4)	
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	\ \ \ - · · -/	
60	兼任	講師	カーン ファイアーズ <令和5年4月>	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine) PGCert. (An atomical Sciences)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
					英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1		
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1		

<sup>(</sup>注)
1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
3 「申請に係る学部等に従事する過当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

			教		員		の 氏		名	2	等	717-127/961111111/100-17
(法:	学部法律	学科)							T			
調書番号	専任等 区分	職位	<sup>フリガナ</sup> 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担 当単位数	年 間開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授	アベ ケンジ 阿部 憲二 <平成14年9月>		教育学博士		時事英語 I 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	3前 <sup>1前</sup> 1後	2 2 2	1 3 3	法学部 教授 (平14.9)	5日
2	専	教授	カワイ ミキオ 河合 幹雄 <平成5年4月>		法学修士		法学入門ゼミI	1前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
							法学入門ゼミⅡ 専門基礎演習Ⅱ 専門基礎演習Ⅲ 法社会学 フランス法 法律演習Ⅱ 法律演習Ⅲ 法律演習Ⅳ 卒業研究	1 2 2 1 3 3 3 4 4 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 3 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	(10.2)	
3	専	教授	ウチガサキ ヒデョシ 内ヶ崎 善英 <平成5年4月>		法学修 士		法学入門ゼミI	1前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
			(1)207-17				法学入門ゼミ II 専門基礎演習 I 専門基礎法 I 国際特別講義 I 政治経済特別講義 I 技治維律演習 I 法律演演習 I 法律演研究	1 2 2 3 2 3 3 4 4 3 4 3 4 4 3 3 4 4 3 3 4 4 3 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		(   0. 1/	
4	専	教授	マス ノブオ 升 信夫 <平成9年4月>		法学博 士		フレッシュマンゼミI	1前	2	1	法学部 教授 (平9.4)	5日
							耳 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 3 3 4 4 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
5	専	教授	ハラ チサコ 原 千砂子 <平成5年4月>		<b>法学修</b> 士		公共政策演習Ⅱ  フレッシュマンゼミ I  英語コミュニケーションⅡ  専門基礎演習 I  専門基礎演習 I  ジを政治制度論 I  法律演習 II  法共享研究	2 1 1 1 1 2 2 2 2 3 1 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4 4 4 5 6 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	法学部 教授 (平5.4)	5日

			Τ				1			
6	専	教授	カサハラ タケヒコ 笠原 毅彦 <平成5年4月>	法学修士	法学入門ゼミ	ミI 1前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
					法学入門ゼ 専門基礎演		2 2	1 1		
					専門基礎演習	習Ⅱ 2後	2	1		
					法情報学 法情報学]		2 2	1 1		
					電子商取引 民事法特別講		2 2	1 1		
					法律演習	3前	2	1		
					法律演習」 法律演習I	Ⅱ 4前	2 2	1 1		
					法律演習I 卒業研究		2 2	1 1		
7	専	教授	タケムラ ノリヨシ 竹村 典良 <平成5年4月>	法学修士	専門基礎演習	習 I 2前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
					専門基礎演習		2 2	1		
					SDG s と注 環境法	1後	2	1 1		
					刑事政策 刑事政策 ]		2 2	1 1		
					犯罪学 I 犯罪学 Ⅱ	1前 1後	2 2	1 1		
					法律演習	1 3前	2	1		
					法律演習 I 法律演習 I	Ⅱ 4前	2 2	1 1		
					法律演習I 卒業研究	V 4後	2 2	1 1	<u> </u>	
8	専	教授	モリ ヤスノリ 森 保憲 <平成15年4月>	法学修士	法学入門ゼ		2	1	法学部 教授 (平15.4)	5日
					法学入門ゼ 専門基礎演	習 I 2前	2 2	1 1		
					専門基礎演習 憲法 I		2 2	1 1		
					憲法Ⅱ 比較憲法	1後	2 2	1		
					憲法基礎演	習 1後	2	1 1		
					法律演習 法律演習 法律演習 ]		2 2	1 1		
					法律演習I 法律演習I	Ⅱ 4前	2 2	1 1		
			タケウチ アキヨ	修士	卒業研究		2	1	法学部	
9	専	教授	竹内 明世 <平成10年4月>	(法 学)	経済法商法IV	3後 3前	2	1	教授 (平10.4)	5日
					模擬裁判] キャリア・デザ		2 2	1 1		
					キャリア・デザ 法律演習	インⅡ 3後	2 2	1 1		
					法律演習]	I 3後	2	1		
					法律演習I 法律演習I		2 2	1 1		
					卒業研究 アクティヴ・ラ-	3通	2	1		
					I I アクティヴ・ラ-	-ーンガ	2	1		
			デグチ ユウイチ	博士	П	2俊	2	1	法学部	
10	専	教授	出口 雄一 <平成16年4月>	(法 学)	法学入門ゼ		2	1	教授 (平16.4)	5日
					法学入門ゼ 専門基礎演	習 I 2前	2 2	1 1		
					専門基礎演習 法哲学	習Ⅱ 2後 2後	2 2	1 1		
					法史学Ⅱ 法律入門演	1後	2 2	1		
					法律演習	1 3前	2	1 1		
					法律演習 I 法律演習 I		2 2	1 1		
					法律演習I 卒業研究	V 4後	2 2	1 1		
11	専	教授	カツマタ ヒロフミ 勝亦 啓文 <平成17年4月>	修士 (法 学)	法学入門ゼミ	ミ I 1前	2	1	法学部 教授 (平17.4)	5日
					法学入門ゼー		2 2	1 1		
					専門基礎演習	習Ⅱ 2後	2	1		
					社会保障系 労働法 I	去 2後 3前	2 2	1 1		
					労働法Ⅱ 法律演習	3後	2 2	1		
					法律演習]	I 3後	2	1 1		
					法律演習I 法律演習I		2 2	1 1		
					卒業研究		2	1		

								1		I
12	専	教授 (学部 長)	アサヅマ カズヒト 麻妻 和人 <平成17年4月>	修士 (法 学)	法学入門ゼミI	1前	2	1	法学部 教授 (平17.4)	5日
					法学入門ゼミⅡ 専門基礎演習Ⅱ 専門基礎演講義Ⅰ 基礎法特別講義Ⅰ 規判法Ⅲ 刑事訴訟法 刑事法律演習Ⅱ 法律演習習Ⅲ 法律演習習Ⅳ 卒業	1後前後前後前後前後前後 2000 3000 3000 3000 3000 3000 3000 300	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
13	専	教授	エグチ マキコ 江口 眞樹子 <平成19年4月>	法学修士	専門基礎演習I	2前	2	1	法学部 教授 (平19.4)	5日
			(1/04/01/27)		専門基礎演習Ⅱ 商法Ⅱ 商法Ⅲ 金融 高法Ⅲ 金融 高法Ⅲ 金社演演習Ⅱ 法律演演習Ⅱ 法律律演習Ⅳ 卒業研究	2後前後後後後前後前後前後 3 3 3 4 4 4 3 通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(   10. 1)	
14	専	教授	カン ネイ 韓 寧 <平成19年4月>	博士 (法 学)	フレッシュマンゼミI	1前	2	1	法学部 教授 (平19.4)	5日
					フレッシュマンゼミⅡ 民事紛争処理法Ⅱ 中国法Ⅱ 中国法Ⅱ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1 3 3 3 3 3 3 4 4 4 3 3 4 4 3 3 4 4 4 3 3 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1		
15	専	教授 (学科 長)	タニワキ マサト 谷脇 真渡 <平成17年4月>	修士 (法 学)	法学入門ゼミI	1前	2	1	法学部 教授 (平17.4)	5日
					法学基礎演習 I 専門基礎演習 I 専門基礎演習 I 刑法 II 刑法 II 刑法 II 刑法 EE 地方公共団体の実務 I 地方公共団体の習 I 法律演習 I 法律演習 II 法律演習 IV 卒業研究	1後前後後前後前後前後前後前後 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
16	専	教授	ヤタベ レイオ 谷田部 玲生 <平成21年4月>	教育学修士	フレッシュマンゼミI	1前	2	1	法学部 教授 (平21.4)	5日
					フレッシエで表面 I 専門基礎演習 I 専門基礎演習 I 接種演習 I 法律準確演習 I	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
17	専	教授	フクイ コウスケ 福井 康佐 <平成24年4月>	博士 (法 学)	法学入門ゼミ I	1前	2	1	法学部 教授 (平24.4)	5日
					法学入門ゼミⅡ 憲法Ⅱ 租税法Ⅱ 租税法Ⅲ 公法特別講義Ⅱ 公法特別講報Ⅱ 法律漢演習Ⅲ 法律律演演習Ⅳ 卒業研究	1後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前後前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		

18	専	教授	ナカノ クニヤス 中野 邦保	修士		専門基礎演習 I	2前	2	1	法学部 教授	5日
	•		<平成17年4月>	学)						(平17.4)	
						専門基礎演習 Ⅱ 民法 Ⅱ	2後 1後	2 2	1 1		
						民法Ⅲ	2前	2	1		
						債権法	2前	2	1		
						民事法特別講義 I 民事法特別講義 II	2後 2後	2 2	1 1		
						ドイツ法	3前	2	1		
						法律演習 I 法律演習 Ⅱ	3前3後	2 2	1 1		
						法律演習Ⅲ	4前	2	1		
						法律演習IV 卒業研究	4後 3通	2 2	1 1		
			アキタ トモコ	修士						法学部	
19	専	准教授	秋田 知子 <平成17年4月>	(法 学)		法学入門ゼミI	1前	2	1	准教授 (平17.4)	5日
			1 ////	, ,		法学入門ゼミⅡ	1後	2	1	(   111 1)	
						専門基礎演習I	2前	2	1		
						専門基礎演習 Ⅱ 裁判法 Ⅰ	2後 2前	2 2	1 1		
						民事訴訟法	3前	2	1		
						民事執行保全法 法律日本語	3後 1前	2 2	1 1		
						ミディエイション交渉	2前	2	1		
						法律演習 I 法律演習 Ⅱ	3前 3後	2 2	1 1		
						法律演習Ⅲ	3仮 4前	2	1		
						法律演習IV	4後	2	1		
20	専	准教授	モギ ヨウヘイ 茂木 洋平	博士		卒業研究 法学入門ゼミ I	3通	2	1	法学部 准教授	5日
- "	4		<平成24年4月>	学)		法学入門ゼミⅡ	1後	2	1	(平24. 4)	
						専門基礎演習I	2前	2	1		
						専門基礎演習Ⅱ 憲法Ⅰ	2後 1前	2 2	1 1		
						憲法Ⅱ	1後	2	1		
						行政法I	2前	2	1		
						行政法Ⅱ 法律演習 I	2後 3前	2 2	1 1		
						法律演習Ⅱ	3後	2	1		
						法律演習Ⅲ 法律演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1 1		
						卒業研究	3通	2	1		
21	専	准教授	ナガハマ ヒロフミ 長濱 博文	博士(教育	÷	専門基礎演習 I	2前	2	1	法学部 准教授	5日
21	4	1世4以又	<平成29年4月>	学)		守门巫嵷换目1	2111	2	1	(平29.4)	911
						専門基礎演習Ⅱ	2後	2	1		
						市民形成論 市民教育論	2前 2後	2 2	1 1		
						教育原理・教育課程論	2前	2	1		
22	専	准教授	タカセ タケシ 髙瀬 武志 <平成26年4月>	修士 (体) 学)	f	国際武道研修	2後	2	1	法学部 准教授 (平26.4)	5日
			·   PA20747 /	7)		フレッシュマンゼミI	1前	2	1	(   20.4/	
						フレッシュマンゼミⅡ 専用 世珠 沖羽 T	1後	2	1		
						専門基礎演習 I 専門基礎演習 II	2前 2後	2 2	1		
						スポーツ法学	2前	2	1		
						桐蔭キャリアゲート 体育実技 I	1前 1前	2	1		
						体育実技Ⅱ	1後	1	1		
						アスリートの科学 アスリートキャリア	1前 1後	2 2	1		
						アスリート・クロス	2前	2	1		
						リーダーシップ教育 ライフスキル	2前	2	1		
$\vdash$			41 00.4-3-4	Into 1		フイノスヤル	2後	2	1	24 554 4m	
23	専	准教授	ヤノ ショウゴロウ 箭野 章五郎	博士		法学入門ゼミI	1前	2	1	法学部 准教授	5日
			<平成27年4月>	学)		W W = 100				(平27.4)	
						法学入門ゼミⅡ 専門基礎演習 I	1後 2前	2 2	1 1		
						専門基礎演習Ⅱ	2後	2	1		
						刑法I	1後	2	1		
						刑法Ⅱ 刑事法特別講義 I	2前 2前	2 2	1 1		
						模擬裁判 I	1後	2	1		
						法律演習 I 法律演習 Ⅱ	3前3後	2 2	1 1		
						法律演習Ⅲ	4前	2	1		
						法律演習IV 卒業研究	4後 3通	2 2	1 1		
1		l	į l	I	I	一	り連	ı 4	1	I	ı

				1	1					
24	専	講師	ヨシダ イサオ 吉田 功	学士 (経済 学)	フレッシュマンゼミI	1前	2	1	法学部 講師	5日
			<令和2年4月>	<del>f</del> )	専門基礎演習I	2前	2	1	(令2.4)	
					専門基礎演習Ⅱ 情報社会論 I	2後 2前	2 2	1 1		
					情報社会論Ⅱ	2後	2	1		
					近現代の政治・経済・社 会 I 近現代の政治・経済・社	2前	2	1		
					会Ⅱ	2後	2	1		
					現代社会への視座 I 現代社会への視座 II	1前 1後	2 2	1		
					公共政策演習 I 公共政策演習 II	2前 2後	2 2	1 1		
25	専	講師	アオキ ヒトミ 青木 仁美 <平成31年4月>	博士 (法 学)	法学入門ゼミI	1前	2	1	法学部 講師 (平31.4)	5日
			- 1 月201十4月 /	7)	法学入門ゼミⅡ	1後	2	1	( For. 4)	
					専門基礎演習 I 専門基礎演習 II	2前 2後	2 2	1 1		
					民法 I	1前	2	1		
					民法 <b>Ⅲ</b> 家族法	2前 2後	2 2	1 1		
					法律演習 I 法律演習 Ⅱ	3前 3後	2 2	1 1		
					法律演習Ⅲ	4前	2	1		
					法律演習IV 卒業研究	4後 3通	2 2	1 1		
26	専	助教	アサオカ ケイタ 浅岡 慶太 <平成13年4日>	修士 (法 学)	法学入門ゼミI	1前	2	1	法学部 助教	5日
			<平成13年4月>	<del>f</del> )	法学入門ゼミⅡ	1後	2	1	(平13.4)	
					英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前 1後	2 2	1		
					法史学 I	1前	2	1		
					基礎法特別講義 Ⅱ 法律演習 Ⅰ	2後 3前	2 2	1 1		
					法律演習 Ⅱ	3後	2	1		
					法律演習Ⅲ 法律演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1 1		
27	専	助教	オオツジ コウタ 大辻 康太	修士(教育	卒業研究 体育実技 I	3通	2	1	法学部 助教	5日
41	4	奶钗	人正 原本 <平成31年4月>	学)	体育夫技 I 体育実技 II	1削 1後	1	1	助教 (平31.4)	υμ
					フレッシュマンゼミ I フレッシュマンゼミ II	1前 1後	2 2	1 1		
					専門基礎演習I	2前	2	1		
					専門基礎演習Ⅱ スポーツ法学	2後 2前	2 2	1 1	10	
28	兼担	教授	カメオカ セイロウ 亀岡 聖朗	博士(心理	教育心理学	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部	5日
20	제1브	4以1文	<ul><li>単両 室財</li><li>&lt;平成31年4月&gt;</li></ul>	学)	秋月心生子	181		1	教授 (平31.4)	υμ
					教育相談・キャリア教育 指導論	2後	2	1	(   01. 1/	
	V. !		イマイズミ タカユ キ	修士					スポーツ健康政 策学部	
29	兼担	教授	ヤ 今泉 隆之 <平20年4月>	(文 学)	宗教学概論	3後	2	1	東子部 教授 (平20.4)	5日
			サトウ ユタカ	***					スポーツ健康政	
30	兼担	教授	佐藤 豊 <平成28年1月>	教育学 修士	教師論	1前	2	1	策学部 教授	5日
					1				(平28.1) スポーツ健康政	
31	兼担	教授	ナミキ コウイチ 並木 浩一	博士(学)	視覚文化論	1前	2	1	策学部	5日
	-	-	<平成24年4月>	術)					教授 (平24. 4)	
					MAST特別実習	1 前・	1	2		
					30101700天日	後		2		
					MAST特別講義	1 前・ 後	2	2		
					ウェブ・コミュニケー ション	2前	2	1		
					ビジネスアイデアデザイン	2後	2	1		
					ン ファッション文化論	2前	2	1		
0	24.1=	+1.1-7	カタヤマ フミヨ	博士					スポーツ健康政 策学部	
32	兼担	教授	片山 富美代 <平成16年4月>	(学 術)	健康と心理学	1前	2	1	教授 (平16.7)	5日
					集団と心理学	2前	1	1	(1.2011)	
					幸せと心理学 意思決定と心理学	2前 2後	2 2	1		
1				1 1	自己調整と心理学	2後		1		

								•		
33	兼担	教授	ハヤシダ ハルミ 林田 はるみ <平成30年4月>	博士 (ス ポーツ 科学)	地域における健康課題	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平30.4)	5日
				147-)	コミュニティ・ファシリテーショ	1後	2	1	(+30.4)	
					地域政治論	2前	2	1		
					地域観光事業論	2前	2	1		
34	兼担	教授	イケガミ マサシ 池上 和志	博士(理	地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授	5日
01	NK12	4010	<平成18年4月>	学)	70%/9K90*241-T-	1 111	0.1	1	(平18. 4)	0 П
					科学技術の未来 プロジェクト入門	1後 1後	2 2	1 1		
					2 - 2 - 2 / 1 / N   1	1100	2	1		
35	兼担	教授	ミヤサカ ツトム 宮坂 カ <平成13年12月>	工学博士	地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授 (平13.12)	5日
36	兼担	教授	オカダ トシエ 岡田 俊恵 <平成17年4月>	文学修士	言語文化論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平17.4	5日
					表現とコミュニケーショ	1後	2	1	717.4	
					ン	11友	4	1		
37	兼担	教授	ナカノ ヒデユキ 中野 英之 <平成31年4月>	博士 (地球 環境科 学)	地球と環境	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平31.4	5日
38	兼担	教授	タケダ ヨシコ 武田 佳子 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	ソーシャル・コミュニケーション	1後	2	1	教育研究開発機 構 教授 (令和3.4)	5日
39	兼担	准教授	イ ヒスン 李 禧承 <平24年4月>	博士 (教育 学)	教育方法論	2後	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授	5日
					ICT活用スキルの理論と実際	3前	2	1	平24. 4	
			クリヤマ ユタカ	V/ / I= I=b		-134	_		スポーツ健康政	
40	兼担	准教授	栗山 裕 <平成3年4月>	学術博士士士	情報処理 I デジタル産業論	1前 1後	2	1	策学部 教授 平3.4	5日
			サイトウ レイ	博士	/ ファル圧未開	1/2		1	スポーツ健康政	
41	兼担	准教授	齋藤 れい	(ス ポーツ	ビジネスの科学	1前	2	2	策学部 准教授	5日
			<平成31年4月>	科学)					(平31.4)	
					マーケティング各論 アントレプレナーシップ	1後 1前	2 2	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					マーケティング・リサーチ 現代ビジネス論	2前 2後	2 2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
42	兼担	准教授	ウエハタ ヨウスケ 上畠 洋佑 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	異文化の科学	1前	2	1	教育研究開発機 構 准教授 (令和3.4)	5日
					プロジェクト入門	1後	2	1	(1746.4)	
					異文化リサーチ	2前	2	1		
					フード文化論 若者文化論	2後 2後	2 2	1		
					石有又化幅 分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
					ことばのスキル	1後	2	1	della despirat plus mini mini i i i	
43	兼担	講師	ミゾグチ ユウ 溝口 侑 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	桐蔭スキルゲート	1前	2	1	教育研究開発機 構 講師 (令和3.4)	5日
					データコミュニケーション入門 心の科学	1後 1前	2 2	1 2		
					こころの世界	1前	2	1		
					青年と心理学	1・2後 2前	2	1		
					集団と心理学 意思決定と心理学	2前 2後	1 2	1		
					自己調整と心理学	2後	1	1		
					プロジェクト入門 分野横断型プロジェクト	1後 2後	2 3	1		
44	兼担	講師	マツイ シンサク 松井 晋作 <令和3年4月>	修士 (文 学)	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	教育研究開発機 構 講師 (令和3.4)	5日
					地域の科学	1前	2	2	( 77 かいら、4)	
					サスティナブル社会学	1後	2	1		
					プロジェクト入門 横浜地域学	1後 2後	2 2	1 1		
					実践地域創成学	2後	2 3	1		
45	兼担	講師	シバヤマ ナオユキ 柴山 直之	博士(工	分野横断型プロジェクト 地球環境の科学	2後	0.7	1	医用工学部 講師	5日
			<令和3年4月>	学)	八郎と地域でおりつかって、ケーフ	944			(令和3.4)	
<u> </u>			L		分野横断型プロジェクト	2後	3	1	ļ	

					•				<del>_</del>
40	26.60	客員	ナカジマ ハジメ	学士	w # + 1 \u2	0///			桐蔭横浜大学
46	兼任	教授	中島 肇 <平成19年4月>	(法学)	消費者と法	2後	2	1	客員教授 (平19.4)
			▽平成19年4月 /		倒産法	3前	2	1	(+19.4)
					内压仏	2111	4	1	
			スダ カズヒト	修士					一般社団法人
47	兼任	講師	須田 和人	(体育	大学スポーツ論	1前	2	1	菜の花AC 理事
- 11	NKIT.	D43-Huls	<平成26年4月>	学)	八子ババ ノ 圃	1 1111	2	1	長(人名)
			. 1 /// - 1 - 2 4 .	1 /					(令2.10)
			フジモト ケンタロウ						桐蔭横浜大学
48	兼任	講師	藤本 健太朗	博士	英語コミュニケーションI	1前	2	2	非常勤講師
			<令和3年4月>	(文学)					(令3.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
			スズキ シンジ	学士					ファブリス株式
49	兼任	講師	鈴木 眞二	(フラ	英語コミュニケーションI	1前	2	6	会社
			<令和4年4月>	ンス文 学)					代表取締役 (平18.11)
				7)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6	(+16.11)
			カガミ ナオコ	学士	XHII. (T. ) V 3 V II	110			
50	兼任	講師	加賀美 直子	(外国	英語コミュニケーションI	1前	2	2	自営業
			<令和4年4月>	文化)					
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
					英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	
-					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	Mn=1711.24/1
			ヒガシヤマ シホ	修士					湘南工科大学付
51	兼任	講師	東山志帆	(学	英語コミュニケーション I	1前	2	6	講師
			<令和4年4月>	術)					(令2.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6	,
			フギンカ マムー	依土					<b>学校注 / 河</b> / 剪
52	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子	修士 (教育	英語コミュニケーションI	1前	2	1	学校法人河合塾 英語科
02	AR I.E.	마큐마비	ペト ステ <令和4年4月>	学)	大田 - マユーケーション I	1 Hil	4	1	(平成4.4)
					++av . S				. 1 //2/
$\vdash$				WA .	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
				MA English					
			ラミレス゛ フランシン クロエ	and					桐蔭横浜大学
53	兼任	講師	<令和4年4月>	British	英語コミュニケーション I	1前	2	2	非常勤講師
				Literat					(令4.4)
				ure					
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
				Master				1	San Diego State
54	兼任	講師	マークスケヒングダブラス	of Arts	英語コミュニケーションI	1前	2	7	University, California
01	VIVIT-	MALL HALL	<令和4年4月>	in	75 3=: 7 2 2 7 1	* 1313	_	l .	English Teacher
				TESOL					(平31.4-令3.12)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	7	
				Masters in Education					ISA
			デジイン ジェリー ヴィー マ	with					English
55	兼任	講師	ノンソン	specializa tion in	英語コミュニケーションI	1前	2	2	Teacher
			<令和4年4月>	English					(平31. 3)
				Language					
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
			ストークス ジ゛エームス゛ フ゛ラツ	Master					東京モード学園
56	兼任	講師	<b>├</b> * IJ−	of Arts	英語コミュニケーションI	1前	2	2	講師
			<令和4年4月>	(TESOL					(令3.3)
				,	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
$\vdash$				Master	VMI: < == / > 22 / II	上次	2	-	<del>                                     </del>
			スズキ ナギ	of Arts					
57	兼任	講師	鈴木 凪	in	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス
			<令和4年4月>	Chemist					
				ry					
<b>—</b>			~ 4 1 ht 18		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	Edith His 1. M
58	兼任	講師	アーネット ダニエル ジェーム	MA in	英語コミュニケーションI	1 2044	9	-	桐蔭横浜大学 非常勤講師
98	<b></b> 末壮	하는데!	バ <令和4年4月>	Educatio n	央前コミュニケーション 1	1前	2	5	作品到詳印 (令4.4)
			、 № 7日まデオカ /		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	5	/ 14 17 1/
				<u> </u>	1				Kanda
			ク゛ラール クリストファー マイケー	Masters degree in					Institute of
59	兼任	講師	ッ ファル・テリストファー マイグー ル	Applied	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Foreign
33	VIVIT.	nta Huh	<令和4年4月>	language studies	XHI. (/ 737III	200	-	*	Languages
				for TESOL					Instructor
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	(平27.4)
$\vdash$				MC CEY	大田ーミューケーションIV	21安	4	<u> </u>	
				MSc SEM (Sport &					
			カーン ファイアース゛	Exercise					杏林大学
60	兼任	講師	カーシ ファイリース <令和4年4月>	Medicine)	英語コミュニケーション I	1前	2	1	講師
			、 № 7日まデオカ /	PGCert. (An					(平27.4)
				atomical Sciences)					
				'	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
					英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	
			タナカ ヒロシ	博士					東京学芸大学
61	兼任	講師	田中 比呂志	(社会	東洋史概論	2後	2	1	教授
			<平成29年4月>	学)					(平21.4)
				•					

62	兼任	講師	カミタ セイジ 上田 誠二 <平成30年4月>	博士 (史学)	日本史概論	2後	2	1	日本女子大学 准教授 (令2.4)
63	兼任	講師	アスマ カズタカ 飛鳥馬 一峰 <令和3年4月>	博士 (史学)	西洋史概論	2前	2	1	中央大学 客員研究員 (平31.4)
64	兼任	講師	タカダ ハルノリ 高田 明宣 <平成26年4月>	博士 (学術)	哲学概論	3後3前	2	1	TAC(株)公務員 試験講座 講師 (平20.10)
65	兼任	講師	マツキ ユウマ 松木 祐馬 <令和2年4月>	修士 (文学)	心理学概論	3後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令2.4)
66	兼任	講師	サトウ ヤスヒデ 佐藤 康秀 <平成27年4月>	音声学 修士	日本語IA	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 主任講師 (平15.4)
					日本語ⅡA 日本語ⅢA	1前 1後	2 2	1 1	
67	兼任	講師	イワツキ エミコ 岩附 英美子 <平成27年4月>	経済学士	日本語IB	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 代表取締役 (平15.4)
					日本語Ⅱ B 日本語Ⅲ B	1前 1後	2 2	1 1	
68	兼任	講師	トミタ ヨウスケ 冨田 洋介	博士(金融	日本経済論	3前	2	1	東洋学園大学講師
	7114122	2171-1	<平成27年4月>	学)	経済学 I	1前	2	1	(平31.6)
69	兼任	講師	カワゾエ ワタル 川添 航	博士(理	経済学Ⅱ 地理学概論	1後 1後	2	1	立正大学助教
03	NKIT.	D44-H41	<令和2年4月>	学)	地誌学	3前	2	1	(令4.4)
69	兼任	講師	コバヤシ マミ 小林 麻美 <令和4年4月>	博士 (経営 学)	国際経済論	3後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)
70	兼任	講師	ヤマグチ アキコ 山口 晶子 <平成30年4月>	修士 (教育 学)	社会学I	2前	2	1	東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)
					社会学Ⅱ 教育社会論(学校安全を 含む)	2後 2前	2	1 1	
71	兼任	講師	トクモト ヒロタカ 徳本 宏孝 <令和4年4月>	修士 (法学)	行政法Ⅲ	3前	2	1	中央大学 法学部 教授 (平29.4)
					地方自治法	3後	2	1	About 1
72	兼任	講師	オカダ アキト 岡田 昭人 <平成26年4月>	修士 (工学)	都市と防災	2後	2	1	住まい・まちづ くりデザイン ワークス 代表 社員 (平20.7)
73	兼任	客員 教授	サトウ エイイチ 佐藤 榮一 <平成26年4月>	高等学 校 卒業	消防学	2前	2	1	桐陈横浜大学 客員教授 (平26.4)
74	兼任	講師	ミヤサカ トモゾウ 宮坂 友造 <平成30年4月>	修士 (法学)	民法 I	1前	2	1	桐陸横浜大学 非常動講師 (平30.4)
					民法Ⅱ 物権法 民法基礎演習	1後 2前 1後	2 2 2	1 1 1	
75	兼任	講師	ボ ヤント 宝 音図 <平成29年4月>	博士 (法学)	比較政治制度論Ⅱ	1後	2	2	欧米・アジア語 学センター (平28.4)
76	兼任	講師	アルガ マナブ 有賀 学 <平成27年4月>	学士 (法学)	不動産法I	3前	2	1	新綜合事務所 所属 (平成18.6)
					不動産法Ⅱ	3後	2	1	
77	兼任	講師	キム ミワ 金 美和 <平成29年4月>	修士 (法学)	国際私法	3後	2	1	青森中央学院大学 准教授 (平21.4)

			オカザキ リカ	修士					一般社団法人 Global Issues
78	兼任	講師	岡崎 理香 <平成28年4月>	(法学)	行政学Ⅰ	2前	2	1	Forum Tokyo 事務局長 (平26.1)
					行政学Ⅱ	2後	2	1	(   20.1)
79	兼任	講師	ヤナギ アヤコ 柳 綾子 <平成30年4月>	博士 (経営 学)	会計学I	2前	2	1	税理士法人恒輝 (榎本税務会計 事務所) (平25.9~平 29.3)
					会計学Ⅱ	3前	2	1	
80	兼任	講師	ノジ モモ 野地 もも <平成29年4月>	修士 (商 学)	財政学 I	2後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平29. 4)
					財政学Ⅱ	2後	2	1	
81	兼任	講師	ソン ヨンジン 孫 榮振 <令和2年4月>	博士 (商学)	社会経営論	3後	2	1	日本マテリオ (株) 共同代表取締役 (平24.4)
					経営学	2前	2	1	
82	兼任	客員 教授	ペマ・ギャルポ <平成16年4月>	学士 (法学)	外交史	2後	2	1	桐蔭横浜大学 客員教授 (平16.4)
					国際政治論	2前	2	1	
83	兼任	講師	イケダ アツコ 池田 敦子 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	特別支援教育指導論	2後	2	1	東海学院大学 教授 (令2.4)
84	兼任	講師	ヤハギ ノブユキ 矢作 信行 <令和29年4月>	修士 (学術)	道徳教育指導論	2前	2	1	帝京平成大学 教授 (令2.4)
85	兼任	客員 教授	ョシハラ ショウコ 吉原 晶子 <平成29年4月>	学士 (教育 学)	特別活動・総合的な学習 の時間指導論	3後	2	1	桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)
86	兼任	講師	マエダ ヨシヒト 前田 善仁 <平成30年4月>	修士 (教育 学)	生徒指導論	3前	2	1	東海大学 教授 (平26.4)
87	兼任	講師	スズキ ジュンコ 鈴木 敦子 <令和2年4月>	博士 (ヒュー マン・ケ ア科学)	教育相談・キャリア教育 指導論	2後	2	1	白百合女子大学 生涯発達研究教 育センター研究 員 (平31.4)

<sup>1</sup> 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。

<sup>2</sup> 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

			教		員		の氏		4	3	等	
(医	用工学部	生命医	工学科)				T		ı			
調書番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次		年間開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
1	専	教授	ョネサカ トモアキ 米坂 知昭 <平成21年1月>		博士 (工 学)		公衆衛生学	1前	1	1	医用工学部 教授 (平21.1)	5日
							医学概論 生命医工学セミ研究Ⅱ プロジェクト・研究Ⅱ プロジェクト・研究Ⅱ プロジェクト・研究Ⅳ プロジェクト・研究Ⅳ プロジェクト・研究Ⅳ プロジェクトの研究Ⅳ フロジェクトの プロジェクトの プロジェクトの プロジェクトの コロロキック 学の 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次	1 3 3 1 1 2 2 3 3 4 4 4 3 3 2 2 3 4 4 4 3 3 2 2 3 4 4 4 3 3 2 2 3 4 4 4 5 3 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	1 0. 18 0. 18 2 2 2 2 2 2 0. 14 0. 14 8 1 2 2 2 2 0. 56	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
2	専	教授 (学科	コデラ ヨウ 小寺 洋		理学博士		生物学	1前	2	1	医用工学部 教授	5日
		長)	<昭和63年4月>				健康の科学 分子生物学 I 生命医工学実験IV 生命医工学セミナ II 生命医工学セミナ II プロジェクトト研究II プロジェクト 所研究IV プロジェクト 所研究IV プロジェキウム I コロキ共研究 臨地実習	1 3 2 3 3 3 1 1 2 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2 0.5 0.18 0.4 0.18 2 2 2 2 2 2 2 0.14 0.14 8 0.56	1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(昭63.4)	
3	専	教授 (学部 長)	トクオカ ヨシカズ 徳岡 由一 <平成13年4月>		博士 (工 学)		化学	1前	2	1	医用工学部 教授 (平13.4)	5日
							フレッシュマンセミナII フレッシュマンタ学 バイオマテアルスII 生命医エ学セミカII 生命医エ学セミ研究II プロジジェクトト研究II プロジジェクト・研究II プロジジェクト・研究II プロジェクト・研究II プロジェクト・研究II プロジェクト・研究II コロギー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー・ボー	11 13 13 13 13 13 13 13 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	2 2 2 2 2 2 0. 4 0. 18 0. 4 0. 66 2 2 2 2 2 2 0. 14 0. 14 8 2 2 0. 14 0. 15 0. 16 0.			

			ヨシダ カオル	博士					医用工学部	
4	専	教授	吉田 薫 <平成16年4月>	(理 学)	分子生物学Ⅱ	3後	2	1	医用工字部 教授 (平16.6)	5日
					再生工学 人の構造及び機能Ⅱ	3後 1前	2 2	1 1		
					工学ワークショップ II 生命医工学実験 I	1後 2前	4 0. 5	1 1		
					生命医工学実験Ⅱ 生命医工学実験Ⅳ	2後 3後	0. 5 0. 18	1 1		
					生命医工学セミナⅡ プロジェクト研究Ⅰ	3後 1前	0. 18 2	1 1		
					プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅲ	1後 2前	2 2	2		
					プロジェクト研究IV プロジェクト研究IV	2後	2 2	1		
					プロジェクト研究VI	3前3後	2	1		
					コロキウム I コロキウム II	4前4後	0.14	1		
			. Wn= 1		卒業研究 臨地実習	4通 4通	8 0. 56	1 1	医田子坐板	
5	専	教授	ハギワラ ヒロミ 萩原 啓実 <平成16年4月>	理学博士	生化学 I	1後	2	1	医用工学部 教授 (平16.4)	5日
					生化学Ⅱ 発生工学	2後 3前	2 2	1 1		
					人の構造及び機能Ⅱ 工学ワークショップⅡ	1前 1後	2 4	1 1		
					生命医工学実験Ⅲ 生命医工学実験Ⅳ	3前3後	0. 4 0. 18	1 1		
					生命医工学セミナ I 生命医工学セミナ I	3前3後	0. 4 0. 18	1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 I	1前 1後	2 2	1 2		
					プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ プロジェクト研究Ⅳ	2前 2後	2 2	1 1		
					プロジェクト研究V プロジェクト研究VI	3前	2	1		
					コロキウムI	3後4前	2 0. 14	1		
					コロキウムⅡ 卒業研究	4後	0. 14 8	1		
-		*/. kg	ニシムラ ヒロユキ	理学博	臨地実習	4通	0.56	1	医用工学部	
6	専	教授	西村 裕之 <平成6年4月>	±	生物情報学	3後	2	1	教授 (平6.4)	5日
					臨床免疫学 I 臨床免疫学 Ⅲ	2前 2後	2 2	1 1		
					生命医工学実験 I 生命医工学実験 Ⅱ	2前 2後	0. 5 0. 5	1 1		
					生命医工学実験IV 生命医工学セミナ I	3後 3前	0. 18 0. 5	1 1		
					生命医工学セミナⅡ プロジェクト研究Ⅰ	3後 1前	0. 18 2	1 1		
					プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅲ	1後 2前	2 2	2		
					プロジェクト研究IV プロジェクト研究IV	2後 3前	2 2	1 1		
					プロジェクト研究VI コロキウム I	3後4前	2 0. 14	1 1		
					コロキウムII コロキウムII 卒業研究	4後4通	0.14	1 1		
			オオタ エイスケ	博士	臨地実習	4通	0.56	1	医用工学部	
7	専	准教授	太田 英輔 <令和4年4月>	(理 学)	有機化学基礎	1後 2前	2	1	准教授 (令4.4)	5日
					有機化学 I 有機化学 II	2後	2	1		
					高分子化学 生命医工学実験 I	2後 2前	0.5	1		
					生命医工学実験Ⅲ 生命医工学実験Ⅳ	3前3後	0. 4 0. 18	1		
					生命医工学セミナⅠ 生命医工学セミナⅡ	3前3後	0. 4 0. 18	1 1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2 2	1 2		
					プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ	2前 2後	2 2	1 1		
					プロジェクト研究 V プロジェクト研究 VI	3前 3後	2 2	1 1		
					コロキウム I コロキウム II	4前 4後	0. 14 0. 14	1 1		
					卒業研究 インターンシップ	4通3後	8	1		
					臨地実習		0. 56	1		

			オオツジ マレキ	博士	1			l		医用工学部	
8	専	准教授	大辻 希樹 <平成21年4月>	PT   (医   学)		病理学 I	3前	2	1	医用工字部 准教授 (平21.4)	5日
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			病理学Ⅱ 臨床病理学 I	3後 3前	2 2	1 1	, ,	
						臨床病理学Ⅱ	3後	2 0. 5	1		
						生命医工学実験 I 生命医工学実験 Ⅱ	2前 2後	0.66	1		
						生命医工学実験Ⅲ 生命医工学実験Ⅳ	3前3後	0. 66 0. 66	1 1		
						生命医工学セミナⅠ 生命医工学セミナⅡ	3前 3後	0. 5 0. 18	1 1		
						プロジェクト研究 I	1前	2	1		
						プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅲ	1後 2前	2 2	2 1		
						プロジェクト研究IV プロジェクト研究 V	2後 3前	2 2	1 1		
						プロジェクト研究VI コロキウム I	3後 4前	2 0.14	1		
						コロキウムⅡ	4後	0.14	1		
						卒業研究 臨床医学総論 I	4通3前	8 2	1 1		
						一般検査学実験 臨地実習	3後 4通	0. 5 0. 56	1 1		
9	専	准教授	シミズ トモミ 清水 智美 <平成22年4月>	博士 (医 学)		臨床生理学Ⅱ	3前	2	1	医用工学部 准教授 (平22.4)	5日
			. , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1/		生命医工学実験 I	2前	0.5	1	(, 55. 1/	
						生命医工学実験Ⅱ 生命医工学実験Ⅲ	2後3前	0. 66 0. 66	1		
						生命医工学実験Ⅳ 生命医工学セミナⅡ	3後 3後	0. 66 0. 66	1 1		
						プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2 2	1 2		
						プロジェクト研究Ⅲ	2前	2	1		
						プロジェクト研究IV プロジェクト研究 V	2後 3前	2 2	1 1		
						プロジェクト研究VI コロキウム I	3後 4前	2 0.14	1 1		
						コロキウムⅡ 卒業研究	4後 4通	0. 14 8	1 1		
						臨床検査学総論Ⅲ	4後	2	1		
						一般検査学実験 臨地実習	3後 4通	0. 5 0. 56	1 1		
10	専	講師	オオヌマ ケンタロ ウ 大沼 健太郎 <平成28年4月>	博士 (工 学)		物理 I	1前	2	1	医用工学部 講師 (平28.4)	5日
						物理 <b>Ⅱ</b> 力学	1後 2前	2 2	1 1		
						電磁気学 医用工学概論	2後 1後	2 2	1 1		
						電気工学	2前	2	1		
						工学ワークショップ II 生命医工学実験 II	1後 2後	4 0. 5	1 1		
						生命医工学実験Ⅳ 生命医工学セミナⅡ	3後 3後	0. 18 0. 18	1 1		
						プロジェクト研究 I	1前	2	1 2		
						プロジェクト研究Ⅱ プロジェクト研究Ⅲ	1後 2前	2 2	1		
						プロジェクト研究IV プロジェクト研究 V	2後 3前	2 2	1 1		
						プロジェクト研究VI コロキウム I	3後 4前	2 0. 14	1 1		
						コロキウム <b>I</b> 卒業研究	4後 4通	0.14	1 1		
						臨地実習	4通	0.56	1		
11	専	講師	サワグチ ヨシカズ 澤口 能一 <平成30年4月>	博士 (薬 学)		薬理学	2後	2	1	医用工学部 講師 (平30.4)	5日
						衛生科学	2後	2	1		
						工学ワークショップ I 生命医工学実験 <b>Ⅲ</b>	1前 3前	4 0. 4	1 1		
						生命医工学実験IV 生命医工学セミナ I	3後 3前	0. 18 0. 4	1 1		
						生命医工学セミナⅡ プロジェクト研究Ⅰ	3後 1前	0. 18	1 1		
						プロジェクト研究Ⅱ	1後	2	2		
						プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ	2前 2後	2 2	1 1		
						プロジェクト研究V プロジェクト研究VI	3前3後	2 2	1 1		
						コロキウム I コロキウム II	4前 4後	0. 14 0. 14	1		
						卒業研究	4通	8	1		
1	1		<b>I</b>		1	臨地実習	4通	0.56	1		

	-			1-1-1	1	1			E H - W da	
12	専	講師	ハスヌマ ユウヤ 蓮沼 裕也 <平成24年4月>	博士 (工 学)	遺伝子工学	3後	2	1	医用工学部 講師 (平24.4)	5日
			▽十成24年4月ン	<i>f)</i>	システム安全工学 工学ワークショップ I 生命医工学実験 I	3前 1前 2前	2 4 0.5	1 1 1	(+24.4)	
					生命医工学実験Ⅱ 生命医工学実験Ⅳ	2後 3後	0. 66 0. 18	1 1		
					生命医工学セミナ I 生命医工学セミナ II	3前3後	0. 5 0. 66	1 1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2	1 2		
					プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ プロジェクト研究Ⅴ	2前 2後 3前	2 2 2	1 1 1		
					プロジェクト研究VI コロキウム I	3後 4前	2 0. 14	1 1		
					コロキウム <b>Ⅱ</b> 卒業研究	4後 4通	0. 14 8	1 1		
					微生物学 I 微生物学 II 一般検査学実験	2前 2後 3後	2 2 0. 5	1 1 1		
13	専	講師	ヤマグチ トモコ 山口 智子	博士(理工	施地実習 工学へのステップ	4通	0.56	1	医用工学部講師	5日
10	-17	ութեւի	<令和4年4月>	学)	物理化学 I	1後	2	1	(令4.4)	VН
					物理化学Ⅱ 機器分析学	2後 2前	2 2	1 1		
					環境分析学 工学ワークショップ I	2後 1前	2 4	1		
					工学ワークショップⅡ 生命医工学実験Ⅱ 生命医工学実験Ⅲ	1後 2前 3前	4 0. 5 0. 4	1 1 1		
					生命医工子実験III 生命医工学実験IV 生命医工学セミナⅡ	3後3後	0. 4 0. 18 0. 18	1 1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2 2	1 2		
					プロジェクト研究II プロジェクト研究IV	2前 2後	2 2	1		
					プロジェクト研究V プロジェクト研究VI コロキウム I	3前 3後 4前	2 2 0.14	1 1 1		
					コロキウム <b>II</b> 卒業研究	4後 4通	0.14	1 1		
	+	ni +/.	ナミカワ ユイ	学士	臨地実習	4通	0.56	1	医用工学部	
14	専	助教	濤川 唯 <平成23年4月>	文化)	医用超音波工学 生命医工学実験 I	3前2前	2 0. 5	1	助教 (平23. 4)	5日
					生命医工学実験Ⅲ 生命医工学実験Ⅳ	3前 3後	0. 66 0. 66	1 1		
					生命医工学セミナⅠ 生命医工学セミナⅡ	3前3後	0. 5 0. 18	1 1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後 2前	2 2 2	1 2		
					プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ プロジェクト研究Ⅴ	2削 2後 3前	2 2 2	1 1 1		
					プロジェクト研究VI コロキウム I	3後 4前	2 0.14	1 1		
					コロキウムⅡ 卒業研究	4後 4通	0. 14 8	1 1		
			サノ モトアキ		一般検査学実験 臨地実習	3後 4通	0. 5 0. 56	1	医用工学部	
15	兼担	教授	サク モドアギ 佐野 元昭 <平成11年4月>	理学博士	物理 I 物理Ⅱ	1前 1後	2	1	医用工字部 教授 (平11. 4)	5日
					<ul><li>物理II</li><li>コンピュータリテラシ</li><li>医療情報処理入門</li></ul>	1 1前 1後	2 2	1 1 1		
					システム工学 医用統計学	2前 3後	2 2	1 1		
16	兼担	教授	モリシタ タケシ 森下 武志 <平成20年4月>	博士 (工 学)	福祉工学	3後	2	1	医用工学部 教授 (平20.4)	5日
177	<b>₩</b> 4n	#/- lest	イケガミ マサシ	博士	工学ワークショップⅡ	1後	4	1	医用工学部	- H
17	兼担	教授	池上 和志 <平成18年4月>	(理学)	数学 I 数学Ⅱ	1前 1後	2	1	教授 (平18.4)	5日
						2前 2後	2 2	1 1		
					医用レーザ工学 地球環境の科学	1後 1前	2 0.7	1		
			2 h 4 h		科学技術の未来 プロジェクト入門	1後 1後	2 2	1 1	屋田子丛如	
18	兼担	教授	ミヤサカ ツトム 宮坂 力 <平成13年12月>	工学博士	地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授 (平13.12)	5日
19	兼担	教授	ハラ チサコ 原 千砂子 <平成5年4月>	法学修 士	英語コミュニケーションI	1前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
			1	[ ]	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		

00	<del>26</del> -4⊓	#44.4es	アベーケンジ	教育学	-H-207	. 24			法学部	5.0
20	兼担	教授	阿部 憲二 <平成14年9月>	博士	英語コミュニケーションI	1前	2	3	教授 (平14.9)	5日
			×   //X11+3/1 >		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	3	(   14. 3)	
			ナカノ ヒデユキ	博士					スポーツ健康政	
21	兼担	教授	中野 英之	(地球 環境科	地球と環境	1後	2	1	策学部 教授	5日
			<平成31年4月>	学)					(平31.4)	
				• /					( ),	
	V-1=	41.10	マスーノブオ	法学博	Line Colombia (See ) HILLING ) NI		_		法学部	
22	兼担	教授	升 信夫 <平成9年4月>	士	持続可能な開発と法	1後	2	1	教授 (平9.4)	5日
			△平成9平4月~						(+9.4)	
									教育研究開発機	
	V-1=	41.10	タケダ ヨシコ	修士					教育切 九州光城	
23	兼担	教授	武田 佳子 <令和3年4月>	(教育 学)	ソーシャル・コミュニケーション	1後	2	1	教授	5日
			< 11 JHO 4471 >	<del>1</del> )					(令和3.4)	
			オカダ トシエ	文学修					スポーツ健康政 策学部	
24	兼担	教授	岡田 俊恵	大学修士	言語文化論	1前	2	1	東子部 教授	5日
			<平成17年4月>						(平17. 4)	
					表現とコミュニケーショ	1後	2	1		
					<u> </u>	17/2	2	1	10	
			ナミキ コウイチ	博士					スポーツ健康政策学部	
25	兼担	教授	並木 浩一	(学	視覚文化論	1前	2	1	教授	5日
			<平成24年4月>	術)					(平24. 4)	
		1			MAST特別実習	1前・	1	2		
		1				後 1前・				
					MAST特別講義	後	2	2		
					ウェブ・コミュニケーション ビジネスアイデアデザイン	2前2後	2 2	1		
					ファッション文化論	2 前	2	1		
			+24	J市 1.	. , , , , , , , , , , , , , , , ,	-03			スポーツ健康政	
26	兼担	教授	カタヤマ フミヨ 片山 富美代	博士(学)	健康と心理学	1前	2	1	策学部	5日
20	AK1E	47/17	<平成16年4月>	術)	NEW CAPT.	T H11		1	教授	υ н
					集団と心理学	2前	1	1	(平16.7)	
					幸せと心理学	2前	2	1		
					意思決定と心理学	2後	2	1		
					自己調整と心理学	2後	1	1		
					臨床心理学	3後	2	1		
			ハヤシダ ハルミ	博士					スポーツ健康政	
27	兼担	教授	林田 はるみ	(ス ポーツ	地域における健康課題	1前	2	1	策学部 教授	5日
			<平成30年4月>	科学)					(平30.4)	
				11147	コミュニアイ・ファンリアーショ	1後	2	1	( ) === 2,	
					地域政治論	2前	2	1		
					地域観光事業論	2前	2	1		
00	- <del>1</del> -1-1	VIA #41-165	ミナミ ジュンコ	博士		معد		,	医用工学部	
28	兼担	准教授	南 順子 <令和3年4月>	(医学)	人間生物学	2前	2	1	准教授 (令3.4)	
			タカセ タケシ						法学部	
29	兼担	准教授		体育学 修士	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	准教授	5日
			<平成27年4月>	118上					(平27.4)	
		1			体育実技 I 体育実技Ⅱ	1前	1	1		
		1			体育美技     アスリートの科学	1後 1前	1 2	1 1		
		1			アスリートキャリア	1後	2	1		
		1			アスリート・クロス	2前	2	1		
					リーダーシップ教育	2前	2	1		
		1		博士	ライフスキル	2後	2	1	スポーツ健康政	
20	±4⊓	准教授	サイトウ レイ	(ス	1 State of the second state	, 24			策学部	E 🗆
30	兼担	作教授	齋藤 れい <平成31年4月>	ポーツ	ビジネスの科学	1前	2	2	准教授	5日
		1	· □ //X∪1十4月 /	科学)				1	(平31.4)	
		1			マーケティング各論	1後	2	1		
		1			アントレプレナーシップ プロジェクト入門	1前 1後	2 2	1		
		1			マーケティング・リサーチ	2前	2	1		
					現代ビジネス論	2後	2	1		
$\vdash$					分野横断型プロジェクト	2後	3	1	业去tπ #*** PB = 70. L0.	
		l	ウエハタ ヨウスケ	修士				1	教育研究開発機 構	
31	兼担	准教授		(教育	異文化の科学	1前	2	1	准教授	5日
		1	<令和3年4月>	学)				1	(令和3.4)	
		1			プロジェクト入門	1後	2	1		
		1			異文化リサーチ	2前	2	1		
		1			フード文化論	2後	2	1		
					若者文化論	2後	2	1		
		1			分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
		1			ことばのスキル	1後	2	1		
		1	h 11 dra h -					1	スポーツ健康政	
32	兼担	准教授	クリヤマ ユタカ 栗山 裕	学術博	デジタル産業論	1後	2	1	策学部	5日
	NIK1-	· IL-1/1/2	<令和5年4月>	士	, • , , · , <del>L</del> , <b>c</b>   m	- 100		*	教授 (平3.4)	
		1						1	(十3.4)	
					•					•

22	*和	## 6本	イシカワ ムツオ	博士	₩/- ≥> T	1 = 44			医用工学部	E 17
33	兼担	講師	石河 睦生 <平成23年4月>	(工 学)	数学 I	1前	2	1	講師 (平23.4)	5日
			1 / //X20   1/1/ >	17	数学Ⅱ	1後	2	1	(   20. 1)	
					微分積分学 I	2前	2	1		
					微分積分学Ⅱ	2後	2	1	by daring da HH mo Life	
			ミゾグチ ユウ	修士					教育研究開発機構	
34	兼担	講師	溝口 侑	(教育	桐蔭スキルゲート	1前	2	1	講師	5日
			<令和3年4月>	学)					(令和3.4)	
					データコミュニケーション入門	1後	2	1	,,,,,,	
					心の科学	1前	2	2		
					こころの世界	1前	2	1		
					青年と心理学	1・2後	2	1		
					集団と心理学 意思決定と心理学	2前2後	1 2	1		
					自己調整と心理学	2後	1	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
			マツイ シンサク	修士					教育研究開発機	
35	兼担	講師	松井 晋作	(文	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	構講師	5日
			<令和3年4月>	学)					(令和3.4)	
					地域の科学	1前	2	2	(10 (100 1)	
					サステナブル社会学	1後	2	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					横浜地域学	2後	2	1		
					実践地域創成学 分野横断型プロジェクト	2後 2後	2 3	1		
$\vdash$				1-1-1	カFIMPH出ノロジエグド	41枚		1	E = - >: :-	
20	*和	≘盐♂ゴ	シバヤマ ナオユキ	博士		, 24	0.5		医用工学部	E D
36	兼担	講師	柴山 直之 <令和3年4月>	(工 学)	地球環境の科学	1前	0.7	1	講師 (令和3.4)	5日
			✓ 11 4月9十4月 ✓	T)			[		(11 7110.4)	
			マルナカ たノケ	1/5 I.	分野横断型プロジェクト	2後	3	1	34-224- <del>4-11</del>	
37	兼担	助教	アサオカ ケイタ 浅岡 慶太	修士(法)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	法学部 助教	5日
01	水油	功权	<平成13年4月>	学)	大品 - ペエー / ブゴブ I	1111	2	1	(平13.4)	911
			,,,,	• /	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	., ,	
			オオツジ コウタ	修士					法学部	
38	兼担	助教	大辻 康太	(教育	体育実技 I	1前	1	1	助教	5日
			<平成31年4月>	学)	体育実技Ⅱ	1 3%	1	1	(平31.4)	
				Bachelor	件目表汶Ⅱ	1後	1	1		
			エリザベス オノデ	of Science					桐蔭横浜大学	
39	兼任	講師	ラ	Bachelor	英語Ⅲ	2前	2	1	非常勤講師	
			<平成19年4月>	of					(平19.4)	
				Arts	44-77	- 44	_			
				L帝 1.	英語IV	2後	2	1		
			イナダ マサノリ	博士 (システ					つくば国際大学	
40	兼任	講師	稲田 政則	ムズ・	放射線工学概論	1後	2	1	准教授	
	7114122	2171-1	<平成30年4月>	マネジ	777317041 1 77811114	- 100	_	_	平27. 4	
				メント)						
			イワツキ エミコ	4.4 × 4.4					神田日本語教育	
41	兼任	講師	岩附 英美子	経済学士	日本語IB	1前	2	1	アカデミー 代表取締役	
			<平成27年4月>	7-1					(平15.4)	
					日本語ⅡB	1前	2	1	, , ,	
					日本語ⅢB	1後	2	1		
	21.1	24. 4	オチアイ アキラ	博士	A+ A + N		_		日本医療科学大学	
42	兼任	講師	落合 晃	(医学)	統合医療学概論	2前	2	1	教授 (平29. 4)	
			<令和3年4月>	* /			1		(平29. 4)	
$\vdash$								<u> </u>		
							1		桐蔭横浜大学	
40	¥-1-	会性がで	コバヤシ タカシ	理学	T#4n * 1 = ===	1.77			特任准教授	
43	兼任	講師	小林 貴 <平成28年4月>	修士	工学ワークショップⅡ	1後	4	1	(平26.4~平	
			ヘ十以20十4月 /						28. 3)	
				学士		-	-	-	-	
1			ササキ マイコ	(社会			1		昭和大学藤が丘	
44	兼任	講師	佐々木 舞子 <平成30年4月>	福祉	看護学概論	2後	2	1	病院 (平23.4)	
			ヘ十/以30平4月 /	学)					, , ,	
			サトウ ヤスヒデ	<del>↑</del> + ₩					神田日本語教育	
45	兼任	講師	佐藤 康秀	音声学 修士	日本語 I A	1前	2	1	アカデミー 主任講師	
			<平成27年4月>				1		土壮蔣即 (平15. 4)	
					日本語ⅡA	1前	2	1	(, 10. 1/	
					日本語ⅢA	1後	2	1		
4.0	*	esta de co	フシ゛モト ケンタロウ	博士	- ₩-∋स т	124			桐蔭横浜大学	
46	兼任	講師	藤本 健太郎 <令和3年4月>	(文学)	英語 I	1前	2	2	非常勤講師 (令3.4)	
			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		英語Ⅱ	1後	2	2	(110.4)	
					英語コミュニケーションI	1前	2	2		
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
	]		Ι Τ				1		即つリマン上に	
			ミキ゛タカーシ゛ュンコ	博士			1		聖マリアンナ医 科大学	
47	兼任	講師	右高 潤子	(理	人の構造及び機能 I	1前	2	1	講師	
			<平成24年4月>	学)			1		(平22.11)	
i i						1			1	

製作   製作   製作   ファイ・ファイ   技術   大変大学大学   技術   大変大学   大変大				1						T T
# 性	48	兼任	講師	三井 健一	(医	臨床医学総論Ⅱ	3後	2	1	特任研究員
新任   諸師   次本   次本   次本   次本   次本   次本   次本   次	49	兼任	講師	梁瀬 澄乃		医動物学	3前	2	1	准教授
数任	50	兼任	講師	奥橋 祐基		臨床血液学 I	1後	2	1	助教 (平成26年4
数年   20   20   20   20   20   20   20   2	51	兼任	講師	須田 和人	(体育 学)	大学スポーツ論	1前	2	1	菜の花AC 理事 長
新化	52	兼任	講師	鈴木 眞二	(フラ ンス文					会社 代表取締役
				1. 18 5 1 1	1 200	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6	
	53	兼任	講師	加賀美 直子	(外国					自営業
大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田										
接任   接所   大子   大子   大子   大子   大子   大子   大子   大										
	54	兼任	講師	東山 志帆	(学					属高等学校 講師
接任   議師   杉下 文子   (教育 字)   (教育 字)   (教育 字)   (政育 字)   (政育 字)   (政育 字)   (文元4年4月)   (大元4月)   (大元4月)						英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6	
操任   課師	55	兼任	講師	杉下 文子	(教育	英語コミュニケーションI	1前	2	1	英語科
接任   講師						英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
	56	兼任	講師		English and British Literat	英語コミュニケーションI	1 前	2	2	非常勤講師
接任   講師					di c	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
接任   講師	57	兼任	講師		of Arts in					University, California English Teacher
接任   議師						英語コミュニケーションⅡ	1後	2	7	
新任   講師	58	兼任	講師	ノンソン	Education with specializa tion in English	英語コミュニケーションI	1前	2	2	English Teacher
新任   講師						英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
Master of Arts in chemist ry   大き の	59	兼任	講師	<b>├</b> * IJー	of Arts (TESOL					講師
A				+	Mactar	<b></b> 英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
#任 講師 アーネット ゲーエル シヴェーム スプ	60	兼任	講師	鈴木 凪	of Arts in Chemist					フリーランス
接任   兼任   講師	<b>—</b>			マニテット カー・マル・ンド・・・)	MA :	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	烟蒸煤汽上学
接任   講師   か ラール クリストファー マイケー   Masters degree in Applied language studies for TESOL   英語コミュニケーション皿 2前 2   I   Kanda Institute of Foreign Languages Instructor (平27.4)	61	兼任	講師	ス*	Educatio					非常勤講師
#任 講師 が ラール クリストファー マイケール く 令和4年4月 >	$\vdash$					<b>火雨</b> コミューケーンヨンⅡ	1恢	Z	Э	Kanda
英語コミュニケーションIV     2後     2     1	62	兼任	講師	)V	degree in Applied language studies	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Institute of Foreign Languages Instructor
						英語コミュニケーションIV	2後	2	1	

63	兼任	講師	カーシ ファイアーズ <sup>*</sup> <令和4年4月>	l F	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine) PGCert. (An atomical Sciences)	英語コミュニケーション I	1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)	
						英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
						英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1		
						英語コミュニケーションIV	2後	2	1		

<sup>(</sup>注)
1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

			教		員		の氏		名	<u></u>	等	
(ス:	ポーツ健	康政策	学部スポーツ教育	学科(I	日))		Γ	1	1	1		
調書番号	専任等 区分	職位	<sup>フリガナ</sup> 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担 当单位数	年 間開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
1	専	教授 (学科 長)	タニモト ナオミ 谷本 直美 <平成21年4月>		教育学 修士		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政策学部教授	5日
		~/	1,000				専門演習II 専門演習II 専門演習IV 卒業研究 学校体験実習 (小学校) 学校体験実習 (中・高) 学校インターンシップ実習 音楽概論	3後前 4前 4通 2前 4前 2前 2前 2前	2 2 2 4 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	(平21. 4)	
							教科指導法(音樂) 教育実習(如等) 教育実習(中学校) 教育実習(高校) 事前・事後指導(初等) 事前・事後指導(中・高) 教職実践演習(初等を含む) 音楽演習 教職演習 I 教職演習 I 教職演習 II	後前後前前前前前前前前前前 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2 4 4 2 1 1 2 2 2 2 2	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
2	専	教授	サトウ ユタカ 佐藤 豊 <平成28年1月>		教育学 修士		専門演習I	3前	2	1	スポーツ健康政策学部教授	5日
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究 インターンシップ実習Ⅱ 教師論(初等を含む) ICT活用スキルの理論と 実際 保健科教育法 保健体育授業演習Ⅱ 保健体育授業演習Ⅲ	3 4 4 4 4 1 1 1 1 1 3 2 2 3 1 3 8 3 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 0.7 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(平28.1)	
3	専	教授	ミヤヅ タイゾウ 宮津 大蔵 <平成21年4月>		教育学士		専門演習I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平21,4)	5日
							専門演習 II 専門演習 III 専門演習 III 専門演習 IV 卒業研究 文学 I 学科基礎セミナー II 学科基礎 支貢献論 サービスラーニング実習 サービスラーニング実習 サービスラーニング実習 リービスラーニング表 国語概論(導法)(国語) 教科指導法(国語) 文章表現論	3 4 4 4 4 4 4 1 1 1 1 2 3 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2 2 2 4 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2	1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
4	専	教授	ナカノ ヒデユキ 中野 英之 <平成31年4月>		博士 (地球 環境科 学)		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平31.4)	5日
					**		専門演習Ⅲ 専門演習Ⅶ 専門演習習Ⅳ 卒礎セミナーⅡ 生産セミナーⅡ 地球とスポー科 神学とラ系教論 生活機能 教科指導導法(理科) 教料科学系教論 生活導法(理科) 教科科学系教論 自然科科学系教論 自然科科学系教論	3 4 4 4 4 1 1 1 8 6 前後前後前後後後前前後前後後後前前後前後後後	2 2 2 4 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		

			オカダ トシエ	-1-326 667					スポーツ健康政	
5	専	教授	岡田 俊恵	文学修	言語文化論	1前	2	1	策学部	5日
	4	1/1/	<平成17年4月>	士	11 H1 24 15 H10	213.3	_	-	教授	0,1
			1 / ////						(平17.4)	
					表現とコミュニケーショ	1後	2	1		
					$\sim$					
					英語 I	1前	2	1		
					英語Ⅱ	1後	2	1		
					英語Ⅲ	2前	2	1		
					英語IV	2後	2	1		
			ハヤシダ ハルミ	博士					スポーツ健康政	
6	専	教授	林田はるみ	(ス	地域における健康課題	1前	2	1	策学部	5日
0	-4-	47.17	<平成30年4月>	ポーツ	2000年の10日	1 Hil	2	1	教授	9 11
			< 十成30年4月 /	科学)					(平30.4)	
					ダンス	1前・	1	2		
						後				
					ダンス指導法・コーチング論	3後	2	1		
					コミュニティ・ファシリテーショ	1後	2	1		
					×					
					地域政治論	2前	2	1		
					地域観光事業論	2前	2	1	→ 1° ××/+++/.	
			カメオカ セイロウ	博士					スポーツ健康政	
7	専	教授	亀岡 聖朗	(心理	専門演習 I	3前	2	1	策学部	5日
	•		<平成31年4月>	学)					教授	·
									(平31.4)	
					専門演習Ⅱ	3後	2	1	]	
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					教育心理学(初等を含む)	1前	2	1	]	
					教育相談・キャリア教育指導論	2前	2	1		
$\vdash$					(初等を含む)	<u> </u>	<b> </b>	<del>                                     </del>	フポーツ時中か	
			イグチ ナリアキ	スポー					スポーツ健康政	
8	専	准教授	井口 成明	ツ科学	専門演習I	3前	2	1	策学部 ###	5日
	•		<平成30年4月>	修士	·				准教授 (平20.4)	
									(平30.4)	
					専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					自然活動論 I (実習を含む)	1前	2	1		
					学校保健・学校安全	3前	2	1		
					保健体育授業演習 I	2後	0.7	1		
					保健体育授業演習Ⅱ	3前	2	1		
					保健体育授業演習Ⅲ	3後	2	1		
					自然活動論Ⅱ (実習を含む)	2前	2	1		
					「スポーツ人物史」の研究	3前	2	1		
			シミズ ユウ	修士					スポーツ健康政	
9	専	准教授	清水 由	(体育	専門演習 I	3前	2	1	策学部	5日
9	-4-	1出犯1又	(令和3年4月)	学)	号门供自 1	SHII		1	准教授	9 11
			▽ 17 1713 千4万 /	<del>1</del> )					(令3.4)	
					専門演習 Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					スポーツ開発・指導論Ⅱ	200	0	1		
					(実習を含む)	3前	2	1		
					小学体育Ⅱ	1後	1	1		
					小学体育Ⅲ	2後	2	1		
					教科指導法 (体育)	3前	2	1		
					体育科教育法	2前	2	1		
1 1			イ ヒスン	博士					スポーツ健康政	
10	専	准教授	本 禧承	(教育	専門演習 I	3前	2	1	策学部	5日
10	4	· E-4X1X	< 平成24年4月 >	学)	41 1次日 1	0111		1	准教授	0 Н
			、   PAG4十年77 /	7)					(平24.4)	
					専門演習 Ⅱ	3後	2	1	]	
					専門演習Ⅲ	4前	2	1	]	
					専門演習IV	4後	2	1	]	
					卒業研究	4通	4	1	]	
					韓国語コミュニケーション1	1前	1	1		
					韓国語コミュニケーション2	1後	1	1		
					韓国語コミュニケーション3	2前	1	1		
					韓国語コミュニケーション4	2後	1	1		
					教育学	1前	2	1	]	
					教育方法論(初等を含		9	1	]	
					む)	2前	2	1		
					ICT活用スキルの理論と	924	-0	1		
					実際	3前	2	1	<u> </u>	
			+)= +-··	Lifer 1					スポーツ健康政	
1,,	去	744-#4-1m	キムラ カズヒロ	修士	2 - 1 - 1 - 12 - 0	1前・		_	策学部	E 17
11	専	准教授	木村 和宏	(体育	バスケットボール	後	1	1	准教授	5日
			<平成20年4月>	科学)					(平20.4)	
					専門演習 I	3前	2	1		
					専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					ゴール型球技指導法・コーチング					
					1 一ル至以及有等法・コーケンタ	3後	2	1		

				修士						
			キハラ ヨウイチ	(体育					スポーツ健康政	
12	専	講師	木原 洋一	学)   修士	専門演習I	3前	2	1	策学部 謙師	5日
			<平成20年4月>	(教育					講師 (平20.4)	
				学)					(+20.4)	
				1 '	専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					小学体育 I	1前	1	1		
					スポーツ教育学	2前	2	1		
					身体表現教育論 I (実習を含む)	2後	2	1		
					身体表現教育論Ⅱ (実習を含む)	3前	2	1		
					スポーツ開発・指導論 I(実習を	2後	2	1		
					含む)					
					保健体育授業演習 I	2後	0.7	1		
					保健体育授業演習Ⅱ 保健体育授業演習Ⅲ	3前3後	2	1		
					幼児スポーツ論(実習を含む)	2後	2	1		
					初ルババー ヶ嶋(矢目を目む)	2100			スポーツ健康政	
			ミネノ コウスケ	修士					策学部	
13	専	講師	峰野 宏祐	(教育	専門演習 I	3前	2	1	講師	5日
			<令和4年4月>	学)					(令4.4)	
					専門演習 Ⅱ	3後	2	1	, , ,	
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					数学概論 I	1前	2	1		
					数学概論Ⅱ	2前	2	1		
					自然科学系教科総論	2前	1	1		
					算数概論	3前	1	1		
					教科指導法 (算数)	3前	1	1		
$\Box$					身近な数学	3前	2	1		
		<b>≯/-</b> 1∞	ヨシタカ ユキハル	11 1.34			1	1	スポーツ健康政	
14	兼担	教授 (学部	吉鷹 幸春	体育学	柔道	1前・	1	2	策学部	5日
	VII×1→	長)	<平成7年4月>	修士	7.2	後	1		教授	- 6
									(平7.4)	
$\vdash$				Jade 1	武道指導法・コーチング論	3前	2	1	7 12 Whte	
			ナリタ タカヤ	博士					スポーツ健康政	
15	兼担	教授	成田 崇矢	(ス   ポーツ	機能解剖学 I	1前	2	1	策学部 *****	5日
			<平成24年4月>	科学)					教授 (平24. 4)	
$\vdash$			ハラ チサコ		+	1	1	1	法学部	
16	兼担	教授	原 千砂子	法学修	英語コミュニケーションI	1前	2	1	法字部 教授	5日
10	水1旦	9人1又	原 下砂子 <平成5年4月>	士	大田コマユーケーション1	1 1311		,	教授 (平5. 4)	υH
			· 1 4/00   1/1 /		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	(   0. 1/	
			アベ ケンジ	******					法学部	
17	兼担	教授	阿部 憲二	教育学	英語コミュニケーションI	1前	2	3	教授	5日
			<平成14年9月>	博士	<u> </u>	1			(平14. 9)	•
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	3		
					英語コミュニケーションV	3前	2	1		
					英語コミュニケーションVI	3後	2	1		
			ヤタベ レイオ	教育学					法学部	
18	兼担	教授	谷田部 玲生	教育子 修士	社会科学系教科総論	2後	2	1	教授	5日
			<平成21年4月>	157					(平21.4)	
					社会科概論	3前	1	1		
$\vdash$					教科指導法 (社会)	3前	1	1	7 42 WHH	
			カワサキ ケンゾウ	医产品					スポーツ健康政	
19	兼担	教授	河崎 賢三	医学博	発育発達老化論	1後	2	1	策学部 *****	5日
			<平成16年4月>	士					教授 (平16.4)	
					スポーツ医学 I	2前	2	1	(+10.4)	
$\vdash$				4# 1- / →	ハルーノ医子1	4月1	- 4	1	7 J2 Wht	
			ヒビノ ノブコ	博士(スポーツ政策					スポーツ健康政	
20	兼担	教授	日比野 暢子	学・スポー	障害者スポーツ論	2後	2	1	策学部 教授	5日
			<平成25年4月>	ツマネジメ ント学)					教授 (平25. 4)	
				v 1'±1	国際コミュニケーション実習Ⅰ	1前	4	1	(   20. 1)	
					国際コミュニケーション美省 I 国際コミュニケーション実習 II	1前	4	1		
					国際コミュニケーション美智Ⅱ 国際コミュニケーション実習Ⅲ	1前	4	1		
					スポーツと政治	3後	2	1		
					スポーツ政策論	2前	2	1		
			,	1.45	2 2 - EAZERIII	2111	<u> </u>	<u> </u>	スポーツ健康政	
0.1	<del>1</del> /- L⊓	#L-10=	ナミキ コウイチ	博士	40.00. 1.0				策学部	E 10
21	兼担	教授	並木 浩一	(学	視覚文化論	1前	2	1	教授	5日
			<平成24年4月>	術)					(平24.4)	
					MAST特別実習	1前・	1	2		
					3EAST 47791天白	後	1			
					MAST特別講義	1前・後	2	2		
					ウェブ・コミュニケーション	2前	2	1		
					ビジネスアイデアデザイン	2後	2	1		
					ファッション文化論	2前	2	1		
			h h h	Jade 1	,				スポーツ健康政	
90	美和	±4+4≪	カタヤマ フミヨ	博士	Anto edie 1. N went side.	, 24			策学部	
22	兼担	教授	片山 富美代 <平成16年7月>	(学 術)	健康と心理学	1前	2	1	教授	5日
			ヘ十以10年1月 /	1/13 /					(平16.7)	
					集団と心理学	2前	1	1		
					幸せと心理学	2前	2	1		
					意思決定と心理学	2後	2	1		
					自己調整と心理学	2後	1	1		
					心理学	1前	2	1		
					身体の仕組みと働き	1後	2	1		
					ヘルスプロモーション論	2前	2	1		
1				1 1	臨床心理学	3前	2	1	I l	

23	兼担	教授	イケガミ マサシ 池上 和志	t	専士 (理		地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授	5日
	.,,		<平成18年4月>	ž.	学)		科学技術の未来	1後	2	1	(平18.4)	
							プロジェクト入門	1後	2	1		
24	兼担	教授	ミヤサカ ツトム 宮坂 カ <平成13年12月>	I	学博士		地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授 (平13.12)	5日
25	兼担	教授	カン ネイ 韓 寧	t	専士 (法		中国語コミュニケーション1	1前	1	1	法学部 教授	5日
			<平成19年4月>	ė	学)		中国語コミュニケーション2	1後	1	1	(平19.4)	
							中国語コミュニケーション3 中国語コミュニケーション4	2前	1	1		
							中国語コミュニクーンョン4	2後	1	1		
26	兼担	教授	マス ノブオ 升 信夫 <平成9年4月>	法	学博士		持続可能な開発と法	1後	2	1	法学部 教授 (平9.4)	5日
27	兼担	教授	タケダ ヨシコ 武田 佳子 <令和3年4月>		多士 (教育 学)		ソーシャル・コミュニケーション	1後	2	1	教育研究開発機構教授	5日
			イマイズミ タカユキ		<b>多</b> 士						(令和3.4) スポーツ健康政	
28	兼担	教授	今泉 隆之 <平成20年4月>		) (文 学)		宗教学概論	1後	2	1	策学部 教授 (平20.4)	5日
							文学Ⅱ 身体と文化	1後 1前	2 2	1 1		
							スポーツ史 公務員演習 I (1)(2)	1前 2後	2 4	1 1		
							公務員演習Ⅱ(1)(2) 公務員演習Ⅲ(1)(2)	3前 3後	4	1 1		
29	兼担	教授	ウエタ トモコ 殖田 知子 <平成26年4月>		多士 (経営 学)		統計入門	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平26.4)	5日
							栄養学	2前	2	1		
30	兼担	教授	シブクラ タカユキ 澁倉 崇行 <平成26年4月>		尊士 (心理 学)		スポーツ心理学	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平26.4)	5日
31	兼担	教授	ホシ アキオ 星 秋夫 <平成20年4月>	医	学博士		衛生学・公衆衛生学	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平20.4)	5日
32	兼担	教授	サクライ トモノブ 櫻井 智野風 <平成26年4月>		尊士 (運動 主理 学)		トレーニング論(実習を含む)	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平26.4)	5日
33	兼担	教授	カツマタ ヒロフミ 勝亦 啓文 <平成17年4月>		· 学修 士		法学	1前	2	1	法学部 教授 (平17.4)	5日
34	兼担	教授	デグチ ユウイチ 出口 雄一 <平成16年4月>		尊士 (法 学)		歴史学 I	1前	2	1	法学部 教授 (平16.4)	5日
							歴史学Ⅱ	1前	2	1		
35	兼担	准教授	ナガハマ ヒロフミ 長濱 博文 <平成29年4月>	<u> </u>	尊士 (教育 学)		教育原理・教育課程論 (初等を含む)	2後	2	1	法学部 准教授 (平29.4)	5日
36	兼担	准教授	コヤマ ケイジ 小山 桂二 <平成24年4月>	が健	専士 (ス ニーツ :康科 学)		スポーツバイオメカニク ス	2後	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平24.4)	5日
							陸上競技指導法・コーチ ング論	3後	2	1		
37	兼担	准教授	ヒロセ タツロウ 廣瀬 立朗 <平成21年4月>		尊士 (学 析)		ング im 陸上競技	1前・後	1	1	スポーツ健康政策学部 准教授 (平21.4)	5日
38	兼担	准教授	フクウラ カズオ 福浦 一男 <平成29年4月>		専士 (文 学)		現代社会とスポーツ	1前	2	1	(平21.4) スポーツ健康政 策学部 准教授 (平29.4)	5日
39	兼担	准教授	サトウ クニマサ 佐藤 国正 <平成24年4月>		多士 (体育 (学)		学部キャリアセミナーI	2後	2	1	(平29.4) スポーツ健康政 策学部 准教授	5日
			1 //(m1   1/1 //	1	* /		学部キャリアセミナーⅡ	3前	2	1	(平24.4)	
							スポーツ哲学	2後	2	1		
							バレーボール	1前・ 後	1	2		
						-	ネット型球技指導法・コーチング 論	3前	2	1		

			1		ı				1		T
40	茶和	744-445 744-445	ヒロカワ ミツシ	修士		<b>子</b> .决	1	,	0	スポーツ健康政 策学部	5.0
40	兼担	准教授	廣川 充志 <平成18年4月>	(体育 学)		柔道	前・ 後	1	2	准教授	5日
						運動処方論	1後	2	1	(平18.4)	
						武道指導法・コーチング	3前	2	1		
			タカセ タケシ			論	-133			法学部	
41	兼担	准教授	髙瀬 武志	体育学 修士		桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	准教授	5日
			<平成26年4月>	191		剣道	1前	2	1	(平26.4)	
						武道指導法・コーチング論	3前	2	1		
						体育実技 I	1前	1	1		
						体育実技Ⅱ アスリートの科学	1後 1前	1 2	1		
						アスリートキャリア	1後	2	1		
						アスリート・クロス リーダーシップ教育	2前 2前	2 2	1		
						ライフスキル	2後	2	1		
			クリヤマ ユタカ	24.41c 1-th						スポーツ健康政	
42	兼担	准教授	栗山 裕	学術博 士		デジタル産業論	1前	2	1	策学部 教授	5日
			<平成3年4月>							(平3.4)	
						情報リテラシーI (情報 機器の操作)	1前	2	1		
			サイトウ レイ	博士		1及位が23米1円/				スポーツ健康政	
43	兼担	准教授	齋藤 れい	(ス		ビジネスの科学	1前	2	2	策学部	5日
			<平成31年4月>	ポーツ 科学)						准教授 (平31.4)	
				,		スポーツ施設・用具論	1後	2	1	., 2/	
						スポーツマーケティング論 マーケティング各論	2前 1後	2 2	1		
						マーケアインク 谷嗣 アントレプレナーシップ	1仮	2	1		
						プロジェクト入門	1後	2	1		
						マーケティング・リサーチ 現代ビジネス論	2前 2後	2 2	1		
						分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
			ウエハタ ヨウスケ	修士						教育研究開発機	
44	兼担	准教授	上畠 洋佑	(教育		異文化の科学	1前	2	1	構 准教授	5日
			<令和3年4月>	学)						(令和3.4)	
						プロジェクト入門	1後	2	1		
						異文化リサーチ フード文化論	2前 2後	2 2	1		
						若者文化論	2後	2	1		
						分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
						ことばのスキル	1後	2	1	del charge da HH see Ide	
		-11. 1-4	ミゾグチ ユウ	修士						教育研究開発機構	
45	兼担	講師	溝口 侑 <令和3年4月>	(教育 学)		桐蔭スキルゲート	1前	2	1	講師	5日
			(14/10/12)	1 /		データコミュニケーション入門	1後	2	1	(令和3.4)	
						ノータコミュニケーション 八円 心の科学	1前	2	2		
						こころの世界	1前	2	1		
						青年と心理学 集団と心理学	1・2後 2前	2	1		
						意思決定と心理学	2後	2	1		
						自己調整と心理学 プロジェクト入門	2後 1後	1 2	1		
						分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
			マツイ シンサク	修士						教育研究開発機	
46	兼担	講師	松井 晋作	(文		桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	構講師	5日
			<令和3年4月>	学)		1d 1 lb - 44 334				(令和3.4)	
						地域の科学 サステナブル社会学	1前 1後	2	2		
						プロジェクト入門	1後	2	1		
						横浜地域学 実践地域創成学	2後 2後	2 2	1 1		
						夫践地域制成子 分野横断型プロジェクト	2俊 2後	3	1	<u> </u>	
			シバヤマ ナオユキ	博士						医用工学部	
47	兼担	講師	柴山 直之	(工		地球環境の科学	1前	0.7	1	講師	5日
			<令和3年4月>	学)						(令和3.4)	
						分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
	V-1-	-u. /	オヤマ ユウスケ	博士						スポーツ健康政 策学部	
48	兼担	講師	尾山 裕介 <平成30年4月>	(学 術)		高齢者活動支援論(実習を含む)	3後	2	1	講師	5日
			· 1 1/4/00 1.47/1 /	修士						(平30.4)	
			オカモト ダイ	修士			ميد			スポーツ健康政	
49	兼担	講師	岡本 大	道・ス		ハンドボール	2前・ 後	1	1	策学部 講師	5日
			<平成20年4月>	ポー ツ)						(平20.4)	
				,		ゴール型球技指導法・コーチング	0.44	_			
						論	3後	2	1		
	_		オガサワラ カズアキ	修士			1			スポーツ健康政	
50	兼担	講師	小笠原 一彰	(教育		水泳	前·	1	1	策学部 講師	5日
			<平成7年4月>	学)		1. 22. 445 关 2	後			(平7.4)	
						水泳指導法・コーチング 論	3後	2	1		
						コーチング学	3後	2	1		

					•					
51	兼担	助教	アサオカ ケイタ 浅岡 慶太	修士	英語コミュニケーション I	1前	2	1	法学部 助教	5日
			<平成13年4月>	学)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	(平13.4)	
				les I	英語コミュニケーションWI 英語コミュニケーションWI	4前 4後	2 2	2 2	N.L. M. shee	
52	兼担	助教	オオツジョウタ大辻 康太	修士(教育)	体育実技 I	1前	1	1	法学部 助教	5日
			<平成31年4月>	学)	体育実技Ⅱ	1後	1	1	(平31.4)	
53	兼任	客員 教授	オオイシ ススム 大石 進 <令和2年4月>	体育学士	運動部活動論	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 客員教授 (令2.4)	
54	兼任	客員 教授	ョシハラ ショウコ 吉原 晶子 <平成29年4月>	学士 (教育 学)	特別活動・総合的な学習 の時間指導法(初等を含 む)	3前	2	1	桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)	
55	兼任	講師	スダ カズヒト 須田 和人 <平成26年4月>	修士 (体育 学)	大学スポーツ論	1前	2	1	一般社団法人 菜の花AC 理事 長 (令2.10)	
56	兼任	講師	フジモト ケンタロ ウ 藤本 健太朗 <令和3年4月>	博士 (文学)	英語コミュニケーションI	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
				学士	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	ファブリス株式	
57	兼任	講師	スズキ シンジ 鈴木 眞二 <令和4年4月>	(フラ ンス文 学)	英語コミュニケーション I	1前	2	6	会社 代表取締役 (平18.11)	
			カガミ ナオコ	学士	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		
58	兼任	講師	加賀美 直子 <令和4年4月>	(外国 文化)	英語コミュニケーションI	1前	2	2	自営業	
					英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ	1後 2前	2 2	2		
			. 18	liter 1	英語コミュニケーションⅣ	2後	2	1	湘南工科大学付	
59	兼任	講師	ヒガシヤマ シホ 東山 志帆 <令和4年4月>	修士 (学 術)	英語コミュニケーション I	1前	2	6	属高等学校 講師 (令2.4)	
			_		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		
60	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子 <令和4年4月>	修士 (教育 学)	英語コミュニケーション I	1前	2	1	学校法人河合塾 英語科 (平成4.4)	
				MA	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
61	兼任	講師	ラミレズ フランシン クロエ <令和4年4月>	English and British Literat ure	英語コミュニケーションI	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
62	兼任	講師	マークス ケビン ダグラス <令和4年4月>	Master of Arts in TESOL	英語コミュニケーションI	1前	2	7	San Diego State University, California English Teacher (平31.4-令3.12)	
				Masters in	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	7		
63	兼任	講師	デ <sup>*</sup> シイン ジュリー ヴ゙ィー マ /ンソン <令和4年4月>	Education with specializa tion in English Language	英語コミュニケーションI	1前	2	2	ISA English Teacher (平31.3)	
				Markey	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
64	兼任	講師	ストークス ジェームス゛ ブ゛ラツ ト゛リー <令和4年4月>	Master of Arts (TESOL	英語コミュニケーションI	1前	2	2	東京モード学園 講師 (令3.3)	
				Master	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
65	兼任	講師	スズキ ナギ 鈴木 凪 <令和4年4月>	of Arts in Chemist ry	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス	
			アーネット ダニエル ジェーム		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	桐蔭横浜大学	
66	兼任	講師	プーネット タ ユエル タ ェーム ズ <令和4年4月>	MA in Educatio n	英語コミュニケーション I	1前	2	5	非常勤講師 (令4.4)	
				<del>                                      </del>	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	5	Kanda	
67	兼任	講師	グラール クリストファー マイケー ル <令和4年4月>	Masters degree in Applied language studies for TESOL	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Institute of Foreign Languages Instructor (平27.4)	
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	(  51. 4)	

			1		1					
68	兼任	講師	カーン ファイアーズ <令和4年4月>	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine)	英語コミュニケーション 1	1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)	
				PGCert. (An atomical Sciences)					(+21.4)	
					英語コミュニケーション <b>Ⅱ</b> 英語コミュニケーション <b>Ⅲ</b>	1後 2前	2	1		
69	兼任	講師	タカダ ハルノリ 高田 明宣	博士	英語コミュニケーションIV 倫理学 I	2後 1前	2	1	TAC(株)公務員 試験講座 講師	
			<平成26年4月>	(学術)	倫理学Ⅱ	1後	2	1	(平20.10)	
					哲学 I 哲学 II	1前 1後	2 2	1		
70	兼任	講師	ヤマグチ アキコ 山口 晶子 <平成30年4月>	修士 (教育 学)	社会学	1前	2	1	東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)	
					教育社会論 (初等および学校安全 を含む)	2後	2	1		
71	兼任	講師	アスマ カズタカ 飛鳥馬 一峰 <令和3年4月>	博士 (史学)	西洋史概論	1前	2	1	中央大学人文科学 研究所客員研究員 (平31.4) 東洋大学人間科学 研究所 客員研究 員 (平26.4)	
72	兼任	講師	タナカ ヒロシ 田中 比呂志 <平成29年4月>	博士 (社会 学)	東洋史概論	1後	2	1	東京学芸大学 教授 (平21.4)	
73	兼任	講師	カミタ セイジ 上田 誠二 <平成30年4月>	博士 (史学)	日本史概論	1後	2	1	日本女子大学 准教授 (令2.4)	
74	兼任	講師	カワゾエ ワタル 川添 航 <令和2年4月>	博士 (理 学)	地理学概論	1後	2	1	立正大学 助教 (令4.4)	
75	兼任	講師	キシ 岸 エヴェリン <令和3年4月>	博士 (人文 学)	ドイツ語 I	1前	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
					ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	1後 2前 2後	2 2 2	1 1 1		
76	兼任	講師	シロイシ アツコ 城石 敦子 <平成27年4月>	修士 (フランス文 学)	フランス語 I	1前	2	1	日本女子大学附 属高等学校 非常勤講師 (平26.4)	
					フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	1後 2前 2後	2 2 2	1 1 1		
77	兼任	講師	サトウ ヤスヒデ 佐藤 康秀 <平成27年4月>	音声学修士	日本語IA	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 主任講師 (平15.4)	
					日本語ⅡA 日本語ⅢA	1前 1後	2 2	1 1	bb m m b 37 4/- 72	
78	兼任	講師	イワツキ エミコ 岩附 英美子 <平成27年4月>	経済学士	日本語IB	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 代表取締役 (平15.4)	
					日本語Ⅱ B 日本語Ⅲ B	1前 1後	2 2	1 1		
79	兼任	講師	オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 <令和4年4月>	修士 (体育 学)	ボディーワークI	1 前・ 後	1	2	日本Gボール協 会 (平22.4)	
			1 -247		ボディーワーク <b>I</b> (体操:体つくり運動、 集団行動)	1前	1	2	/	
80	兼任	講師	ワタヌキ ヨシノリ 綿貫 慶徳 <令和3年4月>	博士 (体育 科学)	生涯スポーツ論	1後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
81	兼任	講師	ゴトウ ヨウイチ 後藤 洋一 <平成20年4月>	体育学 修士	器械運動  が以上判11年守仏・ユーノ	1前・後	1	4	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平20.4)	
82	兼任	講師	ヤハギーノブユキー	修士 (学術)	道徳教育指導論(初等を 含む)	3後 2後	2	1	帝京平成大学 教授	
83	兼任	講師	<平成29年4月>       マエダ ヨシヒト       前田 善仁       <平成30年4月>	修士 (教育 学)	児童生徒指導論	2前	2	1	(令2.4) 東海大学 教授 (平26.4)	
84	兼任	講師	マース30年4月2 イケダ アツコ 池田 敦子 <令和3年4月>	学) 修士 (教育 学)	特別支援教育指導論(初 等を含む)	2後	2	1	東海学院大学 教授 (令2.4)	
			> 14 / 14 0 十 4 月 / 一	ナ/	1				(114.7)	

85	兼任	講師	オオツキ シゲヒサ 大槻 茂久 <平成25年4月>	修士 (体育 学)	サッカー	2前・ 後	1	3	日本体育大学 サッカー部監督 (令3.4)
86	兼任	講師	ョネチ トオル 米地 徹 <平成26年4月>	修士 (体育 学)	ラグビー	2前	1	1	日本体育大学 教授 (平26.4)
87	兼任	講師	カナモリ ジュン 金森 純 <平成29年4月>	修士 (体育 学)	ソフトボール・野球 ベースボール型球技指導 法・コーチング論	2前 3前	1 2	2 1	神奈川工科大学 非常勤講師 (平23.4)
88	兼任	講師	イソベ カオル 磯辺 薫 <令和2年4月>	修士 (体育 学)	テニス	2 前· 後	1	2	フリーランス
89	兼任	講師	フルカワ アキヤ 古川 暁也 <平成22年4月>	体育学 修士	バドミントン	2 前· 後	1	3	日本体育大学 教授 (平18.4)
90	兼任	講師	マスダ ケイコ 増田 敬子 <平成22年4月>	学士 (体育 学)	体つくり運動指導法	3後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平22. 4)
91	兼任	講師	ナダチ ヒデアキ 名達 英詔 <令和5年4月>	修士 (芸術 学)	図画工作概論	3前	1	1	+文字学園女子 大学 教授 (平29.4)
					教科指導法 (図画工作)	3前	1	1	
92	兼任	講師	スズキ マユミ 鈴木 真優美 <令和5年4月>	学士 (教育 学)	家庭概論	3後	1	1	川崎市立東橋中 学校 非常勤講師 (平30.4)
					教科指導法 (家庭)	3後	1	1	
93	兼任	講師	オクムラ コウイチ 奥村 耕一 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	人文科学系教科総論	2前	1	1	情報経営イノ ベーション専門 職大学 講師 (令2.4)
(2004)					外国語概論 教科指導法(外国語)	3前 3後	1 2	1 1	

<sup>1</sup> 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

			教		員		の 氏		名	3	等	
(医	用工学部	臨床工	学科)									
調書番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次		年 間開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
1	専	教授	サノ モトアキ 佐野 元昭 <平成11年4月>		理学博士		カ学 電が大学・ファット 電が大学・ファット 電が大学・ファット コンピー・ファット コンピー・ファット エ学のでは、アー・ファット エ学のでは、アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・ア		2 1 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	医用工学部 教授 (平11.4)	5日
2	専	教授(学科長)	サトウ トシオ 佐藤 敏夫 <平成9年12月>		博(学博(学)士正)		インターンシップ  ブロジェクト研究 II  ブロジェクトを研究 II  ブロジェル機会 II  「世界では、 II  「ロジールでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	3前 前後前後前後後後後前後前通前通通後通通前通 222222333前通前通通後通通前通 44前通	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	医用工学部 教授 (平9.12)	5日
3	専	教授	モリシタ タケシ 森下 武志 <平成20年4月>		博士(工学)		インターンシップ エ学へのステョップI エ学ワークをリークを 医デッップI 医アリーのに 医デッップI 医アリーので エクステョップ 医アリーので で で で で で で で で で で で で で で で で で で	3 1 1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1 2 4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	医用工学部 教授 (平20.4)	5日

			イケガミ マサシ	博士					医用工学部	
4	専	教授	池上 和志 <平成18年4月>	(理 学)	数学 I	1前	2	1	教授 (平18.4)	5日
			(   ////25   274 /	,,	数学Ⅱ	1後	2 2	1	(   101 1)	
					微分積分学 I 微分積分学 Ⅱ	2前 2後	2	1 1		
					インターンシップ 基礎化学	3前 1前	1 2	1 1		
					工学ワークショップⅠ 工学ワークショップⅡ	1前 1後	4	1 1		
					材料工学	1後	2	1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2 2	1 1		
					医用レーザ工学 基礎医学実習	1後 2後	2 2	1 1		
					基礎工学実験 プロジェクト研究Ⅲ	2前 2前	2 2	1 1		
					プロジェクト研究IV	2後	2	1		
					プロジェクト研究V プロジェクト研究VI	3前 3後	2 2	1 1		
					医用工学セミナ I システム安全工学	3通 3後	2 2	1 1		
					医用工学セミナⅡ	3通	2	1		
					医用工学専門実験 医用工学総論 I	3通 4通	2 2	1 1		
					医用工学総論Ⅱ 臨床実習	4通 4前	2 4	1 1		
					地球環境の科学 科学技術の未来	1前 1後	0.7 2	1 1		
			> leath de (V) [ )		プロジェクト入門	1後	2	1	医田工兴初	
5	専	教授	ミヤサカ ツトム 宮坂 力 <平成13年4月>	工学博士	地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授 (平13.12)	5日
6	専	准教授	ミナミ ジュンコ 南 順子 <令和3年4月>	博士 (医 学)	インターンシップ	3前	1	1	医用工学部 准教授 (令3.4)	5日
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2 2	1 1		
					臨床生理学	2後	2 2	1		
					臨床医学総論 I 臨床医学総論 Ⅱ	3前3後	2	1		
					人の構造及び機能 基礎医学実習	1後 2後	2 2	1 1		
					プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ	2前 2後	2 2	1 1		
					医用工学実験 I 病理学概論	2後 3前	2 2	1 1		
					人間生物学	2前	2	1		
					プロジェクト研究V プロジェクト研究VI	3前 3後	2 2	1 1		
					医用工学セミナ I 医用工学実験 II	3通 3前	2 2	1 1		
					医用工学セミナⅡ 医用工学専門実験	3通 3通	2 2	1 1		
					医用工学総論 I	4通	2 2	1		
					医用工学総論 Ⅱ 臨床実習	4通	4	1		
7	専	講師	イシカワ ムツオ 石河 睦生	博士(工	卒業研究 数学 I	4通 1前	2	1	医用工学部 講師	5日
			<平成23年4月>	学)	数学Ⅱ	1後	2	1	(平23.4)	
					物理Ⅰ 物理Ⅱ	1前	2 2	1 1		
					微分積分学 I	1後 2前	2	1		
					微分積分学Ⅱ インターンシップ	2後 3前	2 1	1 1		
					工学ワークショップⅠ 工学ワークショップⅡ	1前 1後	4	1 1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2 2	1		
					基礎医学実習	2後	2	1		
					基礎工学実験 プロジェクト研究Ⅲ	2前 2前	2 2	1 1		
					プロジェクト研究IV 医用超音波工学	2後 3前	2 2	1 1		
					人間工学 プロジェクト研究V	3後3前	2 2	1 1		
					プロジェクト研究VI	3後	2	1		
					医用工学セミナⅠ 医用工学セミナⅡ	3通	2	1		
					医用工学専門実験 医用工学総論 I	3通 4通	2 2	1 1		
					医用工学総論Ⅱ 臨床実習	4通 4前	2 4	1 1		
					卒業研究	4通	8	1		

			モトハシ ユカ	博士					医用工学部	1
8	専	講師	本橋 由香 <平成21年4月>	(工学)	インターンシップ	3前	1	1	講師 (平21.4)	5日
					医用工学概論 応用数学	1前 1後	2 2	1 1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 I	1前 1後	2 2	1		
					基礎医学実習計測工学	2後 2前	2 2	1 1		
					- 市協工子 生体物性工学 プロジェクト研究Ⅲ	2後	2 2	1 1		
					プロジェクト研究IV プロジェクト研究IV 医用工学実験 I	2前 2後 2後	2 2	1		
					プロジェクト研究V プロジェクト研究VI	3前	2 2	1 1 1		
					医用工学セミナI	3後 3通	2	1		
					医用工学実験 II 医用工学セミナ II	3前3通	2 2	1		
					医用工学専門実験 医用工学総論 I	3通 4通	2 2	1		
					医用工学総論Ⅱ 臨床実習	4通	2 4	1		
9	専	講師	ヤマウチ シノブ 山内 忍	博士(工	卒業研究 キャリア研究 I	4通 3前	2	1	医用工学部 准教授	5日
			<平成24年4月>	学)	キャリア研究Ⅱ	3後	2	1	(平24.4)	
					インターンシップ プロジェクト研究 I	3前 1前	1 2	1 1		
					プロジェクト研究Ⅱ 基礎医学実習	1後 2後	2 2	1 1		
					臨床生化学 プロジェクト研究Ⅲ	2後 2前	2 2	1 1		
					プロジェクト研究IV 医用工学実験 I	2後 2後	2 2	1 1		
					プロジェクト研究 V プロジェクト研究 VI	3前3後	2 2	1		
					生体機能代行装置学Ⅱ 医用工学セミナⅠ	3前 3通	2 2	1		
					医用工学実験 II 医用工学セミナ II	3前 3通	2 2	1 1		
					医用工学専門実験 医用工学総論 I	3通 4通	2 2	1 1		
					医用工学総論Ⅱ 臨床実習	4通 4前	2 4	1 1		
			オク トモコ	修士	卒業研究	4通	8	1	医用工学部	
10	専	講師	奥 知子 <平成30年4月>	(工 学)	健康の科学 インターンシップ	1前3前	2	1	講師 (平30.4)	5日
					医学概論 公衆衛生学	1前 1前	1	1 1		
					放射線工学概論 プロジェクト研究 I	2前 1前	2 2	1		
					プロジェクト研究Ⅱ 生体機能代行装置学Ⅰ	1後 2後	2 2	1		
					基礎医学実習 プロジェクト研究Ⅲ	2後 2前	2 2	1		
					プロジェクト研究IV 医用工学実験 I	2後 2後	2 2	1 1		
					プロジェクト研究 V プロジェクト研究 VI	3前3後	2 2	1 1 1		
					医用工学セミナ I 医用工学実験 II	3通3前	2 2	1 1		
					医用工学セミナⅡ 医用工学専門実験	3通 3通	2 2	1 1		
					医用工学総論 I 医用工学総論 I	4通 4通	2 2	1 1 1		
					医用工子检画 II 臨床実習 卒業研究	4通 4前 4通	4 8	1 1		
11	専	講師	シバヤマ ナオユキ 柴山 直之 <令和3年4月>	博士 (工 学)	物理 I	1前	2	1	医用工学部 講師 (令3.4)	5日
					物理Ⅱ	1後	2	1	., -/	
					インターンシップ 工学ワークショップ I	3前1前	1 4	1		
					プロジェクト研究 I プロジェクト研究 II	1前 1後	2 2	1		
					基礎工学実験 電子回路学	2前 1後	2	1		
					プロジェクト研究Ⅲ プロジェクト研究Ⅳ	2前 2後	2	1		
					プロジェクト研究 V プロジェクト研究 VI	3前3後	2 2	1 1		
					医用工学セミナⅡ 医用工学セミナⅢ	3通	2 2	1 1		
					医用工学専門実験 医用工学総論 I	3通 4通	2 2	1 1		
					医用工学総論Ⅱ 臨床実習	4通 4前	2 4	1 1		
					卒業研究 地球環境の科学	4通 1前	8 0. 7	1 1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		

i	1	i			1		i	ì		
12	兼担	教授	コデラ ヨウ 小寺 洋 <昭和63年4月>	理学博士	工学ワークショップⅡ	1後	4	1	医用工学部 教授 (昭63.4)	5日
13	兼担	教授	ヨシダ カオル 吉田 薫 <平成16年6月>	博士 (理 学)	基礎医学実習臨床免疫学	2後 3前	2	1	医用工学部 教授 (平16.6)	5日
14	兼担	教授	ニシムラ ヒロユキ 西村 裕之 <平成6年4月>	理学博士	基礎医学実習	2後	2	1	医用工学部 教授 (平6.4)	5日
15	兼担	教授	ハラ チサコ 原 千砂子 <平成5年4月>	法学修士	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
16	兼担	教授	アベ ケンジ 阿部 憲二 <平成14年9月>	教育学博士	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション I	1前 1後	2	3	法学部 教授 (平14.9)	5日
17	兼担	教授	ナカノ ヒデユキ 中野 英之 <平成31年4月>	博士 (地球 環境科 学)	地球と環境	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平31.4	5日
18	兼担	教授	オカダ トシエ 岡田 俊恵 <平成17年4月>	文学修士	言語文化論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平17.4	
					表現とコミュニケーション	1後	2	1		
19	兼担	教授	マス ノブオ 升 信夫 <平成9年4月>	法学博士	持続可能な開発と法	1後	2	1	法学部 教授 (平9.4)	
20	兼担	教授	タケダ ヨシコ 武田 佳子 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	ソーシャル・コミュニケーション	1後	2	1	教育研究開発機 構 教授 (令和3.4)	5日
21	兼担	教授	ナミキ コウイチ 並木 浩一 <平成24年4月>	博士 (学 術)	視覚文化論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平24.4)	5日
					MAST特別実習	1前・ 後	1	2		
					MAST特別講義	1前・ 後	2	2		
					ウェブ・コミュニケーション ビジネスアイデアデザイン	2前 2後	2 2	1		
					ファッション文化論	2前	2	1	スポーツ健康政	
22	兼担	教授	カタヤマ フミョ 片山 富美代 <平成16年7月>	博士 (学 術)	健康と心理学	1前	2	1	策学部 教授 (平16.7)	5日
					集団と心理学 幸せと心理学	2前 2前	1 2	1		
					意思決定と心理学自己調整と心理学	2後	2	1		
				1-0-1	臨床心理学	3後	2	1		
23	兼担	教授	ハヤシダ ハルミ 林田 はるみ <平成30年4月>	博士 (ス ポーツ 科学)	地域における健康課題	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平30.4)	5日
					コミュニティ・ファシリテーショ ン	1後	2	1		
					地域政治論 地域観光事業論	2前 2前	2 2	1		
24	兼担	准教授	タカセ タケシ 髙瀬 武志 <平成27年4月>	体育学修士	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	法学部 准教授 (平27.4)	5日
					体育実技 I 体育実技 II	1前 1後	1	1 1		
					アスリートの科学	1前	2	1		
					アスリートキャリア アスリート・クロス	1後 2前	2	1 1		
					リーダーシップ教育 ライフスキル	2前 2後	2 2	1 1		
25	兼担	准教授	サイトウ レイ 齋藤 れい <平成31年4月>	博士 (ス ポーツ 科学)	ビジネスの科学	1前	2	2	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平31.4)	5日
					マーケティング各論 アントレプレナーシップ	1後 1前	2 2	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					マーケティング・リサーチ 現代ビジネス論	2前 2後	2 2	1		
l	l	I			分野横断型プロジェクト	2後	3	1		

			ウエハタ ヨウスケ	修士					教育研究開発機	
26	兼担	准教授	上畠 洋佑	(教育	異文化の科学	1前	2	1	構 准教授	5日
			<令和3年4月>	学)					(令和3.4)	
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					異文化リサーチ	2前	2	1		
					フード文化論	2後	2	1		
					若者文化論	2後	2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
$\vdash$					ことばのスキル	1後	2	1		
									スポーツ健康政	
97	*:40	<b>光茶</b> 極	クリヤマ ユタカ	学術博	デジタル産業論	1 3%	0	1	策学部	5 12
27	兼担	准教授	栗山 裕 <令和5年4月>	士	アンタル座来画	1後	2	1	教授	5日
			< 11/100-13/1>						(平3.4)	
28	兼担	講師	サワグチ ヨシカズ 澤口 能一	博士	臨床薬理学	3後	2	1	医用工学部 講師	5日
20	邢14	하는데	(平成30年4月 >	(薬 学)	端外架生子	31友	2	1	(平30.4)	91
			(   //////   1/1/	17					(   00. 1)	
29	<del>大</del> 和	≘株 ሰェ	ヤマグチ トモコ	博士	工学ローカン・・・プロ	1.60		1	医用工学部	E 0
29	兼担	講師	山口 智子 <令和4年4月>	(理工 )	工学ワークショップⅡ	1後	4	1	講師 (令4.4)	5日
			✓ 11 411444471 >	7)					(114.4)	
				+					教育研究開発機	
200	₩-1u	会体がご	ミゾグチ ユウ	修士	4544-2 1				構	r n
30	兼担	講師	溝口 侑 <令和3年4月>	(教育 学)	桐蔭スキルゲート	1前	2	1	講師	5日
			> □ イͲの十年月 /	7-1					(令和3.4)	
					データコミュニケーション入門	1後	2	1		
					心の科学 こころの世界	1前 1前	2 2	2		
					青年と心理学	1 1 2後	2	1		
					集団と心理学	2前	1	1		
					意思決定と心理学	2後	2	1		
					自己調整と心理学	2後	1	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
-					分野横断型プロジェクト	2後	3	1	サンエ 空間 ジ 州	
			マツイ シンサク	修士					教育研究開発機構	
31	兼担	講師	松井 晋作	(文	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	講師	5日
			<令和3年4月>	学)					(令和3.4)	
					地域の科学	1前	2	2		
					サステナブル社会学	1後	2	1		
					プロジェクト入門 横浜地域学	1後 2後	2 2	1 1		
					実践地域創成学	2後	2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
		mt 197	アサオカ ケイタ	修士					法学部	
32	兼担	助教	浅岡 慶太	(法	英語コミュニケーションI	1前	2	1	助教	5日
			<平成13年4月>	学)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	(平13.4)	
			オオツジ コウタ	修士	)CMI: ()	+ 1%		<u> </u>	法学部	
33	兼担	助教	大辻 康太	(教育	体育実技 I	1前	1	1	助教	5日
			<平成31年4月>	学)	[4. +c+++++	1.50	١.		(平31.4)	
$\vdash$				Bachelor	体育実技Ⅱ	1後	1	1		
			エリザベス オノデ	Bachelor of Science					桐蔭横浜大学	
34	兼任	講師	ラ	Bachelor	英語Ⅲ	2前	2	1	非常勤講師	
			<平成19年4月>	of					(平19.4)	
				Arts						
$\vdash$				+++++	英語IV	2後	2	1		
			イトウ テツロウ	学士					済生会	
35	兼任	講師	伊藤 徹郎	(工)	医用工学セミナ I	3通	2	1	横浜市東部病院	
	–		<平成27年4月>	学)		-			臨床工学技士 (平19.4)	
							_		( F13. 4)	
					医用工学セミナⅡ 医用工学専門実験	3通3通	2 2	1		
$\vdash$					<u> </u>	3.囲		1	神田日本語教育	
0.0	¥-1-	State Water	イワツキ エミコ	経済	n 4	, 26	_		アカデミー	
36	兼任	講師	岩附 英美子 <平成27年4月>	学士	日本語IB	1前	2	1	代表取締役	
			〜十成47年4月 /						(平15.4)	
					日本語ⅡB	1前	2	1		
$\vdash \vdash$				+	日本語ⅢB	1後	2	1		
			ナカエし いっこ						由却十份医療3-	
37	兼任	講師	オカモト ヒロミ 岡本 裕美	専門学	生体機能代行装置学Ⅲ	3後	2	1	東邦大学医療セ ンター大橋病院	
01	VK IT	D4-5-tuh	<令和2年4月>	校卒	工門以肥门(打灰巨子)	0.10		1	(平14.10)	
									/	
				+ +						
			カネオカ ブンジ	学士					ベルファミリー	
38	兼任	講師	金岡文志	(医	臨床医学総論Ⅲ	4前	2	1	クリニック	
-			<平成23年4月>	学)		"	_		院長 (平26.3)	
									(+20. 3)	
			ササキ マイコ	学士					昭和大学藤が丘	
39	兼任	講師	佐々木 舞子	(社会 福祉	看護学概論	2後	2	1	病院	
			<平成30年4月>	学)					(平23.4)	

								1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
40	兼任	講師	サトウ ヤスヒデ 佐藤 康秀 <平成27年4月>	音声学修士	日本語IA	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 主任講師
			. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		日本語ⅡA 日本語ⅢA	1前 1後	2 2	1 1	(平15.4)
41	兼任	講師	サノ エリカ 佐野 恵里佳 <平成31年4月>	学士 (臨床 工学)	医用工学セミナ I	3通	2	1	済生会 横浜市東部病院 (平27.4)
			<b>、一次31年4万</b> ク	工子)	医用工学セミナⅡ 医用工学専門実験	3通 3通	2 2	1 1	(721.4)
42	兼任	講師	サトウ ユリ 佐藤 友理 <平成28年4月>	修士 (医療 科学)	医用工学セミナI	3通	2	1	済生会 横浜市東部病院 臨床工部 勤務 (平24.4)
					医用工学セミナⅡ 医用工学専門実験	3通 3通	2 2	1 1	trade bits vs. 1 VM
43	兼任	講師	7ジモト ケンタロウ 藤本 健太郎 <令和3年4月>	博士 (文学)	英語 I	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)
					英語 Ⅱ 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション Ⅱ	1後 1前 1後	2 2 2	2 2 2	
44	兼任	講師	ベッショ イクオ 別所 郁夫 <令和2年4月>	専門学校卒	生体機能代行装置学Ⅲ	3後	2	1	東邦大学医療センター大橋病院 (平2.4)
45	兼任	講師	スダ カズヒト 須田 和人 <平成26年4月>	修士 (体育 学)	大学スポーツ論	1前	2	1	一般社団法人 菜の花AC 理事 長 (令2.10)
46	兼任	講師	スズキ シンジ 鈴木 眞二 <令和4年4月>	学士 (フラ ンス文 学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	6	ファブリス株式 会社 代表取締役 (平18.11)
47	兼任	講師	カガミ ナオコ 加賀美 直子	学士 (外国	英語コミュニケーションI	1前	2	2	自営業
			<令和4年4月>	文化)	英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ	1後 2前	2 2	2	
48	兼任	講師	ヒガシヤマ シホ 東山 志帆 <令和4年4月>	修士 (学 術)	英語コミュニケーションIV 英語コミュニケーション I	2後	2	6	湘南工科大学付 属高等学校 講師 (令2.4)
49	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子 <令和4年4月>	修士 (教育 学)	英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅠ	1後	2	1	学校法人河合塾 英語科 (平成4.4)
				MA	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
50	兼任	講師	ラミレズ フランシン クロエ <令和4年4月>	English and British Literat ure	英語コミュニケーションI	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)
				Master	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	San Diego State
51	兼任	講師	マークス ケビン ダグラス <令和4年4月>	of Arts in TESOL	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	7	University, California English Teacher (平31.4-帝3.12)
52	兼任	講師	デシイン ジュリー ヴィー マ /ンクン <令和4年4月>	Masters in Education with specializa tion in English Language	英語コミュニケーションI	1前	2	2	ISA English Teacher (平31.3)
53	兼任	講師	ストークス ジ <sup>*</sup> エームス <sup>*</sup> ブ <sup>*</sup> ラツ ト <sup>*</sup> リー <令和4年4月>	Master of Arts (TESOL	英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション I	1後	2	2	東京モード学園 講師 (令3.3)
				Master	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
54	兼任	講師	スズキ ナギ 鈴木 凪 <令和4年4月>	of Arts in Chemist ry	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス
	**	5## A¬*	アーネット タ゛ニエル シ゛ェーム	MA in	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	桐蔭横浜大学
55	兼任	講師	ズ <令和4年4月>	Educatio n	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	5	非常勤講師 (令4.4)
			·		XHI: \/ 232II	+ 1%			1

56	兼任	講師	グラール クリストファー マイケー ル <令和4年4月>	Masters degree in Applied language studies for TESOL		ニケーションⅢ 2前 ニケーションⅣ 2後	2	1	Kanda Institute of Foreign Languages Instructor (平27.4)	
57	兼任	講師	カーン ファイアーズ* <令和4年4月>	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine)  PGCert. (Ar atomical Sciences)		ニケーション I 1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)	
					英語コミュ	ニケーションⅡ 1後 ニケーションⅢ 2前 ニケーションⅣ 2後	2 2 2	1 1 1		

<sup>(</sup>注)
1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

			教		員		の氏		名	<u></u>	等	
(ス	ポーツ健	康政策	学部スポーツテク。	/ロジ	一学科	(旧))		ı	ı			
調書番号	専任等 区分	職位	<sup>フリガナ</sup> 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当性位数	年間開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職 務 に 従 事 す る 週 当 た り 平均 日 数
1	専	教授 (学部 長)	ヨシタカ ユキハル 吉鷹 幸春 <平成7年4月>		体育学 修士		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平7.4	5日
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	3後 4前 4後	2 2 2	1 1 1	十1. 4	
							卒業研究 柔道 武道指導法・コーチング 論	4通 1後 3前	4 1 2	1 1 1		
							・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3後 1前	1 2	1		
2	専	教授 (学科 長)	カトウ トモオ 加藤 知生 <平成21年4月>		体育学 士		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平21.4	5日
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	3後 4前 4後	2 2 2	1 1 1	, 51, 1	
							卒業研究 インターンシップ実習 I インターンシップ実習 II	4通 1前 1前	4 2 2	1 1 1		
							学科基礎セミナー テーピング論 (実習を含む) アスレティックリハビリテーショ ン I (実習を含む)	1前 1前 2前	2 2 2	1 1 1		
							アスレティックリハビリテーショ ンⅡ (実習を含む) アスレティックトレーナーの役割 アスレティックリハビリテーショ	3後 1前	2 2	1		
							ンⅢ (実習を含む) スポーツ現場実習 I スポーツ現場実習IV スポーツ現場実習V	4前 1前 3後 4前	2 1 1 2	1 1 1 1		
3	専	教授	ナリタ タカヤ 成田 崇矢 <平成24年4月>		博士 (ス ポーツ 科学)		専門演習Ⅰ	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平24.4	5日
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	3後 4前 4後	2 2 2	1 1 1		
							卒業研究 機能解剖学 I 予防とコンディショニング I (実 習を含む)	4通 1前 1前	4 2 2	1 1 1		
							機能解剖学Ⅱ 検査・測定と評価 予防とコンディショニングⅡ(実	2後 3前 2後	2 2 2	1 1 1		
							習を含む) 予防とコンディショニングⅢ(実 習を含む) スポーツ現場実習Ⅰ	3前	2	1 1		
							スポーツ現場実習Ⅱ スポーツ現場実習Ⅲ	2後 3前	1	1 1	- 1º	
4	専	教授	カワサキ ケンゾウ 河崎 賢三 <平成16年4月>		医学博士		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平16.4	5日
							専門演習 Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	3後 4前 4後	2 2 2	1 1 1		
							卒業研究 発育発達老化論 スポーツ医学 I	4通 1後 2前	4 2 2	1 1 1		
							救急処置論(実習を含む) む) スポーツ医学Ⅱ	1後 3前	1 2	1		
5	専	教授	ウエタートモコー 殖田 知子		修士(経営		スポーツ現場実習 I	1前 3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授	5日
			<平成26年4月>		学)		専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1 1	平26. 4	
							専門演習IV 卒業研究	4所 4後 4通	2 4	1 1 1		
							統計入門 評価測定学 (実習を含む)	1後 3前	2 2	1 1		
							栄養学 スポーツ栄養学	2前 2後	2 2	1		

_				F 1						
6	専	教授	サクライ トモノブ 櫻井 智野風 <平成26年4月>	博士 (運動 生理 生)	専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授	5日
				学)	専門演習Ⅱ	3後	2	1	平26.4	
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					トレーニング論(実習を含む)	1前	2	1		
					運動生理学	2前	2	1		
					スキー・スノーボード実習	2前	1	1	スポーツ健康政	
7	専	教授	ホシ アキオ 星 秋夫 <平成20年4月>	医学博士	衛生学・公衆衛生学	1後	2	1	策学部 教授	5日
			,,,,		健康教育学	2前	2	1	平20.4	
				1-0-1	(地)水状 月丁	200		-	スポーツ健康政	
8	専	教授	シブクラ タカユキ 澁倉 崇行 <平成26年4月>	博士 (心理 学)	スポーツ心理学	2前	2	1	策学部 教授 平26.4	5日
					専門演習 I	3前	2	1		
					専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV 卒業研究	4後 4通	2 4	1 1		
					メンタルトレーニング論	3前	2	1		
					ジュニアスポーツコーチング論	3前	2	1		
					スポーツコーチング実習Ⅱ	3後	1	1		
9	専	准教授	ヒロセ タツロウ 廣瀬 立朗 <平成21年4月>	博士 (学 術)	専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 平21.4	5日
					専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通 1前・	4	1		
					陸上競技	後	1	2		
					トレーニング学 (実習を含む)	3前	2	1		
					スポーツイングリッシュ	3前	2	1		
				Laft 1	測定機器の操作	2前	2	1		
10	専	准教授	コヤマ ケイジ 小山 桂二 <平成24年4月>	博士 (ス ポーツ 健康科 学)	スポーツバイオメカニクス	2後	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 平24.4	5日
				7)	専門演習 I	3前	2	1		
					専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					陸上競技指導法・コーチ	3後	2	1		
					ング論	- 100	_			
					評価測定学(実習を含 む)	3前	2	1		
					動作分析論	3前	2	1		
11	専	准教授	ヒロカワ ミツシ 廣川 充志 <平成18年4月>	修士 (体育 学)	柔道	1後	1	1	スポーツ健康政 策学部 准教授	5日
			、   <i>p</i> 从10十4万 /	7/	ete HD >1- 700 -	0.37	_		平18.4	
					専門演習 I 車田溶翌 π	3前3谷	2 2	1		
					専門演習 Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2	1 1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					武道指導法・コーチング	3前	2	1		
					論 運動処方論		2			
					理  型  型  型  型  の  に  の  の  に  の  の  に  の  の  の  に  の  の	1後		1		
					I	3前	1	1		
12	専	准教授	クリヤマ ユタカ 栗山 裕 <平成3年4月>	学術博士	デジタル産業論	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 平3.4	5日
					情報リテラシーI(情報	, 24	_		, ,,,	
					機器の操作)	1前	2	1		
					情報リテラシーⅡ	1後	2	1		
$\vdash$				校上	スポーツ情報処理論	2後	2	1		
13	専	講師	オカモト ダイ 岡本 大 <平成20年4月>	修士 (武 道・ス ポー ツ)	ハンドボール	2前· 後	1	2	スポーツ健康政 策学部 講師 平20.4	5日
					ゴール型球技指導法・コーチング論	3後	2	1		
					スポーツコーチング実習 I 毎 田 注 羽 T	3前	1	1		
					専門演習 I 専門演習 Π	3前3谷	2 2	1		
					専門演習 Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					チャンピオンシップスポーツコー	3前	2	1		
					チング論	าหม	ے ا			

14	専	講師	ミゾカミ ヒロシ 溝上 拓志 <令和4年4月>	修士(スポーツ	専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政策学部講師	5日
			/ MAH 1 121 2	科学)	専門演習Ⅱ	3後	2	1	令4.4	
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究 スポーツ映像分析論	4通2後	4 2	1 1		
					スポーツデータ解析	3後	2	1		
					スポーツ情報戦略論 スポーツ技術・戦術論	2前 3前	2 2	1 1		
					71V. 71XH 7XHIIII	0111		1		
			ナカノ ヒデユキ	博士 (地球					スポーツ健康政 策学部	
15	兼担	教授	中野 英之 <平成31年4月>	環境科	地球と環境	1後	2	1	教授	5日
			▽十成31平4万 /	学)					平31.4	
					自然科学	1後	2	1		
16	兼担	教授	マス ノブオ 升 信夫	法学博	持続可能な開発と法	1後	2	1	法学部 教授	5日
10	NK1-7	1/1/	<平成9年4月>	土	17 N/C * 1 HE / & /70 75 C 12	1100	2	1	(平9.4)	0.1
			タニモト ナオミ	****					スポーツ健康政	
17	兼担	教授	谷本 直美	教育学 修士	教育実習 (中学校)	4前	4	1	策学部 教授	5日
			<平成21年4月>						平21.4	
					教育実習(高校) 学校体験実習(中・高)	4前 2前	2	1 1		
					学校インターンシップ実習	4前	1	1		
					事前・事後指導(中・高)	4前	1	1		
				14- 1	教職実践演習(中・高)	4前	2	1	教育研究開発機	
18	兼担	教授	タケダ ヨシコ 武田 佳子	修士(教育)	ソーシャル・コミュニケーション	1後	2	1	構	5日
10	NK12	4010	<令和3年4月>	学)	7 7 (% - (4-) 737	1100			教授 (令和3.4)	0 П
			<b>カルガエートフル</b> ロ						スポーツ健康政	
19	兼担	教授	セトグチ ヤスヒロ 瀬戸口 靖弘	医学博	健康管理とスポーツ医学	3前	2	1	策学部	5日
			<平成30年4月>	土					教授 平30.4	
			ヒビノ ノブコ	博士(ス					スポーツ健康政	
20	兼担	教授	日比野 暢子	ポーツ政策 学・スポー	国際コミュニケーション実習I	1前	4	1	策学部 *****	5日
			<平成25年4月>	ツマネジメ ント学)					教授 平25. 4	
					国際コミュニケーション実習Ⅱ	1前	4	1		
					国際コミュニケーション実習Ⅲ 障害者スポーツ論	1前 2後	4	1		
			.1.1.18		<b>厚舌有</b> 人小一ク繭	2仮	2	1	スポーツ健康政	
21	兼担	教授	オカダ トシエ 岡田 俊恵	文学修	言語文化論	1前	2	1	策学部	5日
			<平成17年4月>	土					教授 平17. 4	
					表現とコミュニケーショ	1後	2	1	·	
					ン 英語 I	1前	2	1		
					英語Ⅱ	1後	2	1		
					英語Ⅲ	2前	2	1		
$\vdash$				博士	英語IV	2後	2	1	スポーツ健康政	
22	兼担	教授	ハヤシダ ハルミ 林田 はるみ	(ス	地域における健康課題	1前	2	1	策学部	5日
	VIV1-	-1/1/2	<平成30年4月>	ポーツ 科学)		* 1313	-	•	教授 (平30.4)	V H
				11.47	ダンス	1後	1	1	(100.4)	
					ダンス指導法・コーチング論	3後	2	1		
					コミュニティ・ファシリテーショ ン	1後	2	1		
					地域政治論 地域観光事業論	2前 2前	2 2	1 1		
			ハラ チサコ	<b>注</b> 学 <i>l</i> 女	心外肌儿尹米丽	스테미	4	1	法学部	
23	兼担	教授	原 千砂子	法学修 土	英語コミュニケーションI	1前	2	1	教授	5日
			<平成5年4月>		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	(平5.4)	
	Δ1.1e-	#/ 1.→	アベーケンジ	教育学					法学部	
24	兼担	教授	阿部 憲二 <平成14年9月>	博士	英語コミュニケーションI	1前	2	3	教授 (平14. 9)	5日
			. 1 //4- 4 1 0/4 5		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	3	(, -1, 0)	
					英語コミュニケーションV 英語コミュニケーションVI	3前	2 2	1		
			カツラク・レーラン		大田・ミューケーションVI	3後	4	1	34- 224-4pp	
25	兼担	教授	カツマタ ヒロフミ 勝亦 啓文	法学修	法学	1前	2	1	法学部 教授	5日
			<平成17年4月>	±	,	,,,,	_	-	(平17.4)	•
			デグチ ユウイチ	博士	,				法学部	
26	兼担	教授	出口 雄一 <平成16年4月>	(法 学)	歴史学 I	1前	2	1	教授 (平16.4)	5日
			ヘ十以10十4月 /	7)	歴史学Ⅱ	1前	2	1	(+10.4)	
•	II.		. '	•			•	•		

### 변경												
大田   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	27	兼担	教授	並木 浩一	(学		視覚文化論	1前	2	1	教授	5日
							MAST特別実習		1	2	(+24.4)	
전   전   전   전   전   전   전   전   전   전							MAST特別諡義	1前・	2	2		
19   19   19   19   19   19   19   19												
本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語	28	兼担	教授	片山 富美代	(学						策学部	5日
A				▽平成10年7月ン	1/11/		自体の仕組でも働き	1.5%	9		(平16.7)	
A												
29   秋田   秋秋   大子子 マートン   191   192										-		
新型   大学												
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学	29	兼担	教授	池上 和志	(理		地球環境の科学	1前	0.7	1	教授	5日
新担   教授   教授   文字 タ												
中国師:ユーナッショ   2世   1   1   1   1   1   1   1   1   1	30	兼担	教授	韓寧	(法						教授	5日
本担   本担   本担   本担   本担   本担   本担   本担				<平成19年4月>	字)		中国語コミュニケーション2	1後	1	1	(半19.4)	
数据   数据   数据   交換   字段   分子   大力   大力   大力   大力   大力   大力   大力   大							中国語コミュニケーション3	2前				
数日   数日   数日   数日   数日   数日   数百字   数1前   2   1   双元一分健康校 第字部   数百字   数百字   数百字   数百字   数百字   数百字   数1前   2   1   双元一分健康校 第字部   数1前   2   1   数字   数字   数字   数字   数字   数字   数字	31	兼担	教授	宮坂 力			地球環境の科学	1前	0.7	1	教授	5日
Tichi	32	兼担	教授	佐藤 豊			教師論	1前	2	1	策学部 教授	5日
本担   本担   本担   本担   本担   本担   本担   本担								3前	2	1	1 201 1	
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学												
本担   数校   名字   大成   大成   大成   大成   大成   大成   大成   大							保健体育授業演習 I	2後	0.7	1		
新担   教授   本担   教授   本担   教授   本担   教授   本担   本担   本担   本担   本担   本担   本担   本												
	33	兼担	教授	宮津 大蔵			文学I	1前	2	1	策学部 教授	5日
1								1後	2	1	, ==: -	
サービスラーニング実習   1前   2   1   1前   2   1   1前   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   2						1		1前	2	1		
数校   カノオカ セイロウ   博士   公理   教授   平成31年4月   本   本   本   本   本   本   本   本   本						4	サービスラーニング実習	1前	2	1		
新担   教授   教授   教授   を					1-0-1		Ш				スポーツ健康政	
※担   教授   本担   教授   本担   教授   本担   本担   本担   本担   本担   本担   本担   本	34	兼担	教授	亀岡 聖朗	(心理		教育心理学	1後	2	1	策学部 教授	5日
新担   教授							教育相談・キャリア教育指導論	2後	2	1	スポーツ健康政	
大型	35	兼担	教授	今泉 隆之	(文		宗教学概論	1後	2	1	策学部 教授	5日
スポーツ史 公務員演習 I (1) (2) 2後 4 1 1												
公務員演習 I (1) (2) 2後 4 1 1												
公務員演習Ⅲ(1)(2) 3後 4 1   法学部							公務員演習 I (1)(2)	2後	4	1		
36     兼担     准教授     ナガハマ ヒロフミ長濱 博文 (教育学)     教育原理・教育課程論     2前     1     法学部 (推教授 (平29.4)       37     兼担 推教授 (本育経)     少ミズ ユウ 清水 由 (体育学)     修士(体育学)     体育科教育法     2前     2     1     スポーツ健康政策学部 (教育 教育器 教育 教育 教育 教育 教育 教育 表示 上外321     5日       38     兼担 推教授 (本教授 (本教授 (本教授 (本教授 (本教授 (本教授 (本教授 (教育学)))))     本 福承 (教育学)     本 福祉教授 (教育学)     本 福祉教授 (教育学)     本 福祉教授 (教育学)     本 2前     1     1     1     1     1     1     1     1     2     1     1     1     1     1     1     2     1     1     1     2     1     2     1     2     1     2     1     2     1     2     1     2     1     2     1     2 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>												
37   兼担   准教授   清水 由	36	兼担	准教授	長濱 博文	(教育						准教授	5日
接担   推教授   本	37	兼担	准教授	清水 由	(体育		体育科教育法	2前	2	1	策学部 准教授	5日
韓国語コミュニケーション2 1後 1 1 1	38	兼担	准教授	李 禧承	(教育		韓国語コミュニケーション1	1前	1	1	スポーツ健康政 策学部 准教授	5日
韓国語コミュニカーション4 2後 1 1 数育学 1前 2 1 数育方法論 2後 2 1 ICT活用スキルの理論と 2前 2 1											1 47. 4	
教育学   1前   2   1   教育方法論   2後   2   1   ICT活用スキルの理論と   2前   2   2   1   1   1   1   1   1   1   1												
ICT活用スキルの理論と gift g							教育学	1前	2	1		
	1							3前	2	1		

			1				1			
39	兼担	准教授	イグチ ナリアキ 井口 成明 <平成30年4月>	スポー ツ科学 修士	学校保健・学校安全	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 平30.4	5日
					保健体育授業演習 I 保健体育授業演習 II	2後 3前	0. 7 2	1 1	<del>+</del> 30. 4	
					保健体育授業演習Ⅲ	3後	2	1	スポーツ健康政	
40	兼担	准教授	フクウラ カズオ 福浦 一男 <平成29年4月>	博士 (文 学)	現代社会とスポーツ	1前	2	1	スポーク健康政 策学部 准教授 平29.4	5日
41	兼担	准教授	サトウ クニマサ 佐藤 国正 <平成24年4月>	修士 (体育 科学)	学部キャリアセミナーI	2後	2	2	スポーツ健康政 策学部 准教授 平24.4	5日
					学部キャリアセミナーⅡ	3前	2	2	+24. 4	
					スポーツ哲学	2後	2	1		
					バレーボール	1前・ 後	1	2		
					ネット型球技指導法・コーチング 論	3前	2	1		
42	兼担	准教授	タカセ タケシ 髙瀬 武志 <平成26年4月>	体育学 修士	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	法学部 准教授 (平26.4)	5日
					剣道	1前	1	1		
					武道指導法・コーチング 論	3前	2	1		
					体育実技 I	1前	1	1		
					体育実技Ⅱ アスリートの科学	1後	1 2	1 1		
					アスリートの科字 アスリートキャリア	1前 1後	2 2	1		
					アスリート・クロス	2前	2	1		
					リーダーシップ教育 ライフスキル	2前 2後	2 2	1 1		
43	兼担	准教授	サイトウ レイ 齋藤 れい <平成31年4月>	博士 (ス ポーツ	ビジネスの科学	2夜	2	2	スポーツ健康政 策学部 准教授	5日
			< 平成31年4月 ≥	科学)					(平31.4)	
					スポーツ施設・用具論 スポーツマーケティング論	1後 2前	2 2	1 1		
					マーケティング各論	1後	2	1		
					アントレプレナーシップ	1前	2	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					マーケティング・リサーチ 現代ビジネス論	2前 2後	2 2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
44	兼担	准教授	キムラ カズヒロ 木村 和宏 <平成20年4月>	修士 (体育 科学)	パスケットボール	1前・後	1	2	スポーツ健康政 策学部 准教授 平20.4	5日
					ゴール型球技指導法・コーチング 論	3後	2	1		
45	兼担	准教授	ウエハタ ヨウスケ 上畠 洋佑 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	異文化の科学	1前	2	1	教育研究開発機 構 准教授 (令和3.4)	5日
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					異文化リサーチ	2前	2	1		
					フード文化論 若者文化論	2後 2後	2 2	1 1		
					右有又化端 分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
				L	ことばのスキル	1後	2	1	<u>                                      </u>	
46	兼担	講師	オガサワラ カズアキ 小笠原 一彰 <平成7年4月>	修士 (教育 学)	水泳	1 前· 後	1	2	スポーツ健康政策学部講師	5日
					水泳指導法・コーチング				平7.4	
					論	3後	2	1		
					コーチング学	3後	2	1	教育研究開発機	
47	兼担	講師	ミゾグチ ユウ 溝口 侑 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	桐蔭スキルゲート	1前	2	1	教育研究開発機構 講師 (令和3.4)	5日
					データコミュニケーション入門	1後	2	1		
					心の科学	1前	2	2		
					こころの世界 青年と心理学	1前 1・2後	2 2	1		
					集団と心理学	2前	1	1		
					意思決定と心理学	2後	2	1		
					自己調整と心理学 プロジェクト入門	2後 1後	1 2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
48	兼担	講師	マツイ シンサク 松井 晋作 <令和3年4月>	修士 (文 学)	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	教育研究開発機構 講師 (令和3.4)	5日
					地域の科学	1前	2	2	(1) 449.47	
					サステナブル社会学	1後		1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					横浜地域学 実践地域創成学	2後 2後	2 2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		

					_		•	•		
49	兼担	講師	シバヤマ ナオユキ 柴山 直之 <令和3年4月>	博士 (工 学)	地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 講師 (令和3.4)	5日
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
50	兼担	講師	ミネノ コウスケ 峰野 宏祐 <令和4年4月>	修士 (教育 学)	数学概論 I	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 令4.4	5日
					数学概論Ⅱ	2前	2	1	714.4	
51	兼担	講師	オヤマ ユウスケ 尾山 裕介 <平成30年4月>	博士 (学 術)	評価測定学 (実習を含む)	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 平30.4	5日
52	兼担	講師	キハラ ヨウイチ 木原 洋一 <平成20年4月>	修士 (体育 学) 修士 (教育 学)	スポーツ教育学	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 平20.4	5日
					保健体育授業演習 I 保健体育授業演習 II 保健体育授業演習Ⅲ	2後 3前 3後	0.7 2 2	1 1 1		
53	兼担	助教	アサオカ ケイタ 浅岡 慶太 <平成13年4月>	修士 (法 学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	1	法学部 助教 (平13.4)	5日
					英語コミュニケーションVII 英語コミュニケーションVII	4前 4後	2 2	2 2		
54	兼担	助教	オオツジ コウタ 大辻 康太 <平成31年4月>	修士 (教育 学)	体育実技 I	1前	1	1	法学部 助教 (平31.4)	5日
			. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1,	体育実技Ⅱ	1後	1	1	( )/	
55	兼任	客員 教授	オオイシ ススム 大石 進 <令和2年4月>	体育学士	運動部活動論	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 客員教授 令2.4	
56	兼任	客員 教授	ョシハラ ショウコ 吉原 晶子 <平成29年4月>	学士 (教育 学)	特別活動・総合的な学習 の時間指導法	3後	2	1	桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)	
57	兼任	講師	スダ カズヒト 須田 和人 <平成26年4月>	修士 (体育 学)	大学スポーツ論	1前	2	1	一般社団法人 菜の花AC 理事 長 (令2.10)	
58	兼任	講師	フジモト ケンタロ ウ 藤本 健太朗 <令和3年4月>	博士 (文学)	英語コミュニケーションI	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
				学士	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	ファブリス株式	
59	兼任	講師	スズキ シンジ 鈴木 眞二 <令和4年4月>	(フラ ンス文 学)	英語コミュニケーションI	1前	2	6	会社 代表取締役 (平18.11)	
60	兼任	講師	カガミ ナオコ 加賀美 直子 <令和4年4月>	学士 (外国 文化)	英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション I	1後	2	2	自営業	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
					英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	2前 2後	2 2	1		
61	兼任	講師	ヒガシヤマ シホ 東山 志帆 <令和4年4月>	修士 (学 術)	英語コミュニケーションI	1前	2	6	湘南工科大学付 属高等学校 講師 (令2.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		
62	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子 <令和4年4月>	修士 (教育 学)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	学校法人河合塾 英語科 (平成4.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
63	兼任	講師	ラミレス <sup>*</sup> フランシン クロエ <令和4年4月>	MA English and British Literat ure	英語コミュニケーションI	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)	
				ai 6	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
64	兼任	講師	マークス ケビン ダグラス <令和4年4月>	Master of Arts in TESOL	英語コミュニケーション【	1前	2	7	San Diego State University, California English Teacher (平31.4-令3.12)	
		-			英語コミュニケーションⅡ	1後	2	7		
65	兼任	講師	デ <sup>*</sup> シイン シ <sup>*</sup> ュリー ヴ ィー マ ノンソン <令和4年4月>	Masters in Education with specializa tion in English	英語コミュニケーション【	1前	2	2	ISA English Teacher (平31.3)	
				Language	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		

66	兼任	講師	ストークス ジ゛エームス゛ ブ゛ラツ ト゛リー <令和4年4月>	Master of Arts (TESOL	英語コミュニケーション I	1前	2	2	東京モード学園 講師 (令3.3)
				,	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
67	兼任	講師	スズキ ナギ 鈴木 凪 <令和4年4月>	Master of Arts in Chemist	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス
				ry	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
68	兼任	講師	アーネット ダニエル ジェーム ズ <令和4年4月>	MA in Educatio n	英語コミュニケーションI	1前	2	5	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	5	
69	兼任	講師	グラール クリストファー マイケー ル <令和4年4月>	Masters degree in Applied language studies for TESOL	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Kanda Institute of Foreign Languages Instructor (平27.4)
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	(   211 2)
70	兼任	講師	カーン ファイゾース* <令和4年4月>	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine) PGCert. (An atomical Sciences)	英語コミュニケーション 1	1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
					英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	2前 2後	2 2	1	
71	兼任	講師	タカダ ハルノリ 高田 明宣 <平成26年4月>	博士 (学術)	倫理学 I	1前	2	1	TAC(株)公務員 試験講座 講師 (平20.10)
			1,7%== 1, 2, 4 :		倫理学Ⅱ	1後	2	1	( ) = 11 = 17
					哲学 I 哲学Ⅱ	1前 1後	2 2	1 1	
					岩子Ⅱ	11友		1	
72	兼任	講師	ヤマグチ アキコ 山口 晶子 <平成30年4月>	修士 (教育 学)	社会学	1前	2	1	東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)
					教育社会論(学校安全を含む)	2前	2	1	
73	兼任	講師	アスマ カズタカ 飛鳥馬 一峰 <令和3年4月>	博士 (史学)	西洋史概論	1前	2	1	中央大学人文科学 研究所客員研究員 (平31.4) 東洋大学人間科学 研究所 客員研究 員(平26.4)
74	兼任	講師	タナカ ヒロシ 田中 比呂志 <平成29年4月>	博士 (社会 学)	東洋史概論	1後	2	1	東京学芸大学 教授 (平21.4)
75	兼任	講師	カミタ セイジ 上田 誠二 <平成30年4月>	博士 (史学)	日本史概論	1後	2	1	日本女子大学 准教授 (令2.4)
76	兼任	講師	カワゾエ ワタル 川添 航 <令和2年4月>	博士 (理 学)	地理学概論	1後	2	1	立正大学 助教 令4.4
77	兼任	講師	キシ 岸 エヴェリン <令和3年4月>	博士 (人文 学)	ドイツ語 I	1前	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 令3.4
			1717		ドイツ語 Ⅱ ドイツ語 Ⅲ ドイツ語 Ⅳ	1後 2前 2後	2 2 2	1 1 1	,,,,,,
78	兼任	講師	シロイシ アツコ 城石 敦子 <平成27年4月>	修士 (フランス文 学)	フランス語I	1前	2	1	日本女子大学附 属高等学校 非常勤講師 (平26.4)
					フランス語Ⅲ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	1後 2前 2後	2 2 2	1 1 1	
79	兼任	講師	サトウ ヤスヒデ 佐藤 康秀 <平成27年4月>	音声学修士	日本語 I A	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 主任講師
					日本語ⅡA 日本語ⅢA	1前 1後	2 2	1 1	(平15.4)
80	兼任	講師	イワツキ エミコ 岩附 英美子 <平成27年4月>	経済学士	日本語IB	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 代表取締役 (平15.4)
					日本語 <b>Ⅱ</b> B 日本語 <b>Ⅲ</b> B	1前 1後	2 2	1 1	(   10. 1)

			1		1					1
81	兼任	講師	オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 <令和4年4月>	修士 (体育 学)	ボディーワーク I	1 前・ 後	1	2	日本Gボール協 会 (平22.4)	
					ボディーワークⅡ (体操:体つくり運動、 集団行動)	1前	1	2		
82	兼任	講師	ワタヌキ ヨシノリ 綿貫 慶徳 <令和3年4月>	博士 (体育 科学)	生涯スポーツ論	1後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
83	兼任	講師	ゴトウ ヨウイチ 後藤 洋一 <平成20年4月>	体育学 修士	器械運動  が対象とは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	1前· 後 3後	1 2	4	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平20.4)	
84	兼任	講師	ヤハギ ノブユキ 矢作 信行 <平成29年4月>	修士 (学術)	道徳教育指導論	2前	2	1	帝京平成大学 教授 (令2.4)	
85	兼任	講師	マエダ ヨシヒト 前田 善仁 <平成30年4月>	修士 (教育 学)	生徒指導論	3前	2	1	東海大学 教授 (平26.4)	
86	兼任	講師	イケダ アツコ 池田 敦子 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	特別支援教育指導論	2後	2	1	東海学院大学 教授 (令2.4)	
87	兼任	講師	オオツキ シゲヒサ 大槻 茂久 <平成25年4月>	修士 (体育 学)	サッカー	2前・ 後	1	3	日本体育大学 サッカー部監督 令3.4	
88	兼任	講師	ョネチ トオル 米地 徹 <平成26年4月>	修士 (体育 学)	ラグビー	2前	1	1	日本体育大学 教授 平26.4	
89	兼任	講師	カナモリ ジュン 金森 純 <平成29年4月>	修士 (体育 学)	ソフトボール・野球	2前	1	1	神奈川工科大学 非常勤講師 (平23.4)	
					ベースボール型球技指導 法・コーチング論	3前	2	2		
90	兼任	講師	イソベ カオル 磯辺 薫 <令和2年4月>	修士 (体育 学)	テニス	2 前• 後	1	2	フリーランス	
91	兼任	講師	フルカワ アキヤ 古川 暁也 <平成22年4月>	体育学 修士	バドミントン	2 前・ 後	1	3	日本体育大学 教授 (平18.4)	
92	兼任	講師	マスダ ケイコ 増田 敬子 <平成22年4月>	学士 (体育 学)	エアロビクス (実習を含 む)	3前	1	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平22.4)	
					体つくり運動指導法 ストレッチング論 (実習 を含む)	3後 1後	2 2	1 1		

<sup>1</sup> 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

			教		員		の 氏		名	7	等	
(ス:	ポーツ健	康政策	学部スポーツ健康	<b>汝策学</b>	料(旧)	)						
調書番号	専任等 区分	職位	<sup>フリガナ</sup> 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)		配当年次	担当单位数		現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授 (学科 長)	ヒビノ ノブコ 日比野 暢子 <平成25年4月>		博士 (ス ポーツ政策 学・スポー ツマネジメ ント学)		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平25.4)	5日
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	3後 4前 4後 4通	2 2 2 4	1 1 1 1		
							インターンシップ実習 I インターンシップ実習 II 国際コミュニケーション実習 I 国際コミュニケーション実習 II	1前 1前 1前 1前	2 2 4 4	1 1 1		
							国際コミュニケーション実習Ⅲ 障害者スポーツ論 メ化・スポーツンエクト研究 メ化・スポーツプロンエクト研究 メ化・スポーツプロンエクト研究 メ化・スポーツプロンエクト研究	1前 2後 1後 1後 2後	4 2 1 1 2	1 1 1 1		
							メ化・スホーツ リロシェクト研究 れていな策論 スポーツと政治 国際交流論	2後 2前 2後 2後	2 2 2 2	1 1 1 1		
					16.1		インクルーシブスポーツ論 障害概論(実習を含む) 地域スポーツ経営論	2前 2前 3前	2 2 2	1 1 1	スポーツ健康政	
2	専	教授	ナミキ コウイチ 並木 浩一 <平成24年4月>		博士 (学 術)		視覚文化論	1前 1前・	2	1	策学部 教授 (平24.4)	5日
							MAST特別実習 MAST特別講義	後 1前・ 後	2	2		
							ウェブ・コミュニケーション ビジネスアイデアデザイン	2前 2後	2 2	1		
							ファッション文化論 広告論	2前 2後	2 2	1		
							映画・映像論	2前	2	1		
							日本文化表現活動 専門演習 I	1後 3前	2 2	1		
							専門演習Ⅱ	3後 4前	2 2	1		
							専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4削	2	1 1		
							卒業研究	4通	4	1	スポーツ健康政	
3	専	教授	カタヤマ フミョ 片山 富美代 <平成16年7月>		博士 (学 術)		健康と心理学	1前	2	1	策学部 教授 (平16.7)	5日
							心理学 集団と心理学	1前 2前	2	1		
							幸せと心理学 意思決定と心理学	2前 2後	2 2	1 1		
							自己調整と心理学	2後	1	1		
							身体の仕組みと働き ヘルスプロモーション論	1後 2前	2 2	1		
							救急処置論 (実習を含む)	1後	2	1		
							専門演習 I 専門演習 II	3前 3後	2 2	1 1		
							専門演習Ⅲ	4前	2	1		
L							専門演習Ⅳ 卒業研究	4後 4通	2 4	1 1		
4	専	教授	イマイズミ タカユキ 今泉 隆之 <平成20年4月>		修士 (文 学)		宗教学概論	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平20.4)	5日
							文学Ⅱ 身体と文化	1後 1前	2 2	1 1		
							スポーツ史	1前	2	1		
							日本伝統の身体表現 日本文化論	2前 2後	2 2	1 1		
							専門演習 I	3前	2	1		
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1 1		
							専門演習Ⅳ	4後	2	1		
							卒業研究 公務員演習 I (1)(2)	4通 2後	4 4	1 1		
							公務員演習Ⅱ(1)(2) 公務員演習Ⅲ(1)(2) 公務員演習Ⅲ(1)(2)	3前 3後	4 4	1 1		

5   平   数校   大・グチ・マスヒロ   医子博   上・グチ・マスヒロ   医子博   接近   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	5	The state of		わしが手 ヤフレロ						スポーツ健康政	
本学校30年4月   本学校30年4	Э		±4+407		医学博	中田 223 1	0.24	0	1		F 17
中国政策   1   1   1   1   1   1   1   1   1		导	教授			専門演省 1	3月1	2	1		5日
中国保護日   1	1 '			. 1 ///		専門溶翌Ⅱ	3径	9	1	(半30.4)	
本業研究   20											
生理学   1後 2   1   技術 2   1   対抗 2   1   対											
本語習慣病論   1歳 2 1 1											
・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・						生活習慣病論	1後	2	1		
選動療法議習   3前 2 1											
本											
日				フクウラ カズオ	博士						
中国議習日   中国議定人間   上記   中国議定人間   上記   上記   上記   上記   上記   上記   上記   上	6	専	准教授	福浦 一男	(文	専門演習 I	3前	2	1		5日
本門院習目 専門院習目 現代社会とスポーツ 文化と政策 現代社会と人間 受験之人間 を発売の料学 (元 京都 れい マーケティング・リサーシップ プロジェクトス門 マーケティング・リサーシップ プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング プロジェクトス門 マーケティング・リサーシング フロジェクトス門 マーケティング・リサーシング フロジェクトス門 マーケティング・リサーシング フロジェクトス門 フロジェクトス門 マーケアイング・リサーシング フロジェクトスア フロジェクトスア フロジェクトスア フロジェクトスア フログェクトスア フログェクトスア フログェクトスア フログェクトスア フログェクトアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ フログーケアングラ フログーケアングラ フログーケアングラ フログーケアングラ フログーケアングラ コースボーツ健康 フログーケアングラ フログーケアング				<平成29年4月>	学)						
中国流習											
本学研究   現代社会とスポーツ   1前 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1											
東   東   東   東   東   東   東   東   東   東						卒業研究		4			
中   推教授   サイトウ レイ											
博士											
7     専     准教授     需様 れい マ平成31年4月>     1歳 2 1 平少トアレナレナーシップ プロジェクト入門 マーケティング・リサーチ 選所、日本・アントンスが、リサーチ 現代ビジネス論 分野棚間型プロジェクト スポーツを設・別月論 NPOマネジメント 専門議習日 4歳 2 1 専門議習日 4歳 2 1 専門業習日 1 1 1 2 2 1 スポーツ健康政 東学部 イモがとオーリアセミナー日 2歳 2 2 2 スポーツ健康政 東学部 イモ・アクトドア実習日 アクトドア実習日 7 マルーポール 7クトドア実習日 7 マトトアリを発音日 3歳 2 1 専門議習日 4歳 2 1 専門業習日 4歳 2 1 マルーポール 7クトドア実習日 7 マトトアリアをデータ 1 1歳 2 1 マート・アクトドア実習日 7 マトトアリアをデータ 3歳 2 1 専門議習日 4歳 2 1 マート・アクトドア実習日 7 マトトアリアをデータ 3歳 2 1 専門議習日 4歳 2 1 マート・アクトドア実習日 7 マトトアリアをデータ 1 1歳 2 1 マート・アクトドア実習日 7 マート・アクトア 3歳 2 1 専門議習日 3歳 2 1 専門議習日 3歳 2 1 専門議習日 4歳 2 1 マート・アクトドア実習日 7 マート・アクトドア実習日 8 マート・アクトドア実習日 7 マート・アクトドア実習日 8 マート・アクトアリアをデータ 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				サイトウ レイ		1102 = 7.11					
本が中ワラ カズアキ   修士   大が中ワラ カズアキ   修士   大が中のラ カズアキ   修士   大が中ワラ カズアキ   修士   大が中のラ カズアキ   修士   大が中の方 大が中が中の 大が中の 大が中の 大が中の 大が中の 大が中の 大が中の 大が	7	専	准教授			ビジネスの科学	1前	2	2		5日
本の				<平成31年4月>							
Part											
マーケティング・リサーチ 2前 2 1   2   2									-		
現代にジネス論 分野機師型プロジェクト スポーツマーケティング論 NPOマネジメント スポーツマネジメント コ									_		
A ボーツ施設・用具論   1後 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1						現代ビジネス論	2後	2			
8 専   准教授											
本ガサワラ カズアキ   修士   スポーツマネジメント論 専門演習   2前 2 1 日								1			
8     専門後習目 専門後習II 専門後習IV を薬研究     3前 2 1 申門後習IV 4後 2 1 平産業研究     スポーツ健康政 策学部 准教授 (平24.4)       8     専門後習IV 4後 2 1 を禁事ので     大ポーツ健康政 策学部 (本教授 (平24.4)       8     専門後習IV 4億 2 1 アウトア東習I アウトア東習I アウトア東習I アウトア東習I アウトア東習I カット型球技術達は・コーチング 論 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II 専門後習II キャルので     1     2       オガサワラ カズアキ     修士     1     スポーツ健康政 策学如									1		
8     専門演習II 専門演習II 専門演習II 場所 2 1 中門演習IV 4機 2 1 中門演習IV 4機 2 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 中 2 1 1 1 1								1	-		
8     専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 佐藤 国正 《平成24年4月》     4前 後士 (体育 《平元24年4月》     2 4適 4億 2 4適 4 40 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2											
8     専     准教授     (体育 経験授 国正 < 平成24年4月 > (体育 科学)     学部キャリアセミナーI 2後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						専門演習Ⅲ	4前	2	1		
8     専     准教授     サトウ クニマサ 佐藤 国正 (体育 科学)     学部キャリアセミナーI 2後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 3 2 3 2	1										
8     専     准教授     佐藤 国正 (体育 科学)     学部キャリアセミナーI 3前 2 2 2 1 1 前・ 2				サトウ カーラユ	版上	1 259774				スポーツ健康政	
本が中のラーカズアキ   修士   本が中のラーカズアキ   修士   本が中のラーカズアキ   修士   本が中のラーカズアキ   修士   本が中のラーカズアキ   修士   本の中の一部	8	専	准教授			学部キャリアセミナー I	2後	2	2		5日
学部キャリアセミナーII 3前 2 2 1 1		•									•
パレーボール   1前・						学部キャリアセミナーⅡ	3前	2	2	(   21. 1)	
アウトドア実習 I アウトドア実習 I アウトドア実習 I 1前 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2						スポーツ哲学	2後	2	1		
アウトドア実習 I アウトドア実習 I ネット型球技指導法・コーチング 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I も は 2 1 1 4前 2 1 1 4前 2 1 1 4前 2 1 1 4前 2 1 4前 2 1 4前 2 1 4前 2 1 4前 2 1 4前 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4						バレーボール		1	2		
ネット型球技指導法・コーチング 高 第門演習 I 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I 専門演習 I も I を						アウトドア実習 I		2	1		
論								2	1		
専門演習II     3後     2     1       専門演習II     4前     2     1       専門演習IV     4後     2     1       卒業研究     4適     4     1       オガサワラ カズアキ     修士     1     スポーツ健康政 策や知						論	3 [1]				
専門演習Ⅲ     4前     2     1       専門演習Ⅳ     4後     2     1       卒業研究     4通     4     1       オガサワラ カズアキ     修士     1     スポーツ健康政 策や知											
専門演習IV     4後     2     1       卒業研究     4通     4     1       オガサワラ カズアキ     修士     1     スポーツ健康政 策や如											
オガサワラ カズアキ 修士 1 スポーツ健康政						専門演習IV	4後	2	1		
オガサワラ カズアキ   修士   修士   1   第学班	<del>                                     </del>					卒業研究		4	1	スポーツ健康政	
	9	専	講師	オガサワラ カズアキ 小笠原 一彰	修士 (教育	水泳	1 前・	1	2	策学部	5日
9   中   神神   小立原 一彰   (教育     水/水   削・ 1   2   講師   (平7.4)	ð	-4-	마바다			/N/N		1			VН
						水泳指導法・コーチング	0///		,	(十1.4)	
論						論					
コーチング学 3後 2 1 mmiggI 3 2 1 mmiggI 2 1 mmiggI 2 1 mmiggI 2 1 mmiggI 2 mmig											
専門演習Ⅱ 3後 2 1						専門演習Ⅱ		2	1		
専門演習皿 4前 2 1											
専門演習IV     4後     2     1       卒業研究     4通     4     1											
オヤー コウスケ 博士 スポーツ健康政				オヤマ ユウスケ	博士						
10   専   講師   尾山 裕介   (学   専門演習I   3前 2   1   東字部   3465   5日	10	専	講師	尾山 裕介	(学	専門演習 I	3前	2	1		5日
(平30.4)				<平成30年4月>	術)						
専門演習I   3後 2   1											
専門演習Ⅲ 4前 2 1   専門演習IV 4後 2 1											
卒業研究 4通 4 1						卒業研究	4通	4	1		
評価測定学 (実習を含む) 3前 2 1											
ホスピタリティ論 2後 2 1						ホスピタリティ論 社会福祉概論	2後	2 2	1		
	<u> </u>					健康運動現場実習	3前	1	1	- 10 · · · · · · · · · ·	
健康運動現場実習 3前 1 1	1 '			カワサキ ケンゾウ	<b>库学</b> 捕						
健康運動現場実習 3前 1 1   カワサキ ケンゾウ   反応    カワサキ ケンゾウ   反応    ロスポーツ(健康政	, ,	兼担	教授	河崎 賢三		発育発達老化論	1後	2	1	教授	5日
11     兼担     教授     カワサキ ケンゾウ 河崎 賢三 七     医学博 士     発育発達老化論 1後 2 1     スポーツ健康政 策学部 教授	11										
11   兼担   教授   カワサキ ケンゾウ   万明 賢三   マ平成16年4月 >   下学博士   アイス   ア	11			△十八八10年4月>		- 12 W- M	0.34			(平16.4)	
11     兼担     教授     カワサキ ケンゾウ 河崎 賢三 七     医学博 士     発育発達老化論 1後 2 1     スポーツ健康政 策学部 教授	11			<十成10年4万>						(平16.4)	

12	兼担	教授 (学部 長)	ョシタカ ユキハル 吉鷹 幸春 <平成7年4月>	体育学修士	柔道	1前	1	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平7.4)	5日
					武道指導法・コーチング論	3前	2	1	(71.4)	
13	兼担	教授	ハヤシダ ハルミ 林田 はるみ <平成30年4月>	博士 (ス ポーツ 科学)	地域における健康課題	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平30.4)	5日
				147-)	ダンス ダンス指導法・コーチング論	1後 3後	1 2	1	(+30.4)	
					コミュニティ・ファシリテーショ ン	1後	2	1		
					地域政治論	2前	2	1		
				Latt 1	地域観光事業論	2前	2	1	7 18 Whter	
14	兼担	教授	ナリタ タカヤ 成田 崇矢 <平成24年4月>	博士 (ス ポーツ 科学)	機能解剖学 I	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平24.4)	5日
15	兼担	教授	ウエタ トモコ 殖田 知子 <平成26年4月>	修士 (経営 学)	統計入門	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平26.4)	5日
					栄養学	2前	2	1	(   20. 4)	
					評価測定学 (実習を含む)	3前	2	1		
16	兼担	教授	サクライ トモノブ 櫻井 智野風 <平成26年4月>	博士 (運動 生理 学)	トレーニング論(実習を含む)	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平26.4)	5日
				• /	運動生理学	2前	2	1	(   === =)	
17	兼担	教授	ホシ アキオ 星 秋夫 <平成20年4月>	医学博士	衛生学・公衆衛生学	1後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平20.4)	5日
					健康教育学	2前	2	1	(   201 1)	
18	兼担	教授	ハラ チサコ 原 千砂子 <平成5年4月>	法学修士	英語コミュニケーションI	1前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
			アベ ケンジ		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	法学部	
19	兼担	教授	阿部 憲二 <平成14年9月>	教育学博士	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前 1後	2	3	後子部 教授 (平14.9)	5日
					英語コミュニケーションV 英語コミュニケーションVI	3前3後	2 2	1		
20	兼担	教授	カツマタ ヒロフミ 勝亦 啓文 <平成17年4月>	法学修士	法学	1前	2	1	法学部 教授 (平17.4)	5日
21	兼担	教授	デグチ ユウイチ 出口 雄一 <平成16年4月>	博士 (法 学)	歴史学 I	1前	2	1	法学部 教授 (平16.4)	5日
					歴史学Ⅱ	1前	2	1	スポーツ健康政	
22	兼担	教授	シブクラ タカユキ 澁倉 崇行 <令和5年4月>	博士 (心理 学)	スポーツ心理学	2前	2	1	策学部 教授 (平26.4)	5日
23	兼担	教授	カトウ トモオ 加藤 知生 <平成21年4月>	体育学士	リハビリテーション論	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平21.4)	5日
24	兼担	教授	ナカノ ヒデユキ 中野 英之 <平成31年4月>	博士 (地球 環境科 学)	地球と環境	1・2 前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平31.4)	5日
					自然科学	1後	2	1		
25	兼担	教授	タニモト ナオミ 谷本 直美 <平成21年4月>	教育学修士	教育実習 (中学校)	4前	4	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平21.4)	5日
					教育実習 (高校)	4前	2	1	(181.1)	
					学校体験実習(中・高)	2前	1	1		
					事前・事後指導(中・高) 教職実践演習(中・高)	4前 4前	1 2	1 1		
26	兼担	教授	マス ノブオ 升 信夫 <平成9年4月>	法学博士	持続可能な開発と法	1・2	2	1	法学部 教授 (平9.4)	5日
27	兼担	教授	タケダ ヨシコ 武田 佳子 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	ソーシャル・コミュニケーション	1後	2	1	教育研究開発機 構 教授 (令和3.4)	5日
28	兼担	教授	カン ネイ 韓 寧 <平成19年4月>	博士 (法 学)	中国語コミュニケーション1	1前	1	1	法学部 教授 (平19.4)	5日
					中国語コミュニケーション2	1後	1	1		
					中国語コミュニケーション3 中国語コミュニケーション4	2前 2後	1 1	1 1		
		ı	. 1	1 1		- KX			1 !	

					_		•			
29	兼担	教授	ミヤヅ タイゾウ 宮津 大蔵 <平成21年4月>	教育学士	文学 I	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授	5日
			,,,,		社会貢献論	1後	2	1	(平21.4)	
					サービスラーニング実習 I	1前	2	1		
					サービスラーニング実習 Ⅱ	1前	2	1		
30	兼担	教授	サトウ ユタカ 佐藤 豊 <平成28年1月>	教育学 修士	教師論	1前	2	1	スポーツ健康政策学部教授	5日
			.,,,		ICT活用スキルの理論と 実際 保健科教育法	3前2後	2	1	(平28. 1)	
31	兼担	教授	オカダ トシエ 岡田 俊恵 <平成17年4月>	文学修士	言語文化論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平17.4)	5日
					表現とコミュニケーション	1後	2	1	(   11. 1)	
					英語 I	1前	2	1		
					英語Ⅱ 英語Ⅲ	1後 2前	2 2	1 1		
					英語IV	2後	2	1	スポーツ健康政	
32	兼担	教授	カメオカ セイロウ 亀岡 聖朗 <平成31年4月>	博士 (心理 学)	教育心理学	1後	2	1	策学部 教授 (平31.4)	5日
			イケガミ マサシ	博士	教育相談・キャリア教育指導論	2後	2	1	医用工学部	
33	兼担	教授	池上 和志 <平成18年4月>	(理学)	地球環境の科学	1前	0.7	1	教授 (平18.4)	5日
			\   MAIOTIN		科学技術の未来 プロジェクト入門	1後	2 2	1	(   10. 1/	
					プロジェクト人門	1後	2	1		
34	兼担	教授	ミヤサカ ツトム 宮坂 力 <平成13年12月>	工学博士	地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授 (平13.12)	5日
35	兼担	准教授	コヤマ ケイジ 小山 桂二 <平成24年4月>	博士 (ス ポーツ 健康科 学)	スポーツバイオメカニクス	2後	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平24.4)	5日
				17	陸上競技指導法・コーチ	3後	2	1		
					ング論評価測定学(実習を含	3前	2	1		
36	兼担	准教授	ヒロセ タツロウ 廣瀬 立朗 <平成21年4月>	博士 (学 術)	む) 陸上競技	1前・ 後	1	2	スポーツ健康政 策学部 准教授	5日
37	兼担	准教授	クリヤマ ユタカ 栗山 裕 <平成3年4月>	学術博士	デジタル産業論	1後	2	1	(平21.4) スポーツ健康政 策学部 教授	5日
			V   MAG   1512		情報リテラシー I (情報機器の操作)	1前	2	1	(平3.4)	
			キムラ カズヒロ	修士	スポーツ情報処理論	2後	2	1	スポーツ健康政	
38	兼担	准教授	キムラ ガスピロ 木村 和宏 <平成20年4月>	(体育)科学)	パスケットボール	1前・ 後	1	2	策学部 准教授 (平20.4)	5日
					ゴール型球技指導法・コーチング 論	3後	2	1		
39	兼担	准教授	ナガハマ ヒロフミ 長濱 博文 <平成29年4月>	博士 (教育 学)	教育原理・教育課程論	2前	2	1	法学部 准教授 (平29.4)	5日
40	兼担	准教授	シミズ ユウ 清水 由 <令和3年4月>	修士 (体育 学)	体育科教育法	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (令3.4)	5日
41	兼担	准教授	イ ヒスン 李 禧承 <平成24年4月>	博士 (教育 学)	韓国語コミュニケーション1	1前	1	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平24.4)	5日
					韓国語コミュニケーション2	1後 2前	1 1	1 1		
					韓国語コミュニケーション3 韓国語コミュニケーション4	2後	1	1		
					教育学 教育方法論	1前 2後	2 2	1 1		
					ICT活用スキルの理論と	3前	2	1		
42	兼担	准教授	ヒロカワ ミツシ 廣川 充志 <平成18年4月>	修士 (体育 学)	実際	1前	1	1	スポーツ健康政 策学部 准教授	5日
			> 「 PX10十4万 / 」	7)	運動処方論	1後	2	1	(平18.4)	
					武道指導法・コーチング	3前	2	1		
ш		l			論	<u> </u>	L	l		

		1			1	1		1	ı	N. M. don	
43	兼担	准教授	タカセ タケシ 髙瀬 武志	体育:		桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	法学部 准教授	5日
			<平成26年4月>			体育実技 I	1前	1	1	(平26.4)	
						体育実技Ⅱ 剣道	1後 1前	1 1	1 1		
						武道指導法・コーチング論 アスリートの科学	3前 1前	2 2	1 1		
						アスリートキャリア	1後	2	1		
						アスリート・クロス リーダーシップ教育	2前 2前	2 2	1 1		
						ッーターンック教育 ライフスキル	2後	2	1		
44	兼担	准教授	イグチ ナリアキ 井口 成明 <平成30年4月>	スポ ツ科: 修士	学	学校保健・学校安全	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平30.4)	5日
45	兼担	准教授	ウエハタ ヨウスケ 上畠 洋佑 <令和3年4月>	修士 (教 学)		異文化の科学	1前	2	1	教育研究開発機構 准教授 (令和3.4)	5日
						プロジェクト入門	1後	2	1	,,,,,,	
						異文化リサーチ	2前	2	1		
						フード文化論 若者文化論	2後 2後	2 2	1		
						分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
						ことばのスキル	1後	2	1	*/	
46	兼担	講師	ミゾグチ ユウ 溝口 侑 <令和3年4月>	修士 (教 学)		桐蔭スキルゲート	1前	2	1	教育研究開発機 構 講師 (令和3.4)	5日
						データコミュニケーション入門	1後	2	1		
						心の科学 こころの世界	1前 1前	2 2	2		
						青年と心理学	1・2後	2	1		
						集団と心理学 意思決定と心理学	2前 2後	1 2	1		
						自己調整と心理学	2後	1	1		
						プロジェクト入門 分野横断型プロジェクト	1後 2後	2	1		
47	兼担	講師	マツイ シンサク 松井 晋作 <令和3年4月>	修士 (文 学)		桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	教育研究開発機構調師	5日
						地域の科学	1前	2	2	(令和3.4)	
						サステナブル社会学	1後	2	1		
						プロジェクト入門 横浜地域学	1後 2後	2 2	1 1		
						実践地域創成学	2後	2	1		
					_	分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
48	兼担	講師	シバヤマ ナオユキ 柴山 直之 <令和3年4月>	博士 (I 学)		地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 講師 (令和3.4)	5日
				修士		分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
49	兼担	講師	キハラ ヨウイチ 木原 洋一 <平成20年4月>	(体) 学) 修士 (教) 学)	育	スポーツ教育学	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 (平20.4)	5日
50	兼担	講師	オカモト ダイ 岡本 大 <平成20年4月>	修士 ( 道・ ポー ツ)	z	ゴール型球技指導法・コーチング 論	3後	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 (平20.4)	5日
51	兼担	講師	ミネノ コウスケ 峰野 宏祐 <令和4年4月>	修士 (教 学)		数学概論 I	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 (令4.4)	5日
			アサオカ ケイタ	修士		数学概論Ⅱ	2前	2	1	<i>注△☆□</i>	
52	兼担	助教	ドサオカ ゲイタ 浅岡 慶太 <平成13年4月>	修士 (注 学)		英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	1	法学部 助教 (平13.4)	5日
						英語コミュニケーションⅦ	4前	2	2		
			オオツジ コウタ	修士		英語コミュニケーションWⅢ	4後	2	2	法学部	
53	兼担	助教	大辻 康太 <平成31年4月>	(教 学)	育	体育実技 I 体育実技Ⅱ	1前 1後	1	1	助教 (平31.4)	5日
54	兼任	客員 教授	ョシハラ ショウコ 吉原 晶子 <平成29年4月>	学士 (教育 学)		特別活動・総合的な学習 の時間指導法	3後	2	1	桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)	
55	兼任	講師	スダ カズヒト 須田 和人 <平成26年4月>	修士 (体) 学)		大学スポーツ論	1前	2	1	一般社団法人 菜の花AC 理事 長 (令2.10)	
56	兼任	講師	フジモト ケンタロ ウ 藤本 健太朗 <令和3年4月>	博士 (文学		英語コミュニケーションI	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
						英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	l	

57	兼任	講師	スズキ シンジ 鈴木 眞二 <令和4年4月>	学士 (フラ ンス文	英語コミュニケーション I	1前	2	6	ファブリス株式 会社 代表取締役	
			< 11/1144471 /	学)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6	(平18.11)	
58	兼任	講師	カガミ ナオコ 加賀美 直子 <令和4年4月>	学士 (外国 文化)	英語コミュニケーション I	1前	2	2	自営業	
			< ¬ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	X1L)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
					英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	2前 2後	2 2	1		
			2.482.14	letr. 1	英語コミュニケーションIV	21X		1	湘南工科大学付	
59	兼任	講師	ヒガシヤマ シホ 東山 志帆 <令和4年4月>	修士 (学 術)	英語コミュニケーション I	1前	2	6	属高等学校 講師 (令2.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		
60	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子 <令和4年4月>	修士 (教育 学)	英語コミュニケーション I	1前	2	1	学校法人河合塾 英語科 (平成4.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
61	兼任	講師	ラミレズ フランシン クロエ <令和4年4月>	MA English and British Literat ure	英語コミュニケーション I	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
62	兼任	講師	マークス ケヒ`ン ダグラス <令和4年4月>	Master of Arts in TESOL	英語コミュニケーションI	1前	2	7	San Diego State University, California English Teacher (平31.4~奇3.12)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	7		
63	兼任	講師	デジイン ジュリー ヴィー マ ノンソン <令和4年4月>	Masters in Education with specializa tion in English	英語コミュニケーション I	1前	2	2	ISA English Teacher (平31.3)	
				Language	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
			ストークス シ゛エームス゛ フ゛ラツ	Master	<b>火</b> 品 - くユーケ フョフ II	112			東京モード学園	
64	兼任	講師		of Arts (TESOL	英語コミュニケーションI	1前	2	2	兼所で、子園 講師 (令3.3)	
				Master	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
65	兼任	講師	スズキ ナギ 鈴木 凪 <令和4年4月>	of Arts in Chemist ry	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
66	兼任	講師	アーネット ゲニエル ジェーム ス゛ <令和4年4月>	MA in Educatio n	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	5	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)	
					英語コミュニケーション 11	1100		5	Kanda	
67	兼任	講師	グラール クリストファー マイケー ル <令和4年4月>	Masters degree in Applied language studies for TESOL	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Institute of Foreign Languages Instructor (平27.4)	
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1		
68	兼任	講師	カーン ファイアーズ <sup>*</sup> <令和4年4月>	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine) PGCert. (An atomical Sciences)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)	
				octences)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
					英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1		
			タカダ ハルノリ		英語コミュニケーションIV	2後	2	1	TAC(株)公務員	
69	兼任	講師	ラガラ バルノリ 高田 明宣 <平成26年4月>	博士 (学術)	倫理学 I	1前	2	1	試験講座 講師 (平20.10)	
					倫理学Ⅱ 哲学 I	1後 1前	2 2	1 1		
					哲学Ⅱ	1後	2	1		
70	兼任	講師	ヤマグチ アキコ 山口 晶子 <平成30年4月>	修士 (教育 学)	社会学	1前	2	1	東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)	
					教育社会論(学校安全を含む)	1前	2	1		
71	兼任	講師	アスマ カズタカ 飛鳥馬 一峰 <令和3年4月>	博士 (史学)	西洋史概論	1前	2	1	中央大学人文科学 研究所客員研究員 (平31.4) 東洋大学人間科学 研究所 客員研究	
									員 (平26.4)	

72	兼任	講師	タナカ ヒロシ 田中 比呂志 <平成29年4月>	博士 (社会 学)	東洋史概論	1後	2	1	東京学芸大学 教授 (平21.4)	
73	兼任	講師	カミタ セイジ 上田 誠二 <平成30年4月>	博士 (史学)	日本史概論	1後	2	1	日本女子大学 准教授 (令2.4)	
74	兼任	講師	カワゾエ ワタル 川添 航 <令和2年4月>	博士(理学)	地理学概論	1後	2	1	立正大学 助教 (令4.4)	
75	兼任	講師	キシ 岸 エヴェリン <令和3年4月>	博士 (人文 学)	ドイツ語 I	1前	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
			. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		ドイツ語 Ⅱ ドイツ語 Ⅲ ドイツ語IV	1後 2前 2後	2 2 2	1 1 1	(1.2.3)	
76	兼任	講師	シロイシ アツコ 城石 敦子 <平成27年4月>	修士 (フランス文 学)	フランス語 I	1前	2	1	日本女子大学附 属高等学校 非常勤講師 (平26.4)	
					フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	1後 2前 2後	2 2 2	1 1 1		
77	兼任	講師	サトウ ヤスヒデ 佐藤 康秀 <平成27年4月>	音声学修士	日本語IA	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 主任講師 (平15.4)	
					日本語ⅡA 日本語ⅢA	1前 1後	2 2	1 1		
78	兼任	講師	イワツキ エミコ 岩附 英美子 <平成27年4月>	経済学士	日本語IB	1前	2	1	神田日本語教育 アカデミー 代表取締役 (平15.4)	
				16-1	日本語Ⅱ B 日本語Ⅲ B	1前 1後	2 2	1 1	1 2 3 4 14	
79	兼任	講師	オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 <令和4年4月>	修士 (体育 学)	ボディーワーク I ボディーワーク Ⅱ	1 前・ 後	1	2	日本Gボール協 会 (平22.4)	
					(体操:体つくり運動、 集団行動)	1前	1	2		
80	兼任	講師	ワタヌキ ヨシノリ 綿貫 慶徳 <令和3年4月>	博士 (体育 科学)	生涯スポーツ論	1後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
					地域社会とスポーツ メディアと社会	2前 2後	2 2	1 1		
81	兼任	講師	ゴトウ ヨウイチ 後藤 洋一 <平成20年4月>	体育学 修士	器械運動	1前・ 後	1	4	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平20.4)	
	1/1-	-44-4-74	トウジマ ヒデオ	修士	が原理期11等広・ゴーノ ・バがあ	3後	2	1	日本年金機構	
82	兼任	講師	東島 日出夫 <令和元年8月>	(法 学)	労働と法 労働安全衛生と法	1前 1後	2	1 1	(平20.4)	
83	兼任	講師	ツボイ ケンイチ 坪井 賢一 <平成25年4月>	学士 (経済 学)	文化と経済	2前	2	1	ダイヤモンド社 取締役兼論説委 員 (平29. 4)	
84	兼任	講師	ヤハギ ノブユキ 矢作 信行 <平成29年4月>	修士 (学術)	道徳教育指導論	2前	2	1	帝京平成大学 教授 (令2.4)	
85	兼任	講師	マエダ ヨシヒト 前田 善仁 <平成30年4月>	修士 (教育 学)	生徒指導論	3前	2	1	東海大学 教授 (平26.4)	
86	兼任	講師	イケダ アツコ 池田 敦子 <令和3年4月>	修士 (教育 学)	特別支援教育指導論	2後	2	1	東海学院大学 教授 (令2.4)	
87	兼任	講師	ババ シンイチロウ 馬場 進一郎 <平成25年4月>	体育学 修士	レクリエーション論	2後	2	1	日本体育大学 教授 (平3.4)	
88	兼任	講師	モギ ヒロコ 茂木 宏子 <令2年4月>	修士 (教育 学)	スポーツジャーナリズム 論	1後	2	1	フリージャーナ リスト (昭61.4)	
89	兼任	講師	カナモリ ジュン 金森 純 <平成29年4月>	修士 (体育 学)	ベースボール型球技指導 法・コーチング論	3前	2	2	神奈川工科大学 非常勤講師 (平23.4)	

90	兼任	講師	マスダ ケイコ 増田 敬子 <平成22年4月>	学士 (体育 学)	エアロビクス (実習を含 む)	3前	1	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平22.4)	
					体つくり運動指導法	3後	2	1		
					ストレッチング論(実習 を含む)	1後	2	1		

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
  2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
  3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

(用紙 日本産業規格A4縦型)

(ス:	ポーツ科	学部ス	教 ポーツ教育学科)		員		の氏		名	7	(用紙   <b>等</b>	1 本産業規格 A 4 紙型)
調書番号		職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称		担 当 単位数	年 間開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授 (学部 長)	ョシタカ ユキハル 吉鷹 幸春 <令和5年4月>		体育学修士		柔道	1前・後	1	2	スポーツ健康政 策学部 教授 (平7.4)	5日
							専門演習 I 専門演習 II	3前 3後	2 2	1	(1.1.2)	
							専門演習Ⅲ	4前	2	1		
							専門演習IV 卒業研究	4後 4通	2 4	1		
							スポーツプロジェクト研究Ⅰ	1前	2	1		
							スポーツプロジェクト研究Ⅱ 武道指導法・コーチング論	1後 3前	2 2	1		
2	専	教授 (学科 長)	タニモト ナオミ 谷本 直美 <令和5年4月>		教育学 修士		専門演習Ⅰ	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平21.4)	5日
							専門演習Ⅱ	3後	2	1	, , ,	
							専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1		
							卒業研究	4通	4	1		
1							学校体験実習(小学校) 学校体験実習(中・高)	2前 2前	1	1		
							学校インターンシップ実習	4前	1	1		
1							音楽概論 教科指導法(音楽)	2前・後 3前・後	2 2	2 2		
							教育実習 (初等)	4前	4	1		
							教育実習(中学校) 教育実習(高校)	4前 4前	4 2	1		
							事前・事後指導 (初等)	4前	1	1		
							事前・事後指導(中・高) 教職実践演習(初等を含む)	4前 4前	1 2	1		
3	専	教授	サトウ ユタカ 佐藤 豊 <令和5年4月>		教育学 修士		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平28.1)	5日
							専門演習Ⅱ	3後	2	1	(   === = /	
							専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1		
							卒業研究	4通	4	1		
							教師論(初等を含む) 教師論	1後 1前	2 2	1		
							ICT活用スキルの理論と	3前	2	1		
							実際(初等を含む) ICT活用スキルの理論と					
							実際	3前	2	1		
							保健科教育法 保健体育授業演習 I	2後 2後	2 0. 7	1		
							保健体育授業演習Ⅱ 保健体育授業演習Ⅲ	3前 3後	2 2	1		
4	専	教授	ミヤヅ タイゾウ 宮津 大蔵 <令和5年4月>		教育学士		専門演習I	3前	2	1	スポーツ健康政策学部 教授	5日
							専門演習Ⅱ	3後	2	1	(平21.4)	
							専門演習Ⅲ	4前	2	1		
							専門演習IV 卒業研究	4後 4通	2 4	1		
							ボランティア論 ボランティア実習	1後 1後	2 2	1 1		
							学科基礎セミナー I	1前	1	1		
							学科基礎セミナーⅡ 人文科学系教科総論	1後 2前	1 1	1		
							国語概論(書写を含む)	3前	1	1		
1							教科指導法(国語)	3後	1	1		
					Laft 1		文章表現論	3前	2	1		
5	専	教授	ナカノ ヒデユキ 中野 英之 <令和5年4月>		博士 (地球 環境科 学)		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平31.4)	5日
							専門演習 Ⅱ 専門演習 Ⅲ	3後 4前	2 2	1		
							専門演習IV	4後	2	1		
							卒業研究 地球と環境	4通 1・2前	4 2	1 1		
							学科基礎セミナー I	1前	1	1		
							学科基礎セミナーⅡ 自然科学系教科総論	1後 2前	1 1	1		
							理科概論	3前	1	1		
							生活概論 教科指導法(理科)	3後 3前	1 1	1		
l	]						教科指導法 (生活)	3後	1	1		

			カメオカ セイロウ	博-	E					スポーツ健康政	
6	専	教授	亀岡 聖朗	(心		専門演習I	3前	2	1	策学部	5日
			<令和5年4月>	学)						教授 (平31.4)	
						専門演習Ⅱ	3後	2	1	(+31.4)	
						専門演習Ⅲ	4前	2	1		
						専門演習Ⅳ	4後	2	1		
						卒業研究	4通	4	1		
						教育心理学(初等を含む)	1後	2	1		
						教育心理学	1後	2	1		
						教育相談・キャリア教育指導論 (初等を含む)	2前	2	1		
						教育相談・キャリア教育指導論	2後	2	1		
						2AB 1000 1 1 2 2 2AB 10 THIS	D EX			スポーツ健康政	
_		+/ Las	オカダ トシエ	文学	修					策学部	
7	専	教授	岡田 俊恵	1		言語文化論	1・2前	2	1	教授	5日
			<令和5年4月>							(平17.4)	
						表現とコミュニケーショ	1・2後	2	1		
-				1-0-		ン	1 50		-	- 10 - 12 http://	
			ハヤシダ ハルミ	博						スポーツ健康政	
8	専	教授	林田 はるみ	ポー		ダンス	1前・後	1	2	策学部 教授	5日
			<令和5年4月>	科学						(平30.4)	
				1-1-3	<i>'</i>	エアロビクス (演習を含む)	3前	1	1	(   50. 1)	
						ダンス指導法・コーチング論	3後	2	1		
						地域における健康課題	1・2前	2	1		
						コミュニティ・ファシリテーショ	1・2後	2	1		
						V TA					
						地域政治論	2・3前	2	1		
$\vdash$						地域観光事業論	2・3前	2	1	スポーツ健康政	
	_		シミズ ユウ	修:						スホーク健康政 策学部	
9	専	准教授	清水 由	(体		専門演習 I	3前	2	1	准教授	5日
			<令和5年4月>	学)						(令3.4)	
						専門演習 Ⅱ	3後	2	1		
						専門演習Ⅲ	4前	2	1		
						専門演習Ⅳ	4後	2	1		
						卒業研究	4通	4	1		
						小学体育Ⅱ	1後	1	1		
						小学体育Ⅲ	2後	2	1		
						教科指導法(体育)	3前 2前	2 2	1		
$\vdash$						体育科教育法	2月1		1	スポーツ健康政	
	_		イグチ ナリアキ	スポ						スホーク健康政 策学部	
10	専	准教授	井口 成明	ツ科		専門演習 I	3前	2	1	准教授	5日
			<令和5年4月>	修:	=					(平30.4)	
						専門演習Ⅱ	3後	2	1		
						専門演習Ⅲ	4前	2	1		
						専門演習Ⅳ	4後	2	1		
						卒業研究	4通	4	1		
						自然活動論 I (演習を含む)	1前	2	1		
						学校保健・学校安全	3前 2後	2 0. 7	1		
						保健体育授業演習 I 保健体育授業演習 II	2俊	2	1		
						保健体育授業演習Ⅲ	3後	2	1		
						自然活動論Ⅱ(演習を含む)	2前	2	1		
L						「スポーツ人物史」の研究	3前	2	1	<u>                                       </u>	
			<b>オーフン</b>	14	_					スポーツ健康政	
11	専	准教授	イ ヒスン 李 禧承	博:		専門演習 I	3前	2	1	策学部	5日
11	1	· 11.42/12	< 令和5年4月 >	学)		71 1MH I	0.00		1	准教授	он
				1/		中田冷22年	0.50		.	(平24.4)	
						専門演習Ⅱ	3後	2	1		
						専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1 1		
						等門演習IV 卒業研究	4版	4	1		
						教育学	4週 1前	2	1		
						教育方法論(初等を含					
						t)	2前	2	1		
						教育方法論	2後	2	1		
						ICT活用スキルの理論と	3前	2	1		
						実際(初等を含む)	2111		1		
						ICT活用スキルの理論と	3前	2	1		
$\vdash \vdash \vdash$						実際	- 73:3	-		7 49. Whater	
			キムラ カズヒロ	修:					1	スポーツ健康政	
12	専	准教授	木村 和宏	(体	育	バスケットボール	1前・後	1	2	策学部 准教授	5日
			<令和5年4月>	科学	)					(平20.4)	
						専門演習I	3前	2	1	.,	
						専門演習Ⅱ	3後	2	1		
						専門演習Ⅲ	4前	2	1		
						専門演習Ⅳ	4後	2	1		
						卒業研究	4通	4	1		
						ゴール型球技指導法・コーチング	3後	2	1		
				1	1	論	1		l	1	

			サトウ クニマサ	修士						スポーツ健康政 策学部	
13	専	准教授	佐藤 国正 <令和5年4月>	(体育 科学)		学部キャリアセミナー	3前	2	1	准教授	5日
			~ 1115年4月 /	(十十)			. 40			(平24.4)	
						バレーボール 専門演習 I	1後 3前	1 2	1		
						専門演習Ⅱ	3後	2	1		
						専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1		
						卒業研究	4班	4	1		
						シーズンスポーツ論 I (演習を含	1前	2	1		
						む) シーズンスポーツ論 II (演習を含	1後	2	1		
						む) スポーツ哲学	2後	2	1		
						ネット型球技指導法・コーチング	3前	2	1		
						論 キャリアセミナー I	2前	2	1		
						キャリアセミナーⅡ	2後	2	1		
						キャリアセミナーⅢ	3前	2	1	スポーツ健康政	
14	専	講師	ミネノ コウスケ 峰野 宏祐	修士 (教育		専門演習 I	3前	2	1	策学部	5日
	,	p131-1-	<令和5年4月>	学)		41324	- 13.3			講師 (令4.4)	-1.
						専門演習Ⅱ	3後	2	1		
						専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前	2 2	1		
						卒業研究	4後 4通	4	1 1		
						数学概論 I	1前	2	1		
						数学概論 Ⅱ 自然科学系教科総論	1後 2前	2	1 1		
						算数概論	3前	1	1		
						教科指導法(算数) 身近な数学	3前 3前	1 2	1 1		
				修士			3削		1		
			キハラ ヨウイチ	(体育						スポーツ健康政	
15	専	講師	木原 洋一	学) 修士		専門演習 I	3前	2	1	策学部 講師	5日
			<令和5年4月>	(教育						(平20.4)	
				学)		W 88 35 39 TT	0.6%				
						専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1		
						専門演習IV	4後	2	1		
						卒業研究 小学体育 I	4通 1前	4	1		
						スポーツ教育学	2前	2	1		
						保健体育授業演習I	2後	0.7	1		
						保健体育授業演習Ⅱ 保健体育授業演習Ⅲ	3前 3後	2 2	1		
						幼児スポーツ論(演習を含む)	2後	2	1		
			オガサワラ カズアキ	修士			1前・			スポーツ健康政策学部	
16	専	講師	小笠原 一彰 <令和5年4月>	(教育   学)		水泳	後	1	2	講師	5日
			< 11410447 >	7)		中田冷辺 1	0 =====		,	(平7.4)	
						専門演習 I 専門演習 II	3前 3後	2 2	1 1		
						専門演習Ⅲ	4前	2	1		
						専門演習Ⅳ 卒業研究	4後 4通	2 4	1		
						水泳指導法・コーチング	3後	2	1		
						論 コーチング学	3後	2			
			ホシ アキオ			コープングチ	3仮		1	スポーツ健康政	
17	兼担	教授	星 秋夫	医学博士		衛生学・公衆衛生学	1後	2	1	策学部 教授	5日
L			<令和5年4月>	士				L		教授 (平20.4)	
			カトウ トモオ	LL						スポーツ健康政	
18	兼担	教授	加藤 知生	体育学 士		テーピング論 (演習を含む)	1後	2	1	策学部 教授	5日
			<令和5年4月>							(平21.4)	
			ヒビノ ノブコ	博士 (ス ポーツ政策						スポーツ健康政	
19	兼担	教授	日比野 暢子	ゲ・スポー ツマネジメ		障害者スポーツ論	2後	2	1	策学部 教授	5日
			<令和5年4月>	ント学)						(平25. 4)	
						海外実習	2前	2	1		
						国際コミュニケーション実習 I 国際コミュニケーション実習 II	1前 1前	4	1		
						国際コミュニケーション実習Ⅲ	1前	4	1		
						インクルーシブスポーツ論 スポーツ政策論	2前 1前	2 2	1		
			イマイズミ タカユキ	修士		· / / 20//水闸	* ud		<u> </u>	スポーツ健康政	
20	兼担	教授	今泉 隆之	(文		スポーツ史	1前	2	1	策学部 教授	5日
			<令和5年4月>	学)						教授 (平20.4)	
$\vdash$					-	スポーツ文化論	1前	2	1	っぱ. い歴せず	
	46 Lm	+1. L→	カワサキ ケンゾウ	医学博		30 + 30 + 4 " " " " " " " " " " " " " " " " " "	. //-			スポーツ健康政 策学部	
21	兼担	教授	河崎 賢三 <令和5年4月>	十 年		発育発達老化論	1後	2	1	教授	5日
			\ 1440\P47			スポーツ医学 I	0하:	2	1	(平16.4)	
			h- h 1	Julian I	<u> </u>	へ かーノ 医子 I	2前		1	スポーツ健康政	
22	兼担	教授	ウエタ トモコ 殖田 知子	修士(経営		統計入門	1後	2	1	策学部	5日
			<令和5年4月>	学)					-	教授 (平26.4)	**
						評価測定学(演習を含	3前	2	1		
					<u> </u>	<b>t</b> r)	- 134		<u> </u>	ļ	

対										,	
数性   数性   数性   数性   数性   数性   数性   数性	23	兼担	教授	澁倉 崇行	(心理	スポーツ心理学	2前	2	1	教授	5日
株型   株型   株型   株型   株型   株型   株型   株型	24	兼担	教授	櫻井 智野風	(運動 生理	身体の仕組みと働き	1後	2	1	策学部 教授	5日
本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語					, ,				1	(   20. 1)	
20   新田   秋日   本記   本記   本記   本記   本記   本記   本記   本	25	兼担	教授	並木 浩一	(学	視覚文化論	1・2前	2	1	策学部 教授	5日
2				(14/140   15/15	,,,,	MAST特別実習	1前・後	1	2	(半24.4)	
1									1		
京田   数数   次日   富宝市   「京田   田本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日									1		
お担   秋田   秋田   秋田   秋田   秋田   秋田   秋田   秋	26	兼担	教授	片山 富美代	(学	健康と心理学	1・2前	2	1	策学部 教授	5日
27   ※担   教授   次マク   とロフマ   法学館   法学館   法学館   法学館   法学館   法学館   法学館   法学館   表別   表別   表別   表別   表別   表別   表別   表						集団と心理学			1		
27   表担   教授   次マッシー   次字   次字   次字   次字   次字   次字   次字   次											
27   東極   表検   表検   表検   子   子   子   子   子   子   子   子   子											
数据 数据	27	兼担	教授	勝亦 啓文		法学	1前	2	1	教授	5日
	28	兼担	教授	谷田部 玲生		社会科学系教科総論	2後	2	1	教授	5日
29   兼担   教授   京子 中立   法学修   大字 かっ   大字 かっ   大字 かっ   大字				. 1. 1 1 ->4 .						(   === = >/	
29   兼担   教授   京 千郎子   下野   大   大   大   大   大   大   大   大   大				ハラ チサコ	N N//6	教科指導法 (任会)	3刊	1	1	法学部	
大学のサイリー   大学の   大学の	29	兼担	教授	原 千砂子		英語コミュニケーションI	1前	2	1	教授	5日
数担   数投   対応				<令和5年4月>		英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	(平5.4)	
数担   数投   2	30	兼担	教授	阿部 憲二						教授	5日
(学18.4)   ( 学18.4)   (		Vole	41.10								
2   兼担   教授   ネャサカ	31	兼担	教授			地球環境の科学	1前	0.7	1		5日
数担   数投   ミヤサカ アトム   工学博士   地址環境の科学   1前   0.7   1											
数型   数型   数型   数型   数型   表字博士   持続可能な開発と法   1・2後   2   1   法字部   数投資 (平9.4)   5日   34   兼担   数投資 (平9.4)   5日   数有研究開発機   機模 (平9.4)   5日   数有研究開発機   機模 (令和5年4月   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   1   2   2	32	兼担	教授	宮坂 力						教授	5日
33   兼担   教授   外長   子(含土   一)   持続可能な開発と法   1・2後   2   1   一 教授   (平9.4)   5日   1・2後   2   1   教授   (平9.4)   5日   1・2後   2   1   教授   (平9.4)   1・2後   2   1   (平9.4)   1・2						科学技術の未来	1・2前	1	1		
※担   教授	33	兼担	教授	升 信夫		持続可能な開発と法	1・2後	2	1	教授	5日
本担   推教授	34	兼担	教授	武田 佳子	(教育	キャリアトランジション	2前	2	1	構	5日
本担   推教授				< 〒和5年4月 >	子)						
35     兼担     准教授     クリヤマ ユタカ 栗山 裕 〈令和5年4月〉     学術博士     デジタル産業論     1・2後     2     1     スポーツ健康政策学部 教授 (平3.4)       36     兼担     准教授     コヤマ ケイジ 小山 桂二 〈令和5年4月〉     スポーツ(ス ボーツ 健康科学)     スポーツバイオメカニク ス (平34.4)     2後     2     1     スポーツ健康政策学部 推教授 (平24.4)       37     兼担     推教授 (平24.4)     (ス ボーツ 健康政策 第学部 推教授 (平24.4)     オポーツイベント施設論 1後     2     1     スポーツ健康政策学部 推教授 (平24.4)       37     東井 (ス ボーツ を示し、アントウス・アントルフィントルフィントル (ス ボーツ・アントル (ス ボーツ・アントル (ス ボーツ・アントル (ス ボーツ・アントル (ス ボーツ・アントル (ス ボーツ・アントル (本 ) (平31.4)     1前 2 1 2 1 2 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 2											
36     兼担     准教授     (スポーツバイオメカニクス     2後     2     1     スポーツ経歴政策等部 後教授(平24.4)       37     兼担     推教授 (本名4月>)     サイトウレイ 齋藤 れい (スポーツイベント施設論 (スポーツイベント施設論 (本教授 (平31.4))     1後     2     1     スポーツイベント施設施 (平31.4)       37     本担     推教授 (本教授 (平31.4))     1前 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	35	兼担	准教授	栗山 裕						策学部 教授	5日
データ	36	兼担	准教授	小山 桂二	(ス ポーツ 健康科		2後	2	1	策学部 准教授	5日
本担   推教授					子)	評価測定学(演習を含	9 <del>1/1</del> :	9	1		
***					L井 1.		3削	2	1	ラゼ、いたせづ	
スポーツマネジメント論	37	兼担	准教授	齋藤 れい	(ス ポーツ	スポーツイベント施設論	1後	2	1	策学部 准教授	5日
ビジネスの科学     1前     2     2       マーケティング各論     1・2後     2     1       アントレプレナーシップ     1・2前     2     1       ブロジェクト入門     1後     2     1       マーケティング・リサーチ     2・3前     2     1       現代ビジネス論     2・3後     2     1											
マーケティング各論 1・2後 2 1 アントレブレナーシップ 1・2前 2 1 プロジェクト入門 1後 2 1 マーケティング・リサーチ 2・3前 2 1 現代ビジネス論 2・3後 2 1											
プロジェクト入門 1後 2 1 マーケティング・リサーチ 2・3前 2 1 現代ビジネス論 2・3後 2 1											
マーケティング・リサーチ 2・3前 2 1 現代ビジネス論 2・3後 2 1											
現代ビジネス論 2・3後 2 1											
分野横断型プロジェクト 2後 3 1											
						分野横断型プロジェクト	2後	3	1		

			ヒロカワ ミツシ	修士		1前・			スポーツ健康政	
38	兼担	准教授	廣川 充志	(体育	柔道	後	1	2	策学部 准教授	5日
			<令和5年4月>	学)					(平18.4)	
					武道指導法・コーチング	3前	2	1		
					論	0111		-	スポーツ健康政	
	V-1=	W 40 100	フクウラ カズオ	博士			_		策学部	
39	兼担	准教授	福浦 一男 <令和5年4月>	(文 ) 学)	スポーツ社会学	1前	2	1	准教授	5日
			▽ 7 / 115 44 月 /	子)					(平29.4)	
			タカセ タケシ	修士	スポーツ人類学	1後	2	1	34-234-pp	
40	兼担	准教授	髙瀬 武志	(体育	剣道	1前・後	1	2	法学部 准教授	5日
			<令和5年4月>	学)					(平26.4)	
					武道指導法・コーチング論	3前	2	1		
					桐蔭キャリアゲート 体育実技 I	1前 1前	2	1 1		
					体育実技Ⅱ	1後	1	1		
					アスリートの科学	1・2前	2	1		
					アスリートキャリア	1・2後	2	1		
					アスリート・クロス リーダーシップ教育	2·3前 2·3後	2 2	1 1		
					ライフスキル	2・3前	2	1		
			ナガハマ ヒロフミ	博士					法学部	
41	兼担	准教授	長濱博文	(教育	教育原理・教育課程論	2後	2	1	在 子 印 准 教授	5日
			<令和5年4月>	学)	(初等を含む)				(平29.4)	· ·
					教育原理・教育課程論	2前	2	1		
			ウエハタ ヨウスケ	修士	STILL TO STILL BUILDING	-122			教育研究開発機	
42	兼担	准教授	上畠 洋佑	修工   (教育	異文化の科学	1前	2	1	構	5日
	>11×2	VIVE	<令和5年4月>	学)		-111	_		准教授 (令和3,4)	ÿ.E
					プロジェクト入門	1後	2	1	( 77 作10. 4)	
					異文化リサーチ	2・3前	2	1		
					フード文化論	2・3後	2	1		
					若者文化論	2・3後	2 3	1		
					分野横断型プロジェクト ことばのスキル	2後 1・2後	2	1 1		
				修士					- 1°	
			オカモト ダイ	(武					スポーツ健康政 策学部	
43	兼担	講師	岡本 大	道・ス     ポー	ハンドボール	2前	1	1	講師	5日
			<令和5年4月>	ツ)					(平20.4)	
					ゴール型球技指導法・コーチング	3後	2	1		
					論	310	4	1	っぱ い神味か	
			オヤマ ユウスケ	博士					スポーツ健康政 策学部	
44	兼担	講師	尾山 裕介	(学	ヘルスプロモーション論	2前	2	1	講師	5日
			<令和5年4月>	術)					(平30.4)	
					評価測定学(演習を含む)	3前	2	1		
					高齢者活動支援論(演習を含む)	3後	2	1		
			ミゾカミ ヒロシ	修士					スポーツ健康政	
45	兼担	講師	溝上 拓志	(ス     ポーツ	スポーツ情報処理論	1前	2	1	策学部 ****	5日
			<令和5年4月>	科学)					講師 (令4.4)	
			3.00 Mean 12						教育研究開発機	
46	兼担	講師	ミゾグチ ユウ 溝口 侑	修士 (教育	桐蔭スキルゲート	1前	2	1	構	5日
40	NK1=	D44-Hvb	<令和5年4月>	学)	117119992 * * * * * * * * * * * * * * * * * *	100	2	1	講師	9 Н
					データコミュニケーション入門	1後	2	1	(令和3.4)	
					心の科学	1前	2	2		
					青年と心理学	1・2後	2	1		
					こころの世界	1・2前	2	1		
					集団と心理学 意思決定と心理学	2·3前 2·3後	1 2	1		
					自己調整と心理学	2・3後	1	1		
					プロジェクト入門	1後	2	1		
					分野横断型プロジェクト	2後	3	1	教育研究開発機	
,_	26.1-	544 4~**	マツイシンサク	修士	transe is a second of		_		教育研究開発機構	
47	兼担	講師	松井 晋作 <令和5年4月>	(文 学)	桐蔭キャリアゲート	1前	2	1	講師	5日
			> 11 4月9十4月 /	<del>  +</del> )	111111111111111111111111111111111111111				(令和3.4)	
					地域の科学 サステナブル社会学	1前	2	2		
					プロジェクト入門	1・2後 1後	2 2	1 1		
					横浜地域学	2・3後	2	1		
					実践地域創成学	2・3後	2	1		
<u> </u>		-			分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
	27:10	544 A	シバヤマ ナオユキ	博士					医用工学部	
48	兼担	講師	柴山 直之 <令和5年4月>	(工学)	地球環境の科学	1前	0.7	1	講師 (会和3.4)	5日
			〜 77 /140 144 月 /	f)					(令和3.4)	
			アサオカ ケイタ	h/r 1.	分野横断型プロジェクト	2後	3	1	34-224-terr	
49	兼担	助教	アサオカ ゲイタ 浅岡 慶太	修士(法)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	法学部 助教	5日
13	VIV1-2	-//147	<令和5年4月>	学)	, , v u v 1	± ud	_	1	(平13. 4)	V H
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1		
50	兼担	助教	オオツジ コウタ 大辻 康太	修士(教育)	体育実技 I	1前	1	1	法学部 助教	5日
50	水坦	少级	人江 康太 <令和5年4月>	学)		工刊引	1	1	助教 (平31. 4)	θН
			, ->*.		体育実技Ⅱ	1後	1	1	, /	
•				• •						

					•				
51	兼任	客員教 授	オオイシ ススム 大石 進 <令和5年4月>	体育学士	運動部活動論	2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 客員教授 令2.4
52	兼任	客員 教授	3シハラ ショウコ 吉原 晶子 <令和5年4月>	学士 (教育 学)	特別活動・総合的な学習の時間指導法(初等を含む)	3前	2	1	桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)
			b がて マナー	<i>lt</i> r 1.	特別活動・総合的な学習 の時間指導法	3後	2	1	<b>本言丛北上</b> 丛
53	兼任	講師	ヤマグチ アキコ 山口 晶子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	教育社会論 (初等および学校安全 を含む)	2後	2	1	東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)
			<b>ニ</b> カノニ ニカノエ	<i>lt</i> 7 1.	教育社会論	2後	2	1	情報経営イノ
54	兼任	講師	オクムラ コウイチ 奥村 耕一 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	人文科学系教科総論	2前	1	1	ベーション専門 職大学 講師 (令2.4)
					外国語概論 教科指導法(外国語)	3前 3後	1 2	1 1	
55	兼任	講師	オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	ボディーワークⅡ (体操:体つくり運動、 集団行動)	1前・ 後	1	3	日本Gボール協 会 (平22.4)
56	兼任	講師	ワタヌキ ヨシノリ 綿貫 慶徳 <令和5年4月>	博士 (体育 科学)	生涯スポーツ論	1後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)
57	兼任	講師	ゴトウ ヨウイチ 後藤 洋一 <令和5年4月>	体育学 修士	器械運動	1前・後	1	4	桐陰横浜大学 非常勤謙師 (平20.4)
			ナダチ ヒデアキ	修士	器械運動指導法・コーチング論	3後	2	1	十文字学園女子
58	兼任	講師	名達 英詔 <令和5年4月>	(芸術 学)	図画工作概論	3前	1	1	大学 教授 (平29.4)
					教科指導法 (図画工作)	3前	1	1	
59	兼任	講師	スズキ マユミ 鈴木 真優美 <令和5年4月>	学士 (教育 学)	家庭概論	3後	1	1	川崎市立東橋中 学校 非常勤講師 (平30.4)
			ヤハギ ノブユキ	Ltr. I	教科指導法 (家庭)	3後	1	1	帝京平成大学
60	兼任	講師	矢作 信行 <令和5年4月>	修士 (学術)	道徳教育指導論(初等を含む)	2後	2	1	教授 (令2.4)
61	兼任	講師	マエダ ヨシヒト 前田 善仁	修士(教育	道徳教育指導論 児童生徒指導論	2前 2前	2	1	東海大学 教授 (平26.4)
			<令和5年4月>	学) 修士	生徒指導論	3前	2	1	
62	兼任	講師	イケダ アツコ 池田 敦子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	特別支援教育指導論(初等を含む)	2後	2	1	東海学院大学 教授 (令2.4)
			オオツキ シゲヒサ	修士	特別支援教育指導論	2後	2	1	日本体育大学
63	兼任	講師	大槻 茂久 <令和5年4月>	(体育学)	サッカー	2前	1	3	サッカー部監督 令3.4
64	兼任	講師	ョネチ トオル 米地 徹 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	ラグビー	2前	1	1	日本体育大学 教授 平26.4
65	兼任	講師	カナモリ ジュン 金森 純 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	ソフトボール・野球	2前	1	2	神奈川工科大学 非常勤講師 (平23.4)
					ベースボール型球技指導 法・コーチング論	3前	2	1	
66	兼任	講師	イソベ カオル 磯辺 薫 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	テニス	2前・ 後	1	2	フリーランス
67	兼任	講師	フルカワ アキヤ 古川 暁也 <令和5年4月>	体育学修士	バドミントン	2前・ 後	1	3	日本体育大学 教授 (平18.4)
68	兼任	講師	マスダ ケイコ 増田 敬子 <令和5年4月>	学士 (体育 学)	体つくり運動指導法	3後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤謙師 (平22.4)
69	兼任	講師	ババ シンイチロウ 馬場 進一郎 <令和5年4月>	体育学修士	レクリエーション論	2後	2	1	日本体育大学 教授 平14.4
70	兼任	講師	スダ カズヒト 須田 和人 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	大学スポーツ論	1・2前	2	1	- 般社団法人 菜の花AC 理事 長 (令2.10)
71	兼任	講師	フジモト ケンタロ ウ 藤本 健太朗 <令和5年4月>	博士 (文学)	英語コミュニケーション【	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)
				学士	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	ファブリス株式
72	兼任	講師	スズキ シンジ 鈴木 眞二 <令和5年4月>	・フラ ンス文 学)	英語コミュニケーション I	1前	2	6	会社 代表取締役 (平18.11)
<u> </u>		l			英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6	1

					•				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
73	兼任	講師	カガミ ナオコ 加賀美 直子 <令和5年4月>	学士 (外国 文化)	英語コミュニケーション I	1前	2	2	自営業
			< 11 1H0 + 471 >	X1L)	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
					英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	
74	兼任	講師	ヒガシヤマ シホ 東山 志帆 <令和5年4月>	修士 (学 術)	英語コミュニケーションI	1前	2	6	湘南工科大学付 属高等学校 講師 (令2.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6	()
75	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	学校法人河合塾 英語科 (平成4.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
76	兼任	講師	ラミレズ フランシン クロエ <令和5年4月>	MA English and British Literat ure	英語コミュニケーションⅠ	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
77	兼任	講師	マークス ケビン ダグラス <令和5年4月>	Master of Arts in TESOL	英語コミュニケーションI	1前	2	7	San Diego State University, California English Teacher (平31.4-奇3.12)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	7	
78	兼任	講師	デ <sup>*</sup> シイン シ <sup>*</sup> ュリー ヴ <sup>*</sup> ィー マ <i>JンJ</i> ン <令和5年4月>	Masters in Education with specializa tion in English Language	英語コミュニケーションⅠ	1前	2	2	ISA English Teacher (平31.3)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
79	兼任	講師	ストークス ジェームス゛ ブ・ラツ ト゛リー <令和5年4月>	Master of Arts (TESOL )	英番コミュニケーションI	1前	2	2	東京モード学園 講師 (令3.3)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
80	兼任	講師	スズキ ナギ 鈴木 凪 <令和5年4月>	Master of Arts in Chemist ry	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
81	兼任	講師	アーネット ゲニエル ジェーム ズ <令和5年4月>	MA in Educatio n	英語コミュニケーションI	1前	2	5	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)
$\vdash$					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	5	V 1
82	兼任	講師	グラール クリストファー マイケー ル <令和5年4月>	Masters degree in Applied language studies for TESOL	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Kanda Institute of Foreign Languages Instructor (平27.4)
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	(121.1/
83	兼任	講師	カーン ファイアーX <sup>*</sup> <令和5年4月>	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine) PGCert. (An atomical Sciences)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
					英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	2前	2	1	
$\sqcup$					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	1

<sup>(</sup>社)
1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

			教		員		の 氏		名	I	等	
(ス:	ポーツ科	学部スプ	ポーツ健康科学科)									
調書番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 当年 次	担 当 単 位 数	年 間開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授 (学科 長)	カトウ トモオ 加藤 知生 <令和5年4月>		体育学士		専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平21.4)	5日
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	3後 4前 4後 4通	2 2 2 4	1 1 1	(721.4)	
							テーピング論 (演習を含む) 学科基礎セミナー I 学科基礎セミナー II アスレティックトレーナーの役割	1後 1前 1後 1前	2 2 2 2	1 1 1		
							リハビリテーション論 アスレティックリハビリテーショ ン I (演習を含む) アスレティックリハビリテーショ ン II (演習を含む)	2前 2前 3後	2 2 2	1 1 1		
							アスレティックリハビリテーショ ンⅢ(演習を含む) スポーツ現場実習IV スポーツ現場実習 V	4前 3後 4前	2 1 2	1 1 1		
2	専	教授	ヒビノ ノブコ 日比野 暢子 <令和5年4月>		博士 (ス ポーツ政策 学・スポー ツマネジメ ント学)		スポーツインターンシップ実習 障害者スポーツ論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平25.4)	5日
					7 1 47)		専門演習 I 専門演習 II 専門演習II 専門演習IV	3前 3後 4前 4後	2 2 2 2	1 1 1	(   20. 4)	
							卒業研究 国際コミュニケーション実習 I 国際コミュニケーション実習 II 国際コミュニケーション実習 III	4通 1前 1前 1前	4 4 4	1 1 1 1		
							インクルーシブスポーツ論 スポーツ政策論 障害概論 (演習を含む) 海外実習	2前 1前 2前 2前	2 2 2 2	1 1 1		
3	専	教授	イマイズミ タカユキ 今泉 隆之 <令和5年4月>		修士 (文 学)		国際交流論スポーツ史	2後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平20.4)	5日
							専門演習 I 専門演習 II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究 スポーツ文化論	3前 3前 4前 4 4通前 1 1 1	2 2 2 2 4 2	1 1 1 1 1	, ,	
4	専	教授	カワサキ ケンゾ ウ 河崎 賢三 <令和5年4月>		医学博士		日本伝統の身体表現 専門演習 I	2前 3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平16.4)	5日
							専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究 発育発達老化論 スポーツ医学Ⅰ	3後 4前 4後 4通 1後 1前	2 2 2 4 2 2	1 1 1 1 1		
							救急処置論(演習を含む) む) スポーツ医学Ⅱ スポーツ現場実習Ⅰ	1後 3前 1前	2 2 1	1 1 1		

					-			•		
		41.1-	ウエタ トモコ	修士					スポーツ健康政 策学部	
5	専	教授	殖田 知子 <令和5年4月>	(経営 学)	専門演習 I	3前	2	1	教授	5日
			√ 17年3年4万 /	7)	世界冷如 11	0.4%	0	,	(平26.4)	
					専門演習 II 専門演習 III	3後 4前	2 2	1 1		
					専門演習Ⅳ	4後	2	1		
					卒業研究 統計入門	4通 1後	4 2	1		
					評価測定学(演習を含む)	3前	2	1		
					スポーツ栄養学 I	2前	2	1		
					スポーツ栄養学Ⅱ (演習を含む)	2後	2	1	スポーツ健康政	
	専	#4+157	ホシ アキオ	医学博	衛生学・公衆衛生学	1.60		,	策学部	5.0
6	守	教授	星 秋夫 <令和5年4月>	士		1後	2	1	教授	5日
				博士					(平20.4) スポーツ健康政	
7	専	教授	ナリタ タカヤ 成田 崇矢	(ス	専門演習 I	3前	2	1	策学部	5日
'	4	4717	<令和5年4月>	ポーツ 科学)	ALIMB I	0111	2	1	教授 (平24.4)	9 11
				件子)	専門演習Ⅱ	3後	2	1	(+24.4)	
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習Ⅳ 卒業研究	4後 4通	2 4	1		
					機能解剖学 I	1前	2	1 1		
					検査・測定と評価	3前	2	1		
					機能解剖学Ⅱ 予防とコンディショニング I (演	2後	2	1		
					習を含む)	1前	2	1		
					予防とコンディショニングⅡ (演 習を含む)	2後	2	1		
					予防とコンディショニングⅢ(演	3前	2	1		
					習を含む) スポーツ現場実習Ⅱ	2後	1	1		
					スポーツ現場実習Ⅲ	3前	1	1		
			シブクラ タカユ	博士					スポーツ健康政	
8	専	教授	キ 澁倉 崇行	(心理	スポーツ心理学	2前	2	1	策学部 教授	5日
			<令和5年4月>	学)					(平26.4)	
					専門演習I	3前	2	1		
					専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1 1		
					専門演習IV	4後	2	1		
					卒業研究 メンタルトレーニング論	4通	4 2	1		
					メンタルトレーニンク論 ジュニアスポーツコーチング論	3前 3前	2	1 1		
					スポーツコーチング実習Ⅱ	3後	1	1		
			サクライ トモノ ブ	博士					スポーツ健康政 策学部	
9	専	教授	タリック	生理	身体の仕組みと働き	1後	2	1	東子部 教授	5日
			<令和5年4月>	学)				_	(平26.4)	
					陸上競技 専門演習 I	1前・後 3前	1 2	2		
					専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ	4前	2	1		
					専門演習IV 卒業研究	4後 4通	2 4	1 1		
					陸上競技指導法・コーチング論	3後	2	1		
			セトグチ ヤスヒ		運動生理学	2後	2	1	スポーツ健康政	
1.0	#	464,465	ロ ロ	医学博	<b>陈</b> 唐尼公子里	, 24		,	スポーク健康政 策学部	5.0
10	専	教授	瀬戸口 靖弘	士	健康医学入門	1前	2	1	教授	5日
			<令和5年4月>		健康管理とスポーツ医学	3前	2	1	(平30.4)	
			ナミキ コウイチ	博士		0.01		1	スポーツ健康政	
11	専	教授	ナミキ ヨリイナ 並木 浩一	(学	視覚文化論	1・2前	2	1	策学部	5日
	-		<令和5年4月>	術)					教授 (平24.4)	
					MAST特別実習	1前・後	1	2		
					MAST特別講義 ウェブ・コミュニケーション	1前・後 2・3前	2 2	2		
					ヴェン・コミュニケーション ビジネスアイデアデザイン	2・3削	2	1		
					ファッション文化論	2・3前	2	1		
			カタヤマ フミヨ	博士					スポーツ健康政 策学部	
12	専	教授	片山 富美代	(学	健康と心理学	1・2前	2	1	教授	5日
			<令和5年4月>	術)					(平16.7)	
					集団と心理学 幸せと心理学	2·3前 2·3前	1 2	1		
					意思決定と心理学	2・3後	2	1		
					自己調整と心理学	2・3後	1	1		
			コヤマ ケイジ	博士(ス					スポーツ健康政	
13	専	准教授	小山 桂二	ポーツ	スポーツバイオメカニクス	2後	2	1	策学部 准教授	5日
			<令和5年4月>	健康科					(平24.4)	
				学)	専門演習 I	3前	2	1		
					専門演習Ⅱ	3後	2	1		
					専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1 1		
					等門演習IV 卒業研究	4仮 4通	4	1		
					評価測定学(演習を含	3前	2	1		
					む) 動作分析論	3前	2	1		
				i I	3011トノリヤー哺	인비		1	1	

					•					
14	専	准教授	ヒロカワ ミツシ 廣川 充志 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	柔道	1前・ 後	1	2	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平18.4)	5日
					専門演習I	3前	2	1	( ) === = >	
					専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1 1		
					専門演習Ⅳ	4後	2	1		
					卒業研究 武道指導法・コーチング	4通	4	1		
					論	3前	2	1		
					運動処方論 スポーツコーチング実習	1後	2	1		
					スポープコープング美自 I	3前	1	1		
15	専	准教授	ヒロセ タツロウ 廣瀬 立朗 <令和5年4月>	博士 (学 術)	専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平21.4)	5日
					専門演習Ⅱ	3後	2	1	(   211 1)	
					専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1 1		
					卒業研究	4通	4	1		
					トレーニング論(演習を含む) 測定機器の操作	1前 2前	2 2	1 1		
					トレーニング学 (演習を含む)	3前	2	1	20	
16	専	准教授	フクウラ カズオ 福浦 一男 <令和5年4月>	博士 (文 学)	スポーツ社会学	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平29.4)	5日
					専門演習 I 東田淀羽π	3前	2	1		
					専門演習 Ⅱ 専門演習 Ⅲ	3後 4前	2 2	1 1		
					専門演習Ⅳ	4後	2 4	1 1		
					卒業研究 スポーツ人類学	4通 1後	4 2	1		
17	専	准教授	サイトウ レイ 齋藤 れい <令和5年4月>	博士 (スポーツ	スポーツイベント施設論	1後	2	1	スポーツ健康政策学部権教授	5日
				科学)	スポーツマーケティング	1 24:		,	(平31.4)	
					論	1前	2	1		
					スポーツマネジメント論 ビジネスの科学	1前 1前	2 2	1 2		
					マーケティング各論	1・2後	2	1		
					アントレプレナーシップ プロジェクト入門	1·2前 1後	2 2	1		
					マーケティング・リサーチ	2・3前	2	1		
					現代ビジネス論 分野横断型プロジェクト	2·3後 2後	2 3	1 1		
					カSTIMMIエントマエン(	2100				
18	専	准教授	クリヤマ ユタカ 栗山 裕 <令和5年4月>	学術博士	デジタル産業論	1・2後	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平3.4)	5日
19	専	講師	オカモト ダイ 岡本 大 <令和5年4月>	修士 (武 道・ス ポー ツ)	ハンドボール	2前	1	1	スポーツ健康政 策学部 講師 (平20.4)	5日
					専門演習I	3前	2	1		
					専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1 1		
					専門演習IV 専門演習IV	4削 4後	2	1		
					卒業研究	4通	4	1		
					ゴール型球技指導法・コーチング 論	3後	2	1		
					チャンピオンシップスポーツコー チング論	3前	2	1		
					スポーツコーチング実習 I	3前	1	1	7 12 wht	
20	専	講師	オヤマ ユウスケ 尾山 裕介 <令和5年4月>	博士 (学 術)	専門演習 I	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 (平30.4)	5日
					専門演習Ⅱ	3後	2	1	. , +/	
					専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	4前 4後	2 2	1 1		
					卒業研究	4通	4	1		
					ヘルスプロモーション論 評価測定学(演習を含む)	2前 3前	2 2	1 1		
					高齢者活動支援論(演習を含む)	3後	2	1		
					健康教育学 ストレッチング論(演習を含む)	2前 1後	2 2	1 1		
21	専	講師	ミゾカミ ヒロシ 溝上 拓志 <令和5年4月>	修士 (ス ポーツ 科学)	スポーツ情報処理論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 講師 (令4.4)	5日
					専門演習I	3前	2	1		
					専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ	3後 4前	2 2	1 1		
					専門演習Ⅳ	4後	2	1		
					卒業研究 スポーツ映像分析論	4通 3前	4 2	1 1		
					スポーツデータ解析	1後	2	1		
					スポーツ情報戦略論 スポーツ技術・戦術論	2前 2後	2 2	1 1		
4						41发		1	ļ	

22	兼担	教授 (学部 長)	ヨシタカ ユキハ ル 吉鷹 幸春	体育学修士	柔道	1前・後	1	2	スポーツ健康政 策学部 教授	5日
		207	<令和5年4月>		スポーツプロジェクト研究 I	1前	2	1	(平7.4)	
					スポーツプロジェクト研究Ⅱ	1後	2	1		
					武道指導法・コーチング論	3前	2	1		
					スポーツ指導者論 スポーツコーチング実習 II	1前 3後	2	1		
23	兼担	教授	タニモト ナオミ 谷本 直美 <令和5年4月>	教育学 修士	教育実習(中学校)	4前	4	1	スポーツ健康政策学部教授	5日
					教育実習(高校)	4前	2	1	(平21.4)	
					学校体験実習(中・高)	2前	1	1		
					学校インターンシップ実習 事前・事後指導(中・高)	4前 4前	1	1 1		
					教職実践演習 (中・高)	4前	2	1		
24	兼担	教授	サトウ ユタカ 佐藤 豊 <令和5年4月>	教育学修士	教師論	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平28.1)	5日
					ICT活用スキルの理論と 実際	3前	2	1		
					保健科教育法	2後	2	1		
					保健体育授業演習I	2後	0.7	1		
					保健体育授業演習Ⅱ 保健体育授業演習Ⅲ	3前 3後	2 2	1		
			ミヤヅ タイゾウ		PRICE HIXXIX III			-	スポーツ健康政	
25	兼担	教授	宮津 大蔵 <令和5年4月>	教育学士	ボランティア論	1後	2	1	策学部 教授 (平21.4)	5日
			カメオカ セイロ		ボランティア実習	1後	2	1	スポーツ健康政	
26	兼担	教授	ウ 亀岡 聖朗 <令和5年4月>	博士 (心理 学)	教育心理学	1後	2	1	策学部 教授 (平31.4)	5日
					教育相談・キャリア教育指導論	2後	2	1		
27	兼担	教授	ナカノ ヒデユキ 中野 英之 <令和5年4月>	博士 (地球 環境科 学)	地球と環境	1・2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平31.4)	5日
28	兼担	教授	マス ノブオ 升 信夫 <令和5年4月>	法学博士	持続可能な開発と法	1・2後	2	1	法学部 教授 (平9.4)	5日
29	兼担	教授	オカダ トシエ 岡田 俊恵 <令和5年4月>	文学修士	言語文化論	1・2前	2	1	スポーツ健康政 策学部 教授 (平17.4)	5日
					表現とコミュニケーショ	1・2後	2	1	(   11. 1)	
			_		<i>y</i>				教育研究開発機	
30	兼担	教授	タケダ ヨシコ 武田 佳子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	キャリアトランジション	2前	2	1	構 教授 (令和3.4)	5日
					インターンシップ ソーシャル・コミュニケーション	3前 1・2後	2 2	1 1		
31	兼担	教授	ハヤシダ ハルミ 林田 はるみ <令和5年4月>	博士 (ス ポーツ 科学)	ダンス	1前・後	1	2	スポーツ健康政 策学部 教授 (平30.4)	5日
				1177	エアロビクス(演習を含む)	3前	1	1	(100.4)	
					ダンス指導法・コーチング論	3後	2	1		
					地域における健康課題	1·2前 1·2後	2 2	1		
					地域政治論	2・3前	2	1		
$\vdash$			カツマタ ヒロフ		地域観光事業論	2・3前	2	1		
32	兼担	教授	ミ 勝亦 啓文 <令和5年4月>	法学修 士	法学	1前	2	1	法学部 教授 (平17.4)	5日
33	兼担	教授	ハラ チサコ 原 千砂子 <令和5年4月>	法学修士	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	1	法学部 教授 (平5.4)	5日
34	兼担	教授	アベ ケンジ 阿部 憲二 <令和5年4月>	教育学博士	英語コミュニケーション I	1前	2	3	法学部 教授 (平14.9)	5日
35	兼担	教授	イケガミ マサシ 池上 和志	博士(理	英語コミュニケーション II 地球環境の科学	1後	0.7	1	医用工学部 教授	5日
			<令和5年4月>	学)	科学技術の未来	1・2前	2	1	(平18.4)	
			ミヤサカ ツトム		プロジェクト入門	1後	2	1	医田丁学如	
36	兼担	教授	ミヤザガ グトム 宮坂 力 <令和5年4月>	工学博士	地球環境の科学	1前	0.7	1	医用工学部 教授 (平13.12)	5日
			3,3 m² . 3.	film 1	科学技術の未来	1・2前	2	1	スポーツ健康政	
37	兼担	准教授	シミズ ユウ 清水 由 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	体育教科法	2前	2	1	策学部 准教授 (令3.4)	5日

38	兼担	准教授	イグチ ナリアキ 井口 成明 <令和5年4月>	スポー ツ科学 修士	学校保健・学校安全	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平30.4)	5日
					保健体育授業演習 I	2後	0.7	1		
					保健体育授業演習Ⅱ	3前	2	1		
					保健体育授業演習Ⅲ	3後	2	1		
					「スポーツ人物史」の研究	3前	2	1	10 http://www.	
39	兼担	准教授	イ ヒスン 李 禧承 <令和5年4月>	博士 (教育 学)	教育学	1前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 平24.4	5日
					ICT活用スキルの理論と 実際	3前	2	1		
					教育方法論	2後	2	1		
40	兼担	准教授	キムラ カズヒロ 木村 和宏 <令和5年4月>	修士 (体育 科学)	バスケットボール	1前・後	1	2	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平20.4)	5日
					ゴール型球技指導法・コーチング 論	3後	2	1		
41	兼担	准教授	サトウ クニマサ 佐藤 国正 <令和5年4月>	修士 (体育 科学)	学部キャリアセミナー	3前	2	1	スポーツ健康政 策学部 准教授 (平24.4)	5日
					バレーボール	1後	1	1		
					シーズンスポーツ論 I (演習を含む)	1前	2	1		
					シーズンスポーツ論Ⅱ(演習を含む)	1後	2	1		
					スポーツ哲学	2後	2	1		
					ネット型球技指導法・コーチング 論	3前	2	1		
					キャリアセミナーI	2前	2	1		
					キャリアセミナーⅡ	2後	2	1		
					キャリアセミナーⅢ	3前	2	1		
42	兼担	准教授	ナガハマ ヒロフ ミ 長濱 博文 <令和5年4月>	博士 (教育 学)	教育原理・教育課程論	2前	2	1	法学部 准教授 (平29.4)	5日

***											
本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語   本語	43	兼担	准教授			剣道	1前・後	1	2		5 目
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	10	NK12	111.47.17								ОН
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本											
A											
###  ###  ###  ###  ###  ###  ####  ####											
## ATOMINA				ウエハタ ヨウス		ライブスキル	2・3前	2	1	教育研究開発機	
新田	44	華扣	准辦採			異文化の科学	1前	9	1	構	5 日
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	11	NK12	TE 4XIX			***************************************	200		1		0 Н
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本				▽ 〒 和5年4月 /		プロジェクト入門	1後	2	1	(₸ 110.4)	
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本											
新田   東田   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東											
15						ことばのスキル	1・2後	2	1	~ 12 where	
19   19   19   19   19   19   19   19	l l	M: Im	244 AT			No. 100 Internal		_			
数元   数元   数元   数元   数元   数元   数元   数元	45	兼担	講帥			数学概論 I	1前	2	1	講師	5 目
株型   横田   横田   横田   横田   横田   横田   横田   横				< 11 JHO - 471 >	7)	**************************************	04%	0	,	(令4.4)	
A   A   A   A   A   A   A   A   A   A					修士	数字慨論Ⅱ	2俊	2	1		
#担 課師 次郎 (文字 1)				キハラ ヨウイチ	(体育						
本担   「	46	兼担	講師			スポーツ教育学	2前	2	1		5日
### おお				<令和5年4月>							
A										= 4/	
数性   数性   数析   数字											
2   1   1   1   1   1   1   1   1   1											
************************************											
************************************											
本地田   本 田   本	47	兼担	講師			水泳	1前	1	1		5日
A				< 行和5年4月 >	子)					(平7.4)	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##											
##				3.147	Mr. I	- J29#	310	- 4	1	教育研究開発機	
本担   本担   本担   本担   本担   本担   本担   本	48	兼扣	謙師			桐蔭スキルゲート	1前	2	1	構	5 Fl
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	10	71(1)	B13.1-1-1-								
						データコミュニケーション入門	1後	2	1	(11745.4)	
1											
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本											
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本											
1											
本担   講師											
##											
##				マツイ シンサク	修士						
************************************	49	兼担	講師			桐蔭キャリアゲート	1前	2	1		5日
サステナブル社会学   1-2後   2   1   2   3   2   1   2   3   3   1   2   3   3   1   2   3   3   1   3   3   3   3   3   3   3				<令和5年4月>	学)						
横浜地域学											
						横浜地域学	2・3後	2	1		
新担   講師											
50     兼担     講師     キ 柴山 直之 今和5年4月>     1前     0.7     1     医月上子部 講師 (令和3.4)     5日       51     兼担     助数     アサオカ ケイタ 浅岡 慶太 今和5年4月>     (法 学)     (法 学)     大石 (法 学)     東部コミュニケーションII     1前     2     1     法学部 助教 (平13.4)     5日       52     兼担     助教 (平3.4)     オオツジ コウタ 大辻 康太 今和5年4月>     (教育 学)     体育実技 II     1前     1     1     法学部 (平31.4)     5日       53     兼任     教授 そ令和5年4月>     体育学 士 会和5年4月>     運動部活動論 会 (令和5年4月>     2前     2     1     スポーツ健康政 策学部 客員教授 (平29.4)       54     兼任     書師 報節     ま任     書師 本子 名和5年4月>     学士 (教育 会和5年4月>     特別活動・総合的な学習 の時間指導法 会 会和5年4月>     3後     2     1     東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)       55     兼任     講師 本子 名和5年4月>     (体育 会和5年4月>     大石 (本資 会)     (本行 (本行 会和5年4月>     1前 (本行 (本付 会和5年4月>     1前 (本行 (本付 会和5年4月>     1前 (本行 (本付 会和5年4月>     1前 (本行 (本付 会和5年4月>     1前 (本行 (本付 (本付 会和5年4月>     1前 (本行 (本付 (本付 会和5年4月>     1前 (本行 (本行 (本行 (本行 (本付 会和5年4月>     1前 (本行 (本行 (本行 (本行 (本付 (本行 (本行 (本行 (本行 (本行 (本行 (本行 (本行 (本行 (本行				シバヤマ ナオユ	1 44	刀町関断型ノロンエクト	2仮	3	1	屋田子外地	
大田   世紀   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大	50	兼扣	誰師	丰		地球環境の科学	1前	0. 7	1		5 Fl
T	0.0	NV12	nta Hila			- Swinkbu-> TI T	+ud	0.1	•		VН
新担 助教   アサオカ ケイタ   後土 (法				✓ 1740年4月 /		分野横断型プロジェクト	2後	3	1		
(平13.4)   (東京)   (平3.4)   (東京)   (平3.4)   (東京)   (平3.4)   (東京)   (平3.4)   (	_	X	mr. 51								
Table   Ta	51	兼担	助教			英語コミュニケーションI	1前	2	1		5日
52     兼担     助教     大辻 康太 〈令和5年4月〉     (教育 学)     体育実技 I     1前     1     1     助教 (平31.4)       53     兼任     客員 教授     オオイシ ススム 大石 進 〈令和5年4月〉     体育学 土     運動部活動論     2前     2     1     スポーツ健康政 策学部 客員教授 令2.4       54     兼任     客員 教授     ヨッラ 〈令和5年4月〉     学士 〈令和5年4月〉     特別活動・総合的な学習 〈令和5年4月〉     3後     2     1     桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)       55     兼任     講師     ヤマグチ アキコ 山口 晶子 〈令和5年4月〉     修士 〈令和5年4月〉     (教育 学)     教育社会論 〈令和5年4月〉     2     1     東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)       56     兼任     講師     オキタ コウゾウ 沖田 枯蔵 〈令和5年4月〉     (体育 学)     ボディーワーク II 〈体育 学)     (本 (本 (本 (本)     1前 後 (平22.4)     1     日本Gボール協 会 (平22.4)       57     兼任     講師     世里スポーツ論 組営     1後     2     1     桐蔭横浜大学 非常勤講師 〈会3.4)				□ 4H04H4月 /	7/	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	(  -10.4)	
(平31.4)   (		24.10	m: 40								
本任   本任   本任   本任   本子   本子   本子   本子	52	兼担	助教			体育実技 I	1前	1	1		5日
53     兼任     客員 教授     オオイシ ススム 大石 進 〈令和5年4月〉     体育学 土     運動部活動論     2前     2     1     スポーツ健康政 策学部 客員教授 令2.4       54     兼任     客員 教授     3シッラ ショウコ 吉原 晶子 〈令和5年4月〉     学士 〈令和5年4月〉     特別活動・総合的な学習 の時間指導法     3後     2     1     桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)       55     兼任     講師     山口 晶子 〈令和5年4月〉     (教育 〈令和5年4月〉     東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)       56     兼任     講師     オキタ (体育 〈令和5年4月〉     ボディーワークⅡ (体育 学)     1前・ 後     1     3     日本成 (平22.4)       57     兼任     講師     リタヌキ 3シリ 総費     博士 (体育 学)     生涯スポーツ論 (上 (体育 4)     1後     2     1     桐蔭横浜大学 非常勤講師 (全3.4)				□ 19 4HO 十十十月 /	<del>1</del> /	体育実技Ⅱ	1後	_ 1	1	(  -01.4)	
53     兼任     各員 教授     大石 進 (令和5年4月)     運動部活動論     2前     2     1     累字前 客員教授 令2.4       54     兼任     客員 教授 令2.4     特別活動・総合的な学習 の時間指導法     3後     2     1     桐蔭横浜大学 客員教授 (平29.4)       55     兼任     講師     山口 晶子 (教育 学)     教育社会論 (学校安全を含む)     2前     2     1     東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)       56     兼任     講師     オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 (体育 学)     (体育 学)     「ボディーワークⅡ (体操:体つくり運動、後 1)     1前・ 金 (平22.4)       57     兼任     講師     ワタヌキ ヨシノ 場出学 (体育 景)     博士 (体育 景)     生涯スポーツ論 1後 2 1     桐蔭横浜大学 非常勤講師 (企3.4)			<i>t</i> r =	オオイシ ススム	14-7554						
************************************	53	兼任		大石 進		運動部活動論	2前	2	1		
54     兼任     答貝 教授     吉原 晶子 (教育 空)     (教育 の時間指導法     3後     2     1     客員教授 (平29.4)       55     兼任     講師     ヤマグチ アキコ 山口 晶子 (教育 空)     修士 (教育 空)     教育社会論(学校安全を含む)     2前     2     1     東京学芸大学 共同研究員 (平27.7)       56     兼任     講師     オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 (体育 空)     (体育 空)     ボディーワーク II (体操:体つくり運動、会 (平22.4)     1前・ 会 (平22.4)       57     兼任     講師     フタヌキ ヨシノ 場出 (体育 場別 定)     株団行動)     1後     2     1     相蔭横浜大学 非常勤講師 (体育 銀売)       57     兼任     講師     生涯スポーツ論     1後     2     1     相蔭横浜大学 非常勤講師 (体育 銀売)			-1/1/2					<u></u>		令2.4	
本任   教授   書所   部子   (教育 字)   の時間指導法   3板 2 1	F.4	<del></del>	客員			特別活動・総合的な学習	0.60	_			
接任   講師	54	兼仕					3後	2	1		
56     兼任     講師     オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 (体育 学)     修士 (体育 学)     ボディーワーク II (体操: 体つくり運動、 後 会 (平27.7)     1前・ 名 会 (平27.7)       57     兼任     講師     フタヌキ ヨシノ 明土 (体育 場別 度徳 経費)     株任 (体育 場別 (体育 経費)     1後 2 1 相談機派大学 非常勤講師 (体育 経費)				ヤマグチ アキコ	修士					東京学芸大学	
56     兼任     講師     オキタ ユウゾウ 沖田 祐蔵 (体育 ぐ) (体育 ぐ) (体育 ぐ) (体育 ぐ) (体育 ぐ) (体育 ぐ) (本育 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	55	兼任	講師			教育社会論(学校安全を含む)	2前	2	1		
56     兼任     講師     沖田 祐蔵 < 合和5年4月>	$\vdash$					ボディーワークⅡ	, 24				
マクス	56	兼任	講師	沖田 祐蔵	(体育	(体操:体つくり運動、		1	3	会	
1	$\vdash \vdash$				学)	集団行動)	IX.			(平22.4)	
7   兼仕   講師   編貫 慶徳   【体育   生涯スポーツ論   1後   2   1   非吊朝講師   (全9.4)		<i>→+ 1-</i>	5# 47*			AL ME we 120 COMMA	1/"				
<令和5年4月>     '' ' /	57	兼任	講帥	綿貫 慶徳		生涯スポーツ論	Ⅰ後	2	1		
	1 1			<令和5年4月>	I '' '' I	I		l	l	(1, 5, 1)	

58	兼任	講師	ゴトウ ヨウイチ 後藤 洋一 <令和5年4月>	体育学 修士	器械運動	1前・後	1	4	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平20.4)	
			< 11/100±±3/1 >		器械運動指導法・コーチング論	3後	2	1	(   20. 4)	
59	兼任	講師	ヤハギ ノブユキ 矢作 信行 <令和5年4月>	修士 (学術)	道徳教育指導論	2前	2	1	帝京平成大学 教授 (令2.4)	
60	兼任	講師	マエダ ヨシヒト 前田 善仁 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	生徒指導論	3前	2	1	東海大学 教授 (平26.4)	
61	兼任	講師	イケダ アツコ 池田 敦子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	特別支援教育指導論	2後	2	1	東海学院大学 教授 (令2.4)	
62	兼任	講師	オオツキ シゲヒ サ 大槻 茂久 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	サッカー	2前	1	3	日本体育大学 サッカー部監督 令3.4	
63	兼任	講師	ョネチ トオル 米地 徹 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	ラグビー	2前	1	1	日本体育大学 教授 平26.4	
64	兼任	講師	カナモリ ジュン 金森 純 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	ソフトボール・野球	2前	1	2	神奈川工科大学 非常勤講師 (平23.4)	
					ベースボール型球技指導 法・コーチング論	3前	2	2		
65	兼任	講師	イソベ カオル 磯辺 薫 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	テニス	2前・ 後	1	2	フリーランス	
66	兼任	講師	フルカワ アキヤ 古川 暁也 <令和5年4月>	体育学 修士	バドミントン	2前・ 後	1	3	日本体育大学 教授 (平18.4)	
67	兼任	講師	マスダ ケイコ 増田 敬子 <令和5年4月>	学士 (体育 学)	体つくり運動指導法	3後	2	1	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (平22.4)	
68	兼任	講師	ババ シンイチロ ウ 馬場 進一郎 <令和5年4月>	体育学 修士	レクリエーション論	2後	2	1	日本体育大学 教授 (平3.4)	
69	兼任	講師	モギ ヒロコ 茂木 宏子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	スポーツジャーナリズム 論	1後	2	1	フリージャーナ リスト (昭61.4)	
70	兼任	講師	スダ カズヒト 須田 和人 <令和5年4月>	修士 (体育 学)	大学スポーツ論	1・2前	2	1	一般社団法人 菜の花AC 理事 長 (令2.10)	
71	兼任	講師	フジモト ケンタ ロウ 藤本 健太朗 <令和5年4月>	博士 (文学)	英語コミュニケーション I	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令3.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
72	兼任	講師	スズキ シンジ 鈴木 眞二 <令和5年4月>	学士 (フラ ンス文 学)	英語コミュニケーションI	1前	2	6	ファブリス株式 会社 代表取締役 (平18.11)	
					 英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		
73	兼任	講師	カガミ ナオコ 加賀美 直子 <令和5年4月>	学士 (外国 文化)	英語コミュニケーション I	1前	2	2	自営業	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2		
					英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1		
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	湘南工科大学付	
74	兼任	講師	ヒガシヤマ シホ     東山 志帆     <令和5年4月>	修士 (学 術)	英語コミュニケーション I	1前	2	6	属高等学校 講師 (令2.4)	
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	6		

75	兼任	講師	スギシタ アヤコ 杉下 文子 <令和5年4月>	修士 (教育 学)	英語コミュニケーション I	1前	2	1	学校法人河合塾 英語科 (平成4.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
76	兼任	講師	ラミレズ フランシン クロエ <令和5年4月>	MA English and British Literat ure	英語コミュニケーション I	1前	2	2	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)
				uic	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
				-	英語コミュニケーション 11	1192	- 4	- 4	
77	兼任	講師	マークス ケビン ダグラス <令和5年4月>	Master of Arts in TESOL	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	1前	2	7	San Diego State University, California English Teacher (平31.4-令3.12)
-+					突出コミューク フョン11	11/2	- 4	-	
78	兼任	講師	デシイン ジュリー ヴィー マノンソン <令和5年4月>	Masters in Education with specializa tion in English Language	英語コミュニケーション I	1前	2	2	ISA English Teacher (平31.3)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
79	兼任	講師	ストークス ジェームス゛フ゛ラ ット゛リー <令和5年4月>	Master of Arts (TESOL	英語コミュニケーションI	1前	2	2	東京モード学園 講師 (令3.3)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
80	兼任	講師	スズキ ナギ 鈴木 凪 <令和5年4月>	Master of Arts in Chemist ry	英語コミュニケーションI	1前	2	2	フリーランス
				- ,	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	
81	兼任	講師	アーネット ダ ニエル ジ ェーム ズ <令和5年4月>	MA in Educatio n	英語コミュニケーションI	1前	2	5	桐蔭横浜大学 非常勤講師 (令4.4)
$\vdash \vdash$				-+-+	英語コミュニケーションⅡ	1後	2	5	V 1
82	兼任	講師	グラール クリストファー マイ ケール <令和5年4月>	Masters degree in Applied language studies for TESOL	英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	Kanda Institute of Foreign Languages Instructor (平27.4)
					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	(121.1)
83	兼任	講師	カーン ファイアース* <令和5年4月>	MSc SEM (Sport & Exercise Medicine) PCCert. (An atomical Sciences)	英語コミュニケーションI	1前	2	1	杏林大学 講師 (平27.4)
					英語コミュニケーションⅡ	1後	2	1	
					英語コミュニケーションⅢ	2前	2	1	
(注)					英語コミュニケーションIV	2後	2	1	